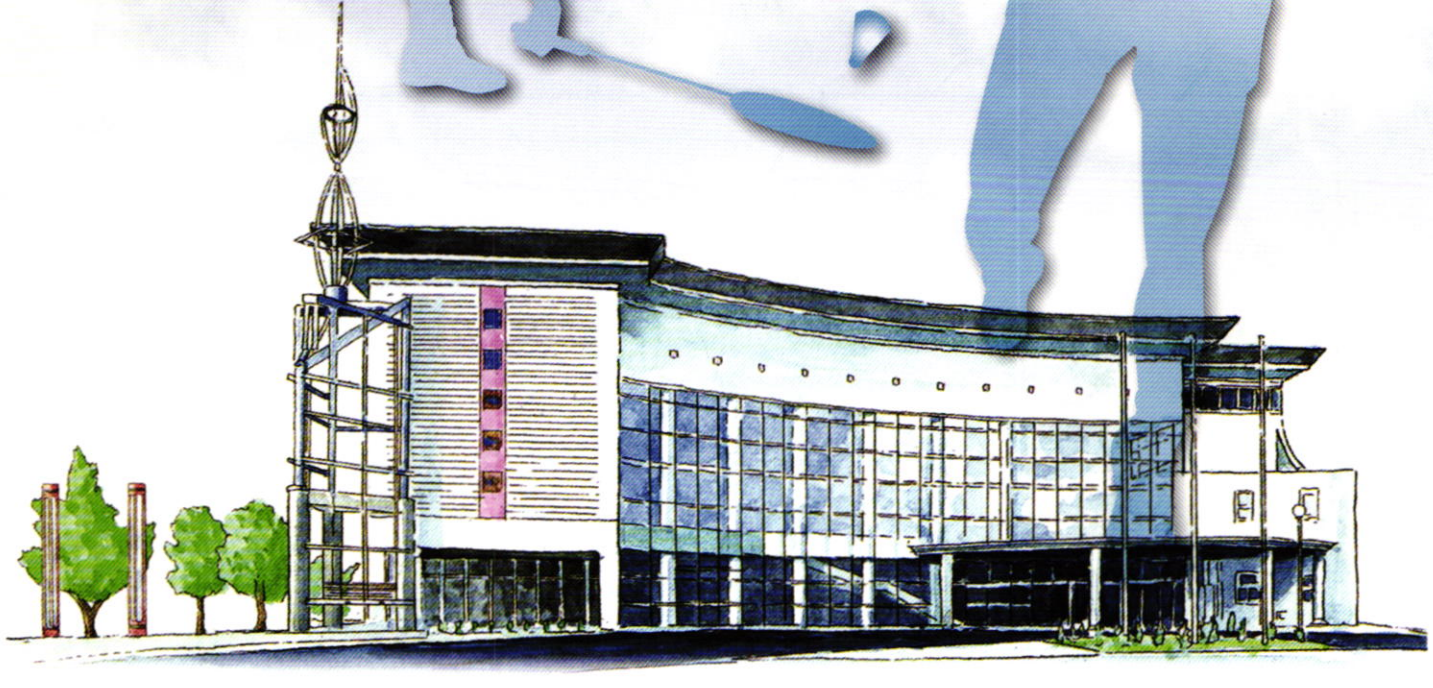
秋田わか杉国体
君のハートよ位置につけ　第62回国民体育大会

第62回国民体育大会

バドミントン競技会

プログラム



期日：平成19年10月５日㈮～８日㈪

会場：美郷町　美郷総合体育館

主催／㈶日本体育協会・文部科学省・秋田県・㈶日本バドミントン協会・美郷町

（日体協マーク）

国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第2回大会から使用されることになった。
30度右傾斜の赤色の火炎を直径の10分の1の幅の紺青色の円帯で囲んである。

アマチュア・スポーツマンのあり方 （「日本体育協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーに終始する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- スポーツを行うことによって、自らの物質的利益を求めない。
- スポーツによって得た名声を、自ら利用しない。

愛　称（テーマ）

秋田わか杉国体

秋田の木「秋田杉」は、風雪に耐えて成長します。その若木のように、力強く伸びやかなプレーを選手の皆さんに期待します。

合言葉（キャッチコピー）

君のハートよ位置につけ

君の心は明日に向かって、そして私の心を国体でかなえるために。さあ、位置につこう。スタートだ。

シンボルマーク



秋田杉で作った積木をモチーフに、合言葉にあるハートを型抜きして強調しています。
緑は秋田県の木「秋田杉」をはじめとする秋田の豊かな自然を表し、ハートの赤は国体に参加する選手の躍動する心と、全国の選手を迎える温かい心を表します。また、上に向かって伸びる杉の形で、未来への飛躍を表しています。

マスコット



モチーフの基本を『わか杉』とします。『わか杉』＝『木』＝『気』とし、『げんき』＋『ほんき』＋『こんき』という『秋田杉』で第６２回国体の舞台で活躍する選手、関係者の『げんき』を象徴するものです。『わか杉』は、“てっぺん”をめざす意味の「矢印」のカタチでもあります。

目　　次

あ い さ つ	第６２回国民体育大会会長　財団法人 日本体育協会会長	森　喜朗	1
あ い さ つ	文部科学大臣	伊吹 文明	2
あ い さ つ	財団法人 日本バドミントン協会会長	綿貫 民輔	3
歓迎のことば	秋田わか杉国体実行委員会会長　秋田県知事	寺田 典城	4
歓迎のことば	秋田わか杉国体美郷町実行委員会会長　美郷町長	松田 知己	5
歓迎のことば	秋田県バドミントン協会会長	齋藤 隆夫	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
大会役員 ・・・ 9
競技会役員 ・・ 13
競技役員 ・・・ 15
競技補助スタッフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
実施本部員 ・・ 19
式典補助員 ・・ 21
競技会補助員・・・ 22
協力者・協力団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
総　　則 ・・・ 24
競技別実施要項・・ 32
表彰式次第 ・・ 35
表彰式入退場行進順路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
競技日程 ・・・ 37
タイムテーブル ・・ 38
成年女子組合せ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
少年男子組合せ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
成年男子・少年女子組合せ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
バドミントンを楽しく見るために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
「新しいルール」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
都道府県別参加人員一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
都道府県別出場監督・選手一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
競技成績採点方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
総合成績一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
過去の成績一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
競技記録 ・・・ 83
競技会場・練習会場案内図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
競技会場屋外配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
競技会場屋内配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
練習会場の使用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
練習会場使用日程表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
練習会場配置図・概要図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
競技上の注意 ・・・ 97
審判上の注意 ・・・ 99
昼食弁当の斡旋について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
医療救護について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
輸送について ・・・ 102
競技会関係電話番号一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
（財）日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105



あ い さ つ

第62回国民体育大会会長
財団法人　日本体育協会
会　長　　森　　喜　朗

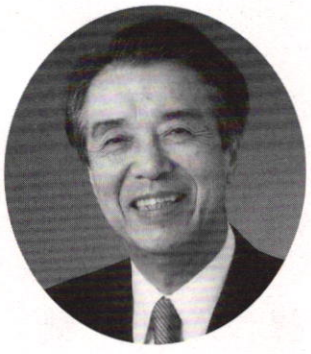
風光明媚な自然に恵まれ、伝統的な地域文化が息づくここ秋田県に、天皇陛下・皇后陛下のご臨席を仰ぎ、第62回国民体育大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

スポーツを通して広く国民に夢と希望を与え、明るく豊かな国づくりを目指してスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として充実、発展を遂げてまいりました。

「秋田わか杉国体」の愛称のもとに開催される本大会は、昭和36年に開催された第16回大会以来、秋田県では46年ぶりの開催となります。そして、113万県民の皆さんが「君のハートよ位置につけ」の合言葉のもと、本年2月に開催された第62回国民体育大会冬季大会スキー競技会の経験を存分に活かし、秋田らしさが随所に溢れる国体を体現するため、その準備に万全を尽くされた誠に意義深い大会であります。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんは、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し悔いのない競技をされるとともに、人情味あふれる秋田県の皆さんと心暖かな交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

終わりに、「秋田わか杉国体」の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました地元秋田県をはじめ、ご関係の皆様方のご支援、ご協力に対し、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功をお祈り申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣
伊吹文明

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ秋田県において、第62回国民体育大会本大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

スポーツは、人々に夢と感動を与え、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、国民一人一人の心身の健全な発達に必要なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有するものです。本大会で62回を数える国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民に親しまれるとともに、競技力の向上はもとより、国民の健康増進と体力の向上、及び地域スポーツの振興と地域文化の発展に、重要な役割を果たしてまいりました。

昭和36年に秋田県で開催されました第16回国民体育大会は、地元秋田県民の心温まる歓迎と運営から「まごころ国体」と称され、参加した多くの方から賞賛されました。46年ぶり2度目の開催となります「秋田わか杉国体」は、秋田県民の英知と創造力を結集し、「秋田の心」を継承しつつ、時代のニーズに合わせた簡素で効率的な運営とともに、まごころあふれる感動と出会いの大会となるよう万全な準備を積み重ねられた大会です。本年2月に開催され大成功を収めた冬季大会スキー競技会と同様、国民に夢と感動を与える素晴らしい大会となりますことを、心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、この機会に、全国の仲間や秋田県民の皆さんと交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となるよう期待しております。

結びに、「君のハートよ位置につけ」の合言葉の下、県民総参加で開催の諸準備に当たられた地元秋田県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、ごあいさつといたします。



あいさつ

財団法人　日本バドミントン協会
会長　綿貫民輔

「君のハートよ位置につけ」をスローガンに、豊かな土壌と、美しい自然、歴史ある土地、ここ秋田県美郷町で第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」バドミントン競技会を開催できることは、誠に喜びに堪えないところであります。ここ秋田県での国民体育大会開催は、実に46年ぶりであり当時は「まごころ国体」と呼ばれ、秋田県人の素朴で人情あふれる応対が、全国のアスリートに深く想い出として刻まれた大会でした。今大会も、県民総参加「一人一役運動」として、かつての「まごころ国体」以上の誠意ある取り組みがなされてきました。

思い起こせば、その秋田県もかつては「バドミントン王国」という異名をとった強豪県でした。長く低迷が続きましたが、関係者の熱意により昨年の兵庫国体では素晴らしい活躍で「王国復活」を全国に示し、今回の地元国体に臨んだものと思います。

また、会場地であるここ美郷町の町章は、「希望」「飛躍」「親睦」を表現しているそうです。選手の皆さん、今一度、国民体育大会が目指す意義をお考え下さい。常日頃から大いなる「希望」を持ち、弛まぬ努力で国体出場を果たし、栄えある郷土の代表として「飛躍」を目指すとともに、選手間はもちろん大会運営に携わるスタッフや会場地の方々と大いに「親睦」を深めていく、という志です。まさにこの美郷町の町章と合致します。

選手の皆様には、地元秋田県の熱意や美郷町の町章・町民の皆様の誠意に恥じないよう、スポーツマンシップに則った感動あるプレーを展開されますよう期待いたします。

終わりに、「秋田わか杉国体」の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただきました地元秋田県、会場地美郷町の関係者、秋田県バドミントン協会の各位に対し、心から感謝の意を表しまして、ご挨拶といたします。



歓迎のことば

秋田わか杉国体実行委員会会長
秋田県知事　寺　田　典　城

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から多数の選手並びに役員の皆様をお迎えして、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」を盛大に開催できますことを、大変うれしく思います。秋田県民を代表して皆様を心から歓迎します。

「秋田わか杉国体」は、“まごころ国体”として共感を呼んだ昭和36年の大会の精神を受け継ぎ、開催市町村と住民が主役になり、地域の特色と創意工夫を生かした秋田らしい大会を目指して、県民総参加で準備を進めてきました。

選手の皆様には、「君のハートよ位置につけ」の合言葉のもと、栄えある郷土の代表として日頃鍛えた力と技を存分に発揮されるとともに、一緒に参加される選手はもちろんのこと、運営に携わる役員、ボランティア、応援の皆様との交流を深め、多くの感動を分かち合うことによって、この「秋田わか杉国体」が、皆様の思い出に残る素晴らしい大会になることを心から願っております。

また、御来県の皆様には、本県の豊かな自然や食、香り高い文化、県民の温かいもてなしの心にふれていただき、秋田の魅力を大いに楽しんでいただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にあたり、多くの御支援、御尽力をいただきました関係の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

秋田わか杉国体美郷町実行委員会
会長　美郷町長　　松　田　知　己

第62回国民体育大会秋田わか杉国体の開催にあたり、ここ美郷町においてバドミントン競技会に関わる多くの選手・監督並びに役員の皆様をお迎え出来ますことはまことに喜ばしく、町民とともに心から歓迎申し上げます。

当町は、平成の大合併で秋田県内の第1号として平成16年11月1日に誕生しました。澄んだ空気と清浄な水、豊穣の大地に恵まれた「美しい郷」は、四季の鮮やかな彩りと人の真心で満たされています。また、競技会場の美郷総合体育館リリオスは、バリアフリーなど最新の設備を備えており、ハード・ソフトの両面で、快適な競技環境となるように準備を整えてまいりました。

また当町では、これを機会に町民一人ひとりが様々な人たちとの交流を広げることで、合併後の町の一体感ある発展につなげることを期待しております。バドミントン競技の選手・監督の皆さんを民泊で受け入れることも、そうした思いの一つとして取り組んでいます。

更に、選手の皆さんの全力で熱いプレーを目の当たりにすることで、次代を担う子どもたちや多くの町民が、スポーツの感動を肌で感じて、美郷が一層元気になることを願っております。

選手の皆さんには、日ごろ鍛えた技を存分に発揮されますとともに、こうした町の雰囲気に触れて、町民との交流を広げていただき、多くの感動を分かち合うことができますよう念願いたしております。

終わりに、本競技会の開催に際して、ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、バドミントン競技のますますの発展をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

秋田県バドミントン協会
会長　齋藤隆夫

全国各地から激戦を勝ち抜き、選りすぐられた選手、監督並びに役員の皆様を美郷町にお迎えし、第62回国民体育大会バドミントン競技会を開催できますことは、誠に喜ばしく心より歓迎申し上げます。

ここ美郷町は、平成16年11月1日に、千畑町、六郷町、仙南村の2町1村が合併して誕生した、奥羽山脈の裾野、仙北平野に広がる清らかな水と自然豊かな町であります。

昭和36年に第16回大会が本県を中心に開催され、質素な中にも温かい県民性を発揮した手厚いもてなしは、「まごころ国体」として参加者の絶賛を浴びた大会でありました。本大会においても、開催地美郷町をはじめ秋田県バドミントン協会関係者は来県なさる皆様を温かく迎え、選手には実力を遺憾なく発揮して存分にプレーし、大会運営についてはスムーズに運ばれるよう万端の環境づくりに誠心誠意努めてまいりました。

出場される選手の皆様には、郷土とご自身の栄誉のために、日頃鍛えた技と力を十二分に発揮し、最後まで白熱したプレーをご期待申し上げます。

「君のハートよ位置につけ」をスローガンに開催されます秋田わか杉国体は、文字通り国民の体位の向上と充実した生涯スポーツの一環として、バドミントン競技人口の拡大、競技水準の向上、競技施設の拡充等に大いに貢献するものと期待されております。

終わりに本大会の開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました財団法人日本バドミントン協会をはじめ、地元美郷町並びに関係機関、関係各位に厚くお礼申し上げるとともに、本大会の成功を心からご祈念申し上げ歓迎のことばといたします。



天　皇　杯　　皇　后　杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、本大会閉会式に授与し、次回冬季大会最初の競技会開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規定は昭和４１年４月１日制定
昭和４５年１月２２日一部改訂
昭和４８年７月１０日一部改訂
昭和５４年５月　９　日一部改訂
平成１７年６月１６日一部改訂



大会会長トロフィー

国民体育大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 責任を持って保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4) 財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和４５年４月１日制定
昭和４５年１月２２日一部改訂
昭和４８年７月１０日一部改訂
昭和５４年５月　９　日一部改訂
平成１７年６月１６日一部改訂

大会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	伊吹文明			
会長	森喜朗			
副会長	長沼健	佐治信忠	岡崎助一	樋口修資
	寺田典城	蒔苗昭三郎		
顧問	安西孝之	青木半治	猪谷千春	栗原祐幸
	鈴木俊一	帖佐寛章	日比野弘	監物永三
	森正博	臼井秀明	尾崎宏	小関洋治
	落田真一	久保田文也	斉藤斗志二	坂本祐之輔
	鈴木洋一	竹田恆和	田中道博	中内桂郎
	樋口久子	福島修	古川徹	御手洗冨士夫
	渡邊康二	市川正	片岡康子	山本征悦
	佐野和夫	田嶋幸三	林辰男	飯田藍
	浅見榮一	本山茂樹	立川武雄	山岸紀郎
	二木英徳	阿部克三	常山正雄	大島大和
	前田彰一	櫻井勝利	市原則之	鈴木孝幸
	笠井達夫	木村興治	大山則夫	田中英壽
	嘉納寛治	山本秀雄	上村春樹	宇津木妙子
	関根義雄	鈴木三成	來栖行正	福本修二
	木本由孝	真下昇	田中文男	藤田二郎
	飯塚十朗	蓮見圭一	清野勝	川井武彦
	渡辺幹也	近藤忠彦	相澤隆也	高波謙二
	後勝	田中秋筰	萩原俊次	遠藤容弘
	村岡久平	菅原春雄	齋藤寛之	齋藤浩
	村越真	園山和夫	永田敏雄	三宅義信
	衣笠剛	島貫啓	岩坪勝	三辻陽夫
	小野清子	高橋眞琴	勇崎恒也	蝦名武
	佐々木正春	佐藤博俊	川口房男	神尾芳昭
	鈴木浩一	柳田昌秀	青木英典	三戸一嘉
	山川信一郎	碓井進	井口弘章	小林健孜
	中沖克美	柱山嗣廣	赤星哲志	坂野功
	田中敏夫	古田善伯	三田光夫	橋詰澄雄
	林田昭喜	吉井和明	大桑堉嗣	田渕康允
	佐藤廣幸	松野英雄	根石紀雄	竹下隆信
	中山昌作	五ノ坪和彦	大亀孝裕	刈谷好孝
	松本通憲	相良哲朗	高谷信	八十田宏
	甲斐藤昭	末永皓久	神谷育雄	雨宮忠

梅村清弘　坂田敬一　下重暁子　日枝久
福山信義　松本好雄　池坊保子　松浪健四郎
保坂武　原田令嗣　銭谷眞美　玉井日出夫
林幸秀　坂田東一　寺田学　野呂田芳成
御法川信英　二田孝治　鈴木陽悦　松浦大悟
大野忠右エ門　太田宥子　大渕宏道　佐竹敬久
齋藤正寧　加賀谷正美　齋藤紀男　三浦廣巳
鬼塚喜八郎　山﨑拓　林利博　千玄室
河野洋平　川淵三郎　盛田正明　大久保尚武
吉田大士　川島五郎　立木正夫　福田富昭
山崎達光　飛田秀一　渡邊佳英　岩楯昭一
海部俊樹　大林剛郎　岡部英男　松村豊
嘉納行光　綿貫民輔　坂本剛二　武安義光
福田康夫　笹川堯　藤原利將　麻生太郎
宮川祥子　赤木恭平　脇村春夫　堀達也
達増拓也　村井嘉浩　金森義弘　佐藤雄平
角田芳夫　福田富一　横田英一　沼田武
石原慎太郎　山下泰裕　馬場潤一郎　石井隆一
谷本正憲　吉田哲也　山本栄彦　村井仁
田口義嘉壽　神田真秋　岩名秀樹　國松善次
桝岡義明　井手正敬　井戸敏三　柿本善也
仁坂吉伸　溝口善兵衛　石井正弘　加藤義明
二井関成　飯泉嘉門　多田野榮　上田憲幸
井本勇　金子原二郎　永野光哉　広瀬勝貞
荒川隆　伊藤祐一郎　仲井眞弘多

参　与

田中敏　石野利和　鬼澤佳弘　鈴木隆
佐々木長秀　北林康司　津谷永光　石田寛
佐藤健一郎　加藤義康　高松和夫　大里祐一
能登祐一　小田嶋伝一　冨樫博之　穂積志
鶴田有司　金谷信栄　武田英文　小田美恵子
土谷勝悦　川口一　安藤豊　大関衛
樽川隆　中田潤　瀬田川栄一　山内梅良
渋谷正敏　柴田正敏　田口聡　平山晴彦
こだま祥子　三浦英一　淡路定明　門脇光浩
石川錬治郎　鈴木孝雄　小松隆明　佐藤賢一郎
加藤鉱一　石川ひとみ　近藤健一郎　東海林洋
工藤嘉範　原幸子　中泉松司　西村哲男
伊藤美津子　渡部聡　鈴木長男　猪股春夫

	根岸　均	渡部文靖	佐々木松彦	森山裕二
	井上裕司	加藤雅広	藤田了次	佐藤文一
	中山敏夫	高橋英夫	木村　充	佐藤文男
	田中英生	佐藤紀一	長岐哲行	武藤冨士雄
	虻川憲悦	岩本孝一	山王丸愛子	佐藤文隆
	高橋正行	藤井良輝	竹内浩司	渡邉靖彦
	村岡淑郎	澁川喜一	米田　進	進藤　進
	渡部幸男	辻　兵吉	大友康二	大野米蔵
	小野寺　清	加藤廣志	小澤雄象	小林忠雄
	柴田康二郎	細谷義次	山崎　守	一関俊和
	毛利雅晴	安部洋太郎	笹村健明	安宅弘昌
	池田　正	伊藤　彊	上野　満	尾形秀男
	加賀谷悦郎	加藤時子	小松忠孝	小松瞭才
	佐々木岩男	高橋　實	寺田生男	伏見晃一
	船木清治	前田吉克	渡邉一男	
委員長	泉　正文			
副委員長	岡崎助一	小見夏生	坂元譲次	髙橋敏生
総務委員	荒川　昇	安部喜方	有賀豊文	石榑詔之
	上村一志	木内貴史	菊　幸一	小林　隆
	篠宮　稔	菅原哲朗	杉山　茂	豊島吉博
	福林　徹	不老浩二	本間三和子	松田光晥
	三ツ谷洋子	三宅勝次	山口　香	森島堅二
	國安教善	宮本正之	江川清一	出口幸男
	中澤　清	立川克雄	中山充史	大野敬三
	古賀香正	川口三三夫	青田慎太郎	谷田部知一
	進藤　鋼	市田和夫	渡辺正典	
委員	鈴木浩二	澤村哲郎	森　清吉	長井俊蔵
	木原征治	小泉芳孝	朝倉正昭	柿沼憲一
	山崎弘雄	大矢豊治	昇　隆夫	菊地俊美
	江成元伸	岡田行雄	藤原伸二	白川誠之
	安井和男	山内英樹	末松英司	小野沢弘史
	笹田嘉雄	今井茂満	澤田欣一	田口榮治
	田中英一	岡本武勝	高山雅夫	五十嵐　順
	宮崎利帳	生沼　剛	君塚　晋	藤田廣大
	笹田矩史	大塚　緑	佐藤直亮	関根宏一
	田名部和裕	添谷大輔	牧野　耕	土屋耕亮
	大島ユキ	杉浦久弘	南　博徳	溝部康雄
	日比野幹生	森下　平	日下光彦	寺田拓真
	山本幸男	前畑啓太郎	林　修一	猪股康博

小川昌彦
伊藤邦夫
伊藤次男
後条孟
清水和雄
瀬下和夫
船木保美
湊昭策
相坂一則
高橋義雄
木村雅治
菅家龍一
能登義隆
林俊彦
高橋宏美
中尾俊治
加藤憲雄
竹内真澄
馬場康弘
北御門哲男
末永皓久

笠木敏行
秋元昌貴
伊藤喜造
桜庭喜七郎
杉江宗祐
高橋昭
増田弘毅
宮田正旭
磯野静久
梶原賢
新井彰
石原春男
寺内泰良
松田清孝
川畑幸永
濱田浩嗣
川口一彦
中村龍夫
岡田清隆
谷本和男
白金広正

市川講二
池田好道
小野巧
佐藤有一
鈴木斌次郎
辻良之
丸野内胡桃
和賀芳宏
川口仁志
市村仁
萩原出
清水道夫
渡邊正博
山梨幹郎
西村幸夫
吉本知之
下岡博司
石井博
山岡昌徳
得能剛

工藤豊秋
伊藤正子
川村豊太
佐藤芳夫
関勝剛
長門靖彦
三浦正義
柴山能彦
菊地茂樹
柳田昌秀
貝瀬由明
横嶋信生
今井三千雄
新井忠
山本誠三
松本喬
有澤寛
村山一行
森下博輝
西正義

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	秋田県美郷町長			松田知己
会長	財団法人日本バドミントン協会会長			綿貫民輔
副会長	財団法人日本バドミントン協会副会長			三宅祐司
	財団法人日本バドミントン協会副会長			清水務
	秋田県バドミントン協会会長			齋藤隆夫
	秋田県美郷町体育協会会長			山田鐵之助
	秋田わか杉国体美郷町実行委員会事務局長			澁谷陽嗣
顧問	沓掛哲男	森喜朗	関谷勝嗣	森田一
	久間章生	林芳正	市川一朗	伊藤基記
	加藤三夫	宮澤宏之	村上忠治	八木橋伸夫
	佐藤保	塩川甫	橋本角市	相場清一
	権田正一	丸山嘉久	植田博宣	原二三雄
	秋元信一	清水規矩雄	平田登志郎	青木昭二
	池田昌道	毛利清志	川端昇市	高橋重夫
	中島寿禧	五十里光秋	内多小五郎	小宮淳宏
	吹田修一	牧野武	村山幸雄	戸田清一
	濱中誠	福岡幸一	伊豆晃	岡本武利
	本郷節生	今北基夫	菊地利明	野村嘉明
	日高壯	渡辺成雄	伊藤鑛一	小飼栄一
	里見光徳	山根怜	佐藤芳朗	竹林克彦
	油井秀男	木村寛	遠井稔男	北義一
	花岡牧夫	岩崎昭郎	小山内信一	金森義弘
	須藤博	手塚克彦	日野昇	唐澤清一
	田中康二	杉田博	保坂和也	宮川忠和
	山田一六	高澤基	山本多治郎	上野忠
	後藤淳	金森正	神谷哲郎	澤長壽
	田中田鶴子	平林弘嗣	藤田庸右	石田真敏
	加藤博司	成相安信	岡崎彬	深山英樹
	池上任	西野昌明	瀧山一甫	西森潮三
	本田正寛	野口良治	松本孝一	近藤稔
	相澤潔	池田徹	金城芳雄	伊藤福章
	清水猛			
参与	岡村英男	川島一郎	富田善明	板垣隆房
	星野忠男	藤本滋	藤原和文	加藤寛治
	原紀征	鈴木勝之	藤原航	地崎昭宇
	根津谷礼蔵	本山秀昭	稲葉順二郎	加藤信樹
	脇坂安隆	熊地春悦	樋渡満子	髙橋猛
	鈴木一	福田守	杉澤隆一	熊谷隆一
	鈴木良勝	中村利昭	中村美智男	武藤威

	戸沢藤一	森元淑雄	熊谷良夫	齊藤新一郎
	澁谷俊二	泉　繁夫	吉野　久	深沢義一
	髙橋正治	戸澤　勉	飛澤龍右エ門	照井成一
	後藤貴子	佐藤　孝	山本　茂	大村　勲
	佐々木久雄	山田義輝	中山雅憲	佐藤　了
	近藤道哲	篠塚信之助	鈴木　浩	中村立夫
	佐々木敬治	坂本昇一	後松順之助	深澤　廣
	鈴木　隆			
委員長	財団法人日本バドミントン協会専務理事			関根義雄
副委員長	財団法人日本バドミントン協会総務本部　本部長			上原信彦
	秋田県バドミントン協会理事長			谷村武義
	秋田県美郷町バドミントン協会会長			佐藤正一
	秋田わか杉国体美郷町実行委員会事務局次長			高橋辰巳
委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	木戸純一
	銭谷欽治	高橋英夫	千葉健夫	築地孝彦
	中山紀子	野村安忠	濱中　勉	真壁幹雄
	松下　力	三井　裕	山田順一郎	福田　武
	菅原周一	浅岡　武	田畑季章	船木正博
	渋谷　豊	魚谷啓法	鈴木理之	加賀谷　彰
	武田弘美	土谷亮一	保坂　悟	本間秀史
	三浦　誠	石塚忠伍	野水登紀	久米永一
	照井達義	四戸昭治	鈴木康修	須田一治
	武田　晋	佐々木一正	斉藤忠雄	井上　裕
	齊藤ユミ子	齋藤悦蔵	小松英昭	佐藤浩治
	菅生哲也	土佐しのぶ	信太和弘	松田新一
	佐藤博昭	斉藤一夫	松田清孝	佐藤　寿
	伊藤　淳	岸　弘昭	藤田　理	佐藤　等
	金沢聡志	小林栄智郎	佐々木真津夫	原田利雄
	安宅　誠	九嶋　功	斉藤揚一	黒田文夫
	藤原誠一	遠藤善衛	辻永　均	甲谷甚一
	千種友巳	原　文俊	樋場淳浩	斉藤幸恵
	工藤妙子	小笠原政彦	山口将治	松浦裕子
	今　洵	佐藤　晃		

競技役員

（順不同・敬称略）

競技役員長	濱中　勉			
総務部長	谷村武義			
競技審判部長	船木正博			
総合成績計算委員長	今井茂満			
総合成績計算委員	加賀谷彰	三浦誠		
総務副部長	上原信彦	田畑季章		
総務主任	四戸昭治			
総務委員	阿部芙美子	飯塚文男	石川久美子	伊藤登
	小田長洋子	加藤昇平	加藤裕子	菅野京子
	黒川達朗	小松和彦	斉藤耕助	斉藤純二
	佐々木有希子	佐藤信之	佐藤まゆみ	四反田純子
	鈴木咲子	鈴木静子	照井浩	野水登紀
	半田寿也	藤井淑江	藤原あい子	藤原亜紀子
	町田温子	武藤和幸	山岸春江	山田江美子
	吉野和子	渡辺衛		
競技副役員長	熊地春悦			
競技委員	安宅誠	井上裕	大野龍也	大平弘志
	大宮和浩	織山茂樹	甲谷甚一	児玉仁
	小柳悟	小柳真紀子	小柳真理子	小柳みや子
	金和裕	煤賀牧子	千種友巳	樋場淳浩
	仲野谷文勝	西山和宏	畠山聡	平山政史
	松田新一	三浦敦子	米村徹	
進行主任	土谷亮一			
進行委員	浅野直子	木村こずえ	豊島一大	八木奈穂美
記録主任	渋谷豊			
記録委員	浅野朋央	安部恵子	坂本渉	佐藤博昭
	菅原彩	菅原憲子	藤田奈緒子	藤田義人
	細谷進			
シャトル主任	石塚忠伍			
シャトル委員	伊藤ツギ子	照内咲子		
点示主任	土佐しのぶ			
点示委員	高橋昌也	松橋弘光	山口将治	
掲示主任	辻永均			
掲示委員	大久保龍太	佐藤公子		
報道主任	魚谷啓法			
報道委員	小笠原政彦	小西祥子	田村尚之	中田好三
	山崎雅美			
放送主任	武田弘美			
放送委員	工藤妙子	斉藤幸恵		
招集主任	本間秀史			
招集委員	近江豊	佐藤寿		

得点表示主任	本谷　直				
得点表示委員	飯泉恵美子	小野達也	加藤雅隆		
競技審判副部長	保坂　悟	**競技審判副部長　兼　線審主任**		佐藤　等	
審判員	畦地俊宏	沖　貞雄	翁　千秋	高島藤子	
	高橋叔子	堤　伸弘	豊田　悟	鍋島弘之	
	丸山秀之	会川新平	小野寺政博	小原正一	
	國分清一	佐藤光伸	佐藤美代子	鈴木　功	
	鈴木満弥	牧野俊一	皆川芳久	黒田恵美子	
	佐保昌一	高松聡美	松永昌範	加瀬　恵	
	齋藤悦蔵	齋藤千鶴子	佐々木一正	鈴木文男	
	三浦　誠	三浦泰子	山崎裕子	荒木房子	
	小埜純一郎	金子秀明	関　辰夫	吉田千代子	
	安達政治	遠藤善衛	金沢聡志	岸　弘昭	
	久米永一	佐々木真津夫	佐藤英喜	佐藤正一	
	佐藤浩史	高橋修一	照井嘉内	照井達義	
	戸井田義也	原田昌彦	藤原誠一	米澤房夫	
線審副主任	須田一治				
線審員	五十嵐正博	勝又正史	木南伸一	相内朝美	
	阿部一公	阿部伸也	粟津悌子	五十嵐陽一	
	石井るり子	石岡充彬	石澤久美子	石塚貴章	
	泉　ひめ子	伊藤かおり	伊藤俊光	伊藤晴喜	
	伊藤広明	伊藤真樹	伊藤康孝	小笠原憲吾	
	小笠原早苗	小笠原寿美子	尾形麻衣子	長利由加	
	小原貢輝	小山田翔悟	貝梅紘子	加賀屋　智	
	鎌田広行	川辺亜衣莉	北島義大	絹川まゆみ	
	木村真理子	久保田直樹	久米龍也	小松孝則	
	齋藤潤也	斉藤忠雄	齊藤未来	斉藤幸人	
	齊藤ユミ子	榊田美穂子	佐々木健司	佐々木智康	
	佐々木文恵	佐藤浩治	佐藤隆之	佐藤文美	
	佐藤博文	佐藤博之	佐藤真弓	佐藤みどり	
	佐藤友莉	澁谷武志	白井準一	菅野清隆	
	菅原佑介	菅生哲也	須藤和久	瀬川武紀	
	高石慎也	高橋栄作	高橋学史	髙橋智也	
	高橋正勝	武田　晋	田中美帆	田中舘優太	
	丹野輝彦	塚田庸一郎	塚本有紀枝	豊島志寿	
	土門由美	中野谷智加子	中村卓也	野崎優一	
	原　文俊	樋口栄幸	日野　勝	平川喜一郎	
	保浦康之	堀田浩之	松井南美子	松居有紀	
	松田龍子	三浦　純	水澤雄太	湊　純一	
	宮崎良介	村田吉洋	茂木大介	柳田尚男	
	柳原新生	山本瑠璃	米村愛子	和田　歩	
	和田優貴	渡邊友子			

競技補助スタッフ

（順不同・敬称略）

秋田県立羽後高等学校バドミントン部

岩谷美夏	越前愛美	菅原望	鈴木久美	藤原奈津美
石垣真衣子	大庭静香	佐藤江利	佐藤千夏	藤原奈那子
村上美奈子	渡部ことみ	麻生将斗	大野智貴	柿崎実歩子
今野里紗	佐藤翼	佐藤行恵	鈴木哉	藤原千紗都

秋田県立大曲工業高等学校バドミントン部

小笠原翔平	木村拓也	東海林直弥	鈴木大陸	高橋勇基
竹村智弥	西山貴之	古谷祐人	石黒慎也	伊藤駿太
小野寺康平	加藤大地	熊谷駿	栗田命	佐々木一馬
佐藤博満	進藤香奈子	新田智哉	本間克哉	久米純也
佐藤顕	佐藤隆史	菅原直記	鈴木淑恵	西山亮介
真坂幸樹	山口裕也	渡辺竜馬		

秋田県立西仙北高等学校バドミントン部

阿部美紀	伊藤成哉	進藤一真	田村貴裕	戸島良平
豊島七海	舛谷知美	三浦真央	武藤智也	伊藤好生
太田あずさ	斉藤慧	佐々木一成	佐藤好則	須藤佑也
西宮享介	藤原美恵子	安田幸子	矢田健人	柳原秀平
佐々木杏美	進藤琢磨	鈴木晃平	鈴木眞理	深浦翔
三浦秀将	矢田光	和田裕太		

秋田県立平成高等学校バドミントン部

伊藤奈緒子	伊藤弥沙紀	小野寺一春	齋藤蘭子	佐々木駿
佐々木智晴	佐藤馨	佐藤慶太	佐藤優太	柴田成美
東海林怜志	関早於里	高橋健太	高橋美紀子	冨山勉
能登谷栞	野中美奈子	馬場春佳	藤原桃子	吉田理保子
粟津幹晴	稲葉勇太	太田良平	小原和樹	小林勇貴
佐々木梓	佐々木尚也	佐藤省吾	佐藤優佳	柴田匠
高橋利昌	高橋典也	高橋諒太	月沢一樹	郑旭

秋田県立湯沢高等学校バドミントン部

阿部絵里香	小原小百合	柿崎有希	澤谷由子	長瀬和人
藤田菜桜美	牧美穂子	村上和光	浅倉美穂	越後谷彩子
佐藤香織	菅原奈央	高橋真依子	柿崎嵩介	柿崎苑美
桐原雅典	黒澤真侑子	高橋暢	高橋舞衣	渡部洋子

秋田県立横手城南高等学校バドミントン部

石川倫子	伊藤遥	斉藤優衣	佐藤舞美	柴田奈保子
照井ありさ	照井佳奈	日沼友香理	福田明日美	丸橋望美
守屋沙織	高橋珠里	藤井恵理	泉田理絵	鎌田みなみ
佐藤抄美	東海林沙耶	高橋恵理	高橋真帆	高橋利理子
照井彩香	三浦郁美			

秋田県立横手清陵学院高等学校バドミントン部

伊藤裕之	今井覚	大野一真	加賀谷俊樹	小林翔太
齋藤幸靖	佐々木宏瞳	佐々木千博	信太大樹	高山滉平
月澤宇大	照井祥馬	松本雄司	小田島貴大	黒澤大樹
小松田晃央	佐々木広樹	佐々木真也	柴田崇仁	高橋大樹
滝涉	萩原周	松井優		

秋田県立六郷高等学校バドミントン部

鎌田輝政	後藤涉	佐々木将人	高橋悟志	田口諒
秋山琢磨	伊藤徹	小山充春	亀谷大樹	佐藤郁美
佐藤佳弥	高橋久美子	橘建太	田中由香	戸澤裕平
伊藤航也	伊藤亮太	小松巧季	小松凌	佐々木駿
澤田利陽出	高橋康弥	田口朗	早川翔平	福原亮
本川真菜	山手良太郎			

秋田修英高等学校バドミントン部

小松優作	佐々木純子	佐藤日香里	菅原光	高橋諒
大山慶太	佐々木涉	高橋夏奈	三浦崇人	加藤翔平
嵯峨浩貴	佐々木優衣	佐藤康平	鈴木正也	高垣潤平
高橋広志	津島隆太	吉野愛梨香		

実施本部員

（順不同・敬称略）

本部長	佐々木　敬治				
副本部長	坂本　昇一	後松　順之助			
【大会総括部】					
部長	澁谷　陽嗣				
副部長	高橋　辰巳				
国体推進班長	藤田　信晴				
国体推進班	高橋　秀峰	飯田　洋	照井　修	九島　圭子	
	高階　泰充	鈴木　紀和	地主　淑子	高橋　洋子	
	高橋　泉	高橋　正樹	武藤　智子	寺田　健祐	
	継田　裕康				
【総務部】					
部長	深澤　廣				
総務班長	本間　和彦				
本部員係	本間　和彦				
行幸啓係	齊藤　克也	奥山　智佳等	高橋　博和		
広報記録係	渋谷　望	中野　昭紀			
【バドミントン競技部】					
部長	泉谷　隆雄				
歓迎案内班長	高橋　久也				
歓迎案内係	田中　まき子	水原　光子	高橋　洋子	福原　博文	
	鈴木　美幸	谷口　綾子	高橋　里美	齊藤　敦子	
	高橋　幸子	高橋　幸谷	武藤　睦子		
歓迎装飾係	佐藤　久雄	奥山　慶	高橋　良昭	小松　誠一	
	高橋　誠	小田長　久喜	照井　恒幸	高橋　昭	
競技会広報係	高橋　久巳	高橋　建	田口　康一		
消防警備班長	高橋　伊久夫				
消防警備係	皆川　信之	出雲　憲司	鈴木　淳		
衛生班長	高橋　潔				
弁当係	鈴木　忠	高階　千代子	藤嶋　けい子	煙山　禮子	
医療救護係	小川　テル子	李　晶子			
環境美化係	煙山　繁子	武田　浩之	加藤　司	照井　弘信	
	照井　美貴夫	坂本　輝	梅川　茂男		
宿泊班長	小林　宏和	照井　智則	渋谷　新一	高橋　恵一	
	藤井　則子	鈴木　隆	後藤　貞江		
民泊係	鈴木　邦子	佐々木　龍悦	佐藤　剛	照井　千公	
	佐藤　正巳	佐藤　秀勝	照井　奈緒子	照井　美好	
	齊藤　典夫	佐藤　正子	中田　裕克	大坂　清一	
	大阪　佳代子	福田　由徳	高橋　ゆみ子	鈴木　千都清	
	藤井　良子	小原　隆昇	田中　恵	小貫　弘和	
	菅原　エキ子	大阪　かおり	藤井　伸之	渋谷　学	

民泊係	川村タエ子	小田長光仁	半田裕幸	高橋茂
	斎藤俊夫			
給食係	高橋薫	新田泰子	山下康子	
輸送交通班長	本間政藤			
輸送係	加藤隆輝	高橋晋一	星山翼	高橋肇
	高橋由男	煤賀龍一	野村博明	坂本桂
駐車場係	鈴木孝悦	高橋勇成	高橋稔則	佐々木直樹
	田口浩之	山形博康	高橋勉	大澤修
	高橋章浩	熊谷和幸	佐々木一典	小西輝昭
	奥山学			
競技班長	高橋浩之			
競技係	菊田長悦	木村英彰	佐々木寿人	本間忍
	沢野光明	田口弘子	浦部幸子	本間與治郎
	久米光夫	本間一寿	高階まき子	久米永一
	佐藤浩史			
式典班長	梅山正之			
進行・アナウンス係	藤原麻里子	西鳥羽博子	高塚友美	武藤弥生
	飛嶋知佳			
誘導係	高橋一久	飛澤史子	澁谷太子	
筆耕係	煙山光成	高橋穣	高橋和大	高橋紀公子
	畠山圭枝子			
式典庶務係	深澤克太郎	高橋圭子	木村武宏	
出演者係	高橋真智子	高橋絹子		
交通指導隊長	坂本専太郎			
交通指導隊副隊長	杉澤君男	小原則夫		
交通指導員	斎藤重雄	小山烈子	戸沢昭子	塙常観
	佐藤寛	鈴木正史	藤岡芳信	寺田洋一
	鷹觜寧	鷹觜敏美	熊谷義治	伊藤アケ子
	鈴木清文	齊藤栄悦	樫尾浩治	高橋光徳
	渡辺ケイ子	煙山えつ子	高橋とも子	坂本由久子
	鶴谷敏美	佐藤博文	照井守	石川秀明
	石田公生	中村伸広	本間博幸	高橋栄子
	田中美和子	高橋宏子		
防犯指導隊長	湊雄治			
防犯指導隊副隊長	進藤寅夫	高橋一彦		
防犯指導員	伊藤政雄	藤谷元太郎	湯川安宏	加藤辰見
	森川攻成	杉澤隆一	高橋繁子	嶋津美和子
	鈴木直保	本間孝子	後藤章子	金子芳美

式典補助員

（順不同・敬称略）

式典補助員

美郷町立仙南中学校

小西祥子　小松田諭（引率）

飯田敏生	石田真一郎	泉谷卓	出雲葉月	伊藤貴大
伊藤正哉	伊藤優季	伊藤悠二	井上拳人	梅川葵
岡本和磨	小原志穂	加藤絵里香	北嶋侑史	木村裕也
木村龍斗	久米恵莉子	小澤麻莉華	小林健人	小林めぐみ
小林航	近藤潤一	齊藤朱里	佐々木彩圭	佐々木紫帆
佐々木舞	佐藤いずみ	佐藤郷	佐藤慎之佑	佐藤真朱美
佐藤美由紀	佐藤優衣奈	東海林弦	進藤藍嘉	鈴木翔太
鈴木陽	瀬田川幸嗣	髙橋加奈子	髙橋識旭	髙橋潤
髙橋泰己	髙橋拓也	髙橋俊貴	髙橋真	髙橋由実
高橋亮成	継田尚哉	鶴谷汐里	照井瑞基	長岐政伸
藤井円華	藤井佑樹	藤田起弥	本間公子	村田亮輔
山田千鶴	大川千晶	大越友紀子	大阪朝美	加藤華菜美
齊藤郁美	佐藤成美	佐藤羽純	佐藤福美	佐藤友香
佐藤瑠美	瀬田川舞子	髙橋亜紀穂	髙橋紬	高橋里奈
竹原幸美	傳野未来	中野花奈	藤田朋子	藤田友美
宮川夏希	伊岡森真実	加藤三津子	菊田愛美	久米千紘
小松彩乃	齊藤綾夏	斉藤叶子	佐藤絵理香	佐藤志穏
佐藤佑香	照井あすか	中野伶奈	深沢唯	藤井明日華

式典音楽隊

美郷町立仙南中学校吹奏楽部

高井哉子（引率）

伊藤朋美	久米明花	金子なるみ	髙橋愛	髙橋諒
高橋佐規子	佐藤香織	佐藤瑞姫	佐藤未来	糸谷美咲
小田島萌	小田嶋咲実	菅原純	石田真美	竹村友希
中山佳奈	中田芽吹	梅川響	梅川義隆	平井里美
湊由起子	木村麻依子	鈴木千広	伊藤舞香	髙橋味佑
高見真由	佐藤小夏	佐藤美玖	佐々木望	佐々木美和
佐々木歩美	照井真穂	村田詩織	中田生	藤澤理子
梅川知帆	福田有希	野村遥	傳野あゆみ	伊藤光
加藤陽	皆方規予子	吉方千晶	熊谷緑子	後藤愛実
佐藤千咲希	佐々木美保			

競技会補助員

（順不同・敬称略）

【秋田県立六郷高等学校２年３組】

粟津明子	井上奏子	大矢峻亮	加藤拓央	加藤基
草薙美紀	小杉和礼	小西美帆	小松渓	小松日和
佐々木元	佐々木人美	佐々木恵	佐藤詩央里	鈴木友也
髙貝聖真	髙橋亜矢佳	髙橋翔子	田口晴菜	武田朋之
戸沢真悠子	戸堀幸栄	長澤翼	野中千尋	深澤佑介
藤井愛美	望月晃耀	山方翔平		

【わくわくサポーター】

江畑聿代	大坂恵子	大阪孝次	小原百合子	北嶋千鶴子
木村嘉朗	佐藤重雄	佐藤トシ子	佐藤義章	佐藤由蔵
澁谷喜一	渋谷清克	渋谷禎子	菅原潔	鈴木博昭
瀬田川幸子	髙橋榮子	髙橋藤	髙橋美由紀	照井ケイ子
飛澤名臣	中野益美	二藤誠祥	二藤由喜子	畠山伸子
原ルミ子	深沢恵里子	藤井一成	藤井克代	藤井光紀
又井誠	松川榮子	森元博美	山崎康夫	山代功
和田昇治	武田多佳子	藤肥寛明	佐々木正記	藤原誠
工藤和喜	金田正樹	斎藤真	坂本陽	佐々木芳弘
三浦金彦				

【美郷町バドミントンスポーツ少年団保護者会】

伊藤弘美	小原広子	小澤明美	小林慶子	小林裕一
佐々木幸子	佐藤明美	佐藤英子	佐藤久美子	佐藤長子
佐藤春美	佐藤浩保	佐藤三雄	鈴木直子	髙橋雅子
髙橋ゆかり	髙橋るみ子	照井あゆみ	照井栄美子	照井志津子
中野初	中野まゆみ	畠山和浩	畠山朋子	畑山万佐子
細井徹	細井美保子	柳原幹子	渡邉春美	

協　力　者

（順不同・敬称略）

【医療・救護】

医　　師	小　西　永　晃	横　井　照　彦	照　井　　哲	藤　岡　　眞
看　護　師	辻　原　睦　美	横　井　優　子	斉　藤　洋　子	佐々木　千賀子

【手話通訳】

手話通訳者	小　林　日笑美	大曲仙北手話研究会会員

協 力 団 体

（順不同・敬称略）

大曲仙北医師会　美郷町医療協議会　大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　大曲仙北手話研究会
秋田県高等学校体育連盟バドミントン専門部　秋田県高等学校体育連盟県南支部バドミントン専門部
秋田県立羽後高等学校　秋田県立大曲工業高等学校　秋田県立西仙北高等学校
秋田県立平成高等学校　秋田県立湯沢高等学校　秋田県立横手城南高等学校
秋田県立横手清陵学院高等学校　秋田県立六郷高等学校　秋田修英高等学校
秋田県中学校体育連盟バドミントン専門部
美郷町立仙南中学校　美郷町立千畑中学校　美郷町立六郷中学校
美郷町立金沢小学校　美郷町立仙南西小学校　美郷町立仙南東小学校　美郷町立千畑南小学校
美郷町立千屋小学校　美郷町立六郷小学校　美郷町立六郷東根小学校
美郷町バドミントンスポーツ少年団保護者会　ＪＡ秋田おばこ仙南地区女性部　株式会社北都銀行

【民泊協力組織】

後三年国体協力会　元村国体協力会　四ツ谷国体協力会　新田国体協力会　本田国体協力会
下タ堰国体協力会　菅谷地国体協力会　熊堂国体協力会　八卦国体協力会　石町国体協力会
二ツ柳国体協力会　笹巻国体協力会　金西谷地中国体協力会　大久保国体協力会
万願寺国体協力会　釜蓋国体協力会　今泉国体協力会　百目木国体協力会
上千間谷地国体協力会　下千間谷地国体協力会　小町田国体協力会　町田国体協力会
糠渕国体協力会　上萩沢国体協力会　下萩沢国体協力会　山本一国体協力会
山本二国体協力会　川原国体協力会　谷地川国体協力会　中島・藤原国体協力会
北飯詰国体協力会　橋本国体協力会　鶴水国体協力会　下鶴田国体協力会　披国体協力会
上中野町国体協力会　下中野町国体協力会　佐野国体協力会　上天神堂国体協力会
耳取国体協力会　松ノ木国体協力会　扇田国体協力会　南町国体協力会　上深井東国体協力会
上深井西国体協力会　駅前上甲国体協力会　駅前上乙国体協力会　駅前中国体協力会
駅前下国体協力会　都野国体協力会　川原保国体協力会　中関国体協力会
金沢谷地中国体協力会　森先国体協力会　上前郷国体協力会　中前郷国体協力会
下前郷国体協力会　米ノ口国体協力会　茨島国体協力会　石神国体協力会　上野際国体協力会
下野際国体協力会　明田地国体協力会　上野荒町国体協力会　下野荒町国体協力会
籠林国体協力会　寺田国体協力会　新道国体協力会　長岡森国体協力会

総　　則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

秋田県で開催する第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」は、「美の国秋田」の多彩な魅力を全国に発信するとともに、簡素で効率的な大会運営の推進を図りながら、まごころあふれ、感動と出会いを育む国体を、県民の英知と創造力を結集し開催するものである。

実施方針

1　実施競技

正式競技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 スポーツ芸術

2　会期及び会場地

会期	会場地	会場地数
平成19年９月29日(土) ～10月９日(火) 〔11日間〕	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、三種町、五城目町、八郎潟町、美郷町、羽後町、大潟村	13市５町１村

3　競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技についてはそれぞれの実施要項に示す方法とする。

4　ドーピング・コントロール検査の実施

検査は、国体ドーピング・コントロール規定に基づき実施する。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

(1) 参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ｱ) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者（日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）

(ｲ) 学校教育法第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒

ただし、

a　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在（中学３年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない。

(ｳ) 参加しようとする当該年以前に前号(ｲ)の規定に該当していた者。

イ　各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第60回又は第61回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第60回又は第61回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ) 成年種別

a　平成18年度に学校教育法第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

(ｲ) 少年種別

a　平成18年度に学校教育法第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記２「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。）

エ　選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　前記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ) 参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

(ｲ) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(ｳ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｴ) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｵ) 単一大学又は実質的に単一大学の学生によって構成される団体競技のチームは、参加できない。ただし、個人競技で当該競技団体が定めた適正な予選方法により、結果として単一大学の者が選出された場合は、この限りではない。

(ｶ) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

イ　少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 学校教育法第１条に規定する学校の所在地

(ウ) 勤務地

※　上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成19年４月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

・　成年種別の選手が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合

・　少年種別の選手が「一家転住」した場合

(3) 選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、平成元年４月１日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、平成４年４月１日以前に生まれた者から平成元年４月２日以後に生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成19年４月１日を基準とする。

イ　(財)日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、(財)日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、(財)日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1) 成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第３項〔本則第８項第１号及び第10項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

(2)「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

(3)「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。

(4)「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第３項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(5) ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

(6) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加

申込み締切り期日までに、(財) 日本体育協会宛に提出する。

別記２【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第３項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。

(1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

(2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむをえない理由に限ることとする。

(3)「一家転住等」とは、概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむをえない理由による一家の転居

(4) 転居先の都道府県予選会締切日以前に、次の手続きを終了していること。

ア　別に定める様式により、属していた都道府県体育協会会長及び都道府県競技団体会長の承認を得ること。

イ　承認を得た書類については、転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体へ提出すること。

6　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次の２種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、少数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	――――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) アンチ・ドーピング規則違反に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会アンチ・ドーピング規則違反に対する制裁措置等取り扱い規則」及び「国民体育大会におけるアンチ・ドーピング規則違反が確定した場合の競技順位・得点等の取り扱い要領」によるものとする。

7　表　　彰

(1) 冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

8　各競技の参加申込み方法

(1) 都道府県の体育協会会長及び各競技団体会長は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び(財)日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長あてに申し込むものとする。

(2) 参加申込みは、定められた期限までに所定の様式及び方法により、(財)日本体育協会あてに行う。

(3) 参加申込期限

期　　限	競　　技
(1) 平成19年８月23日(木)	水泳、ボート、レスリング、セーリング、自転車、相撲 カヌー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ
(2) 平成19年８月27日(月)	テニス
(3) 平成19年８月29日(水)	柔道
(4) 平成19年９月５日(水)	馬術
(5) 平成19年９月６日(木)	陸上競技、サッカー、ホッケー、ボクシング、 バレーボール、体操、バスケットボール、 ウエイトリフティング、ハンドボール、 ソフトテニス、卓球、軟式野球、フェンシング、 ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、 剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、 銃剣道、クレー射撃、高等学校野球

(4) 参加申込み様式は、(財)日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 参加申込み締切り後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記あてに文書で届けなければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　秋田県総務企画部国体・障害者スポーツ大会局

ウ　秋田わか杉国体各競技会場地実行委員会

なお、(財)日本体育協会に対しては、上記の文書による届け出の後、所定の様式及び方法に

よる交代（変更）手続きを行うものとする。

9　大会参加負担金

(1) 本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、１人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	１，５００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	２，０００円

(2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

平成19年９月６日（木）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　５１３７２９

財団法人日本体育協会

10　宿泊申込み

大会参加者は、秋田県総務企画部国体・障害者スポーツ大会局が指定した所定の様式により、定められた期限までに申し込む。

11　参加選手団本部役員編成及び視察員

(1) 参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手500名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計20名以内とする。

イ　参加選手300名以上500名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計15名以内とする。

ウ　参加選手300名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計10名以内とする。

(2) 上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

(4) 参加選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(5) 視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、第63回大会から第67回大会までの開催県については、大分県100名以内、新潟県、千葉県60名以内、山口県、岐阜県40名以内とする。

12　参加章、記念章及び視察員章の交付

参加章、記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1) 参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2) 記念章

デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者

(3) 視察員章

視察員

13　参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付された参加章、記念章又は視察員章を着用しなければならない。

(2) 参加章及び視察員章着用者は、開・閉会式を除くすべての競技会場に入場することができる。

(3) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

14　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、(財)日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議のうえ本要項に基づき実施要項を作成する。

(2) 参加者は、実施要項に基づき当該都道府県の主催団体に申し込む。なお、参加は１人１競技に限る。

(3) 申込みは、すべて各競技団体所定の参加申込用紙による。

(4) 参加料を徴収する場合の金額は、主催団体が中央競技団体と協議のうえ定める。

(5) 競技運営に差し支えない限り、秋田県選手は当該競技のブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

15　国民体育大会参加者傷害補償制度

(財)日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者全員による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、国民体育大会都道府県予選会、ブロック大会及び本大会に参加する全ての選手、監督及び選手団本部役員（顧問を含む）とする。

(2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金を、(財)日本体育協会に納入する。なお、制度負担金については次のとおりとする。

区　　分	制度負担金
都道府県大会のみの参加者	一人あたり　700円
ブロック大会及び本大会の参加者	一人あたり1,000円

(3) 納入期限及び納入先については別途(財)日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

16　デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は次表のとおりとし、実施については、同スポーツ行事実施基準に基づく実施要項による。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会　場　地	会場地数
パワーリフティング	秋　田　市	10市３町
武術太極拳		
３Ｂ体操		

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会　場　地	会場地数
ソフトバレーボール	秋　田　市	10市３町
ゲートボール		
ビリヤードナインボール		
ユニカール	大　館　市	
秋田県８人制バレーボール	湯　沢　市	
スカイスポーツ		
ラージボール卓球	鹿　角　市	
パークゴルフ	由利本荘市	
インディアカ		
オリエンテーリング	潟　上　市	
グラウンド・ゴルフ	大　仙　市	
フライングディスク		
綱引	三　種　町	
ママさんバスケットボール	能　代　市	
トレッキング	八　峰　町	
子ども相撲	井　川　町	
バウンドテニス	横　手　市	
デュアスロン	仙　北　市	

17　その他

(1) 参加申込み及び宿泊申込みが、定められた期限までに行われない場合、または、参加負担金が定められた期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第 62 回国民体育大会バドミントン競技実施要項

1　期　　日　　平成 19 年 10 月 5 日（金）から 10 月 8 日（月）まで（4 日間）

種　別	10 月 5 日（金）	10 月 6 日（土）	10 月 7 日（日）	10 月 8 日（月）
成年男子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
成年女子	1　回　戦	2 回戦・3 回戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年男子	1　回　戦	2　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年女子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝

2　会　　場　　美郷町　　美郷総合体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計
成年男子	1	3	１６	６４	４４４
成年女子	1	3	４７	１８８	
少年男子	1	3	３２	１２８	
少年女子	1	3	１６	６４	

4　競技上の規程及び方法

(1)　平成 19 年度の（財）日本バドミントン協会競技規則による。

(2)　各種別とも 1 複 2 単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち 2 試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3 位決定戦を行う。

5　予選方法

成年男子、少年男子、少年女子はブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。

ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	少年男子	少年女子
北 海 道	北海道	1	1	1
東　　北	青森、岩手、宮城、山形、福島	2	4	2
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	6	2
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	3	2
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	2	1
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	4	2
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	3	2
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	2	1
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	6	2
開 催 地	秋田	1	1	1
計		１６	３２	１６

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

7　総合成績判定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子	成年女子	各種別とも１位24点、２位21点、３位18点、４位15点、５位（４チーム）各7.5点の競技得点を与える。
少年男子 少年女子	少年女子	

(2)　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2)　男女総合成１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第８位までに、賞状を授与する。

9　参加申込み方法

(1)　所定の参加申込ファイルへ必要事項を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成19年９月６日(木)までに(財)日本体育協会へ提出(アップロード)すること。

(2)　締切期限以降は参加申込ファイルの提出が受け付けられなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込み締切り後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記のア・イ・ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150－8050　東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館内
(財)日本バドミントン協会
TEL 03－3481－2382　　FAX 03－3481－2456

イ　〒010－8572　秋田県秋田市山王３丁目１番１号
秋田県総務企画部国体・障害者スポーツ大会局
TEL 018－860－5214　　FAX 018－860－5211

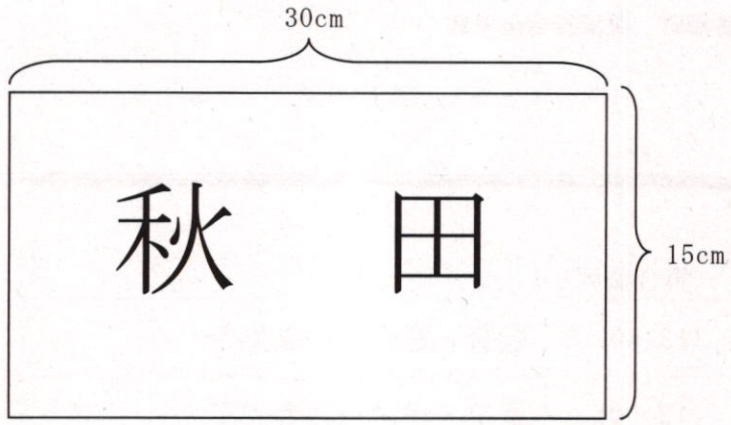
ウ　〒019－1234　秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島３５－１　美郷町仙南庁舎内
秋田わか杉国体美郷町実行委員会事務局
TEL 0187－84－4916　　FAX 0187－83－3106

なお、(財) 日本体育協会に対しては、上記への提出後、別途、所定のファイルにより提出（アップロード）すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦 15cm、横 30cm の範囲内で都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

【例】



11　そ　の　他

(1)　組合せ抽選会

日　時　　平成 19 年 9 月 8 日（土）　午後 1 時

場　所　　岸記念体育会館　会議室

〒150－8050　東京都渋谷区神南１－１－１

TEL 03－3481－2382

(2)　監督会議

日　時　　平成 19 年 10 月 4 日（木）午後 3 時

場　所　　美郷町仙南公民館

〒019－1234　秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島３７－１

TEL　0187－83－2280

(3)　審判会議

日　時　　平成 19 年 10 月 4 日（木）午後 4 時

場　所　　美郷町仙南公民館

〒019－1234　秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島３７－１

TEL　0187－83－2280

(4)　表彰式

日　時　　平成 19 年 10 月 8 日（月）午後 2 時

場　所　　美郷町　美郷総合体育館

〒019－1234　秋田県仙北郡美郷町飯詰字糠渕１８－１

TEL　0187－86－8300

表　彰　式　次　第

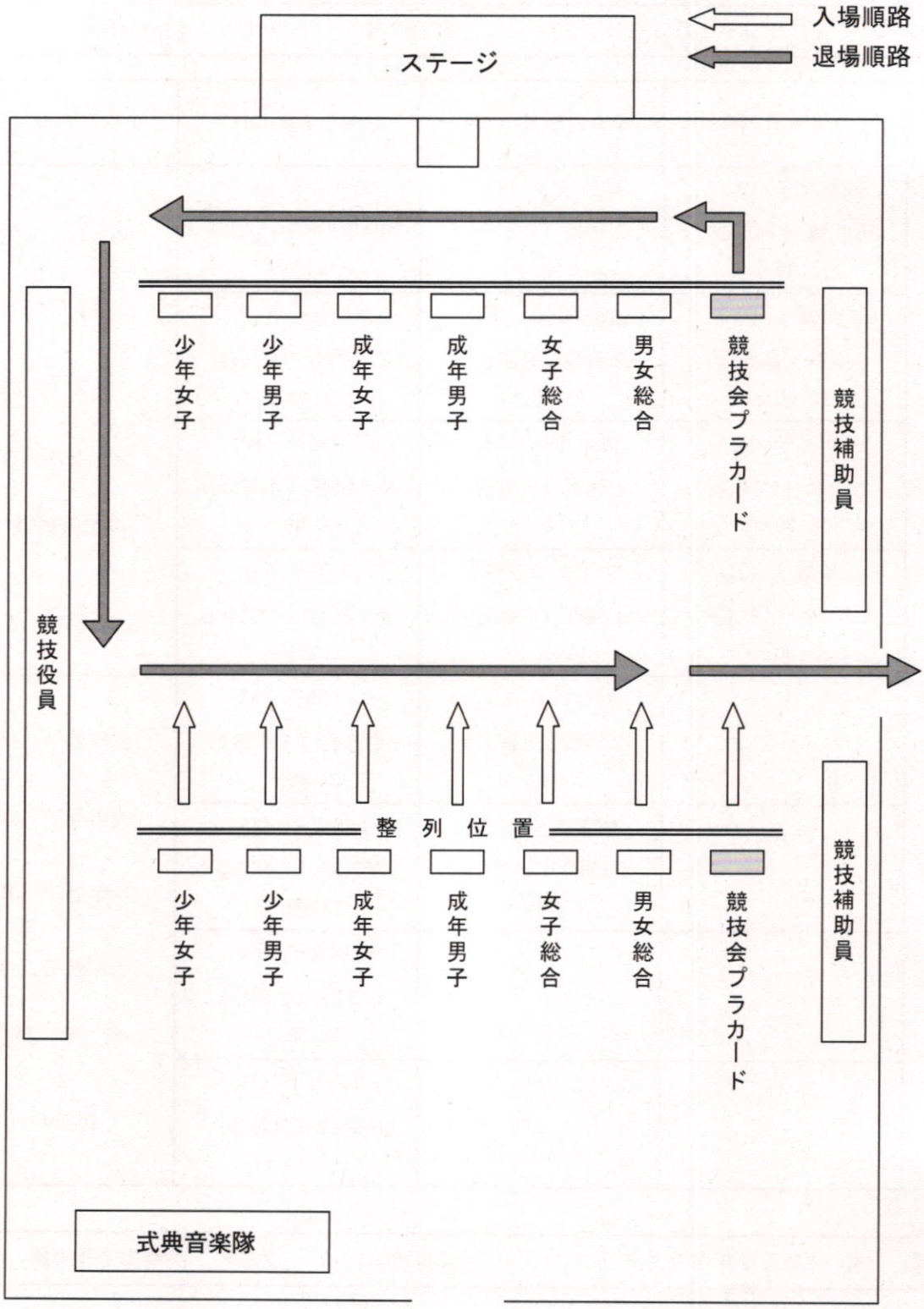
1　日　　時　　平成19年10月8日（月）　午後2時

2　場　　所　　美郷町　美郷総合体育館

3　式 次 第

－集合整列－		
(13:40)		監督・選手・役員集合
(13:50)		選手・役員等集合完了
－式　典－		
	1	開式通告
	2	選手団入場
	3	成績発表
	4	表彰
	5	競技会会長挨拶
	6	歓送の言葉
	7	国旗儀礼
	8	大会旗・日本バドミントン協会旗・秋田県旗・美郷町旗儀礼
	9	競技会終了宣言
	10	閉式通告
	11	選手団退場
	12	役員退場

表彰式入退場行進順路図



競 技 日 程

監 督 会 議	平成１９年１０月４日（木）	15時00分	美郷町　仙南公民館
審 判 会 議	平成１９年１０月４日（木）	16時00分	美郷町　仙南公民館

	１０月５日（金）	１０月６日（土）	１０月７日（日）	１０月８日（月）
美郷町美郷総合体育館	成年女子（W） １回戦（７試合） 11:30 ～	成年女子（W） ２回戦（８試合） 9:30 ～	成年男子（M） 準々決勝（４試合） 9:30 ～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） ３位決定戦 9:30 ～
	成年女子（W） １回戦（８試合） 13:00 ～	成年女子（W） ２回戦（８試合） 11:00 ～	少年女子（G） 準々決勝（４試合） 9:30 ～	
	少年男子（B） １回戦（８試合） 14:30 ～	成年男子（M） １回戦（８試合） 12:30 ～	成年女子（W） 準々決勝（４試合） 11:30 ～	
	少年男子（B） １回戦（８試合） 16:00 ～	少年女子（G） １回戦（８試合） 14:00 ～	少年男子（B） 準々決勝（４試合） 11:30 ～	
		少年男子（B） ２回戦（８試合） 15:30 ～	成年男子（M） 準決勝（２試合） 13:30 ～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決　勝　戦 10:30 ～
		成年女子（W） ３回戦（８試合） 17:00 ～	少年女子（G） 準決勝（２試合） 13:30 ～	
			成年女子（W） 準決勝（２試合） 15:30 ～	
			少年男子（B） 準決勝（２試合） 15:30 ～	

表　彰　式	平成１９年１０月８日（月）	14時00分	美郷町　美郷総合体育館

タイムテーブル

月　日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8
第１日目	11:30	W 1	W 2	W 3	W 4	W 5	W 6	W 7	
１０月５日	13:00	W 8	W 9	W１０	W１１	W１２	W１３	W１４	W１５
（金）	14:30	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8
	16:00	B 9	B１０	B１１	B１２	B１３	B１４	B１５	B１６
第２日目	9:30	W１６	W１７	W１８	W１９	W２０	W２１	W２２	W２３
１０月６日	11:00	W２４	W２５	W２６	W２７	W２８	W２９	W３０	W３１
（土）	12:30	M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6	M 7	M 8
	14:00	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8
	15:30	B１７	B１８	B１９	B２０	B２１	B２２	B２３	B２４
	17:00	W３２	W３３	W３４	W３５	W３６	W３７	W３８	W３９
第３日目	9:30	M 9	G 9	M１０	G１０	G１１	M１１	G１２	M１２
１０月７日	11:30	W４０	B２５	W４１	B２６	B２７	W４２	B２８	W４３
（日）	13:30	M１３		M１４			G１３		G１４
	15:30		W４４		W４５	B２９		B３０	
第４日目	9:30	W４６		B３１			M１５		G１５
１０月８日	10:30		W４７		B３２	M１６		G１６	
（月）	14:00	表　彰　式							

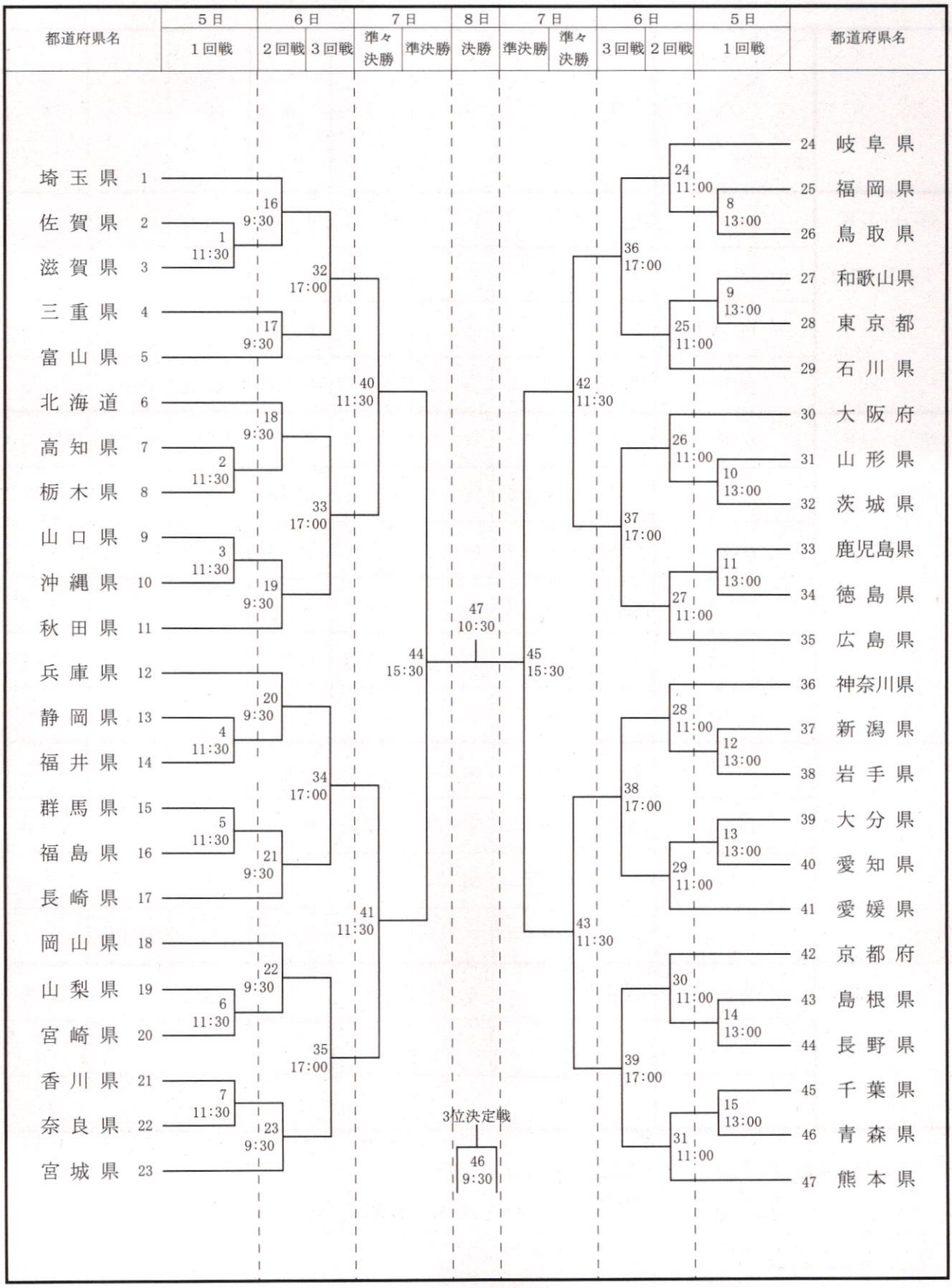
※　Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

※　10月5日（金）の第１試合（成年女子W１～W７）の公式練習は、若番より11:30から5分間ずつ行う。

※　□　は決勝戦、＿＿＿　は３位決定戦

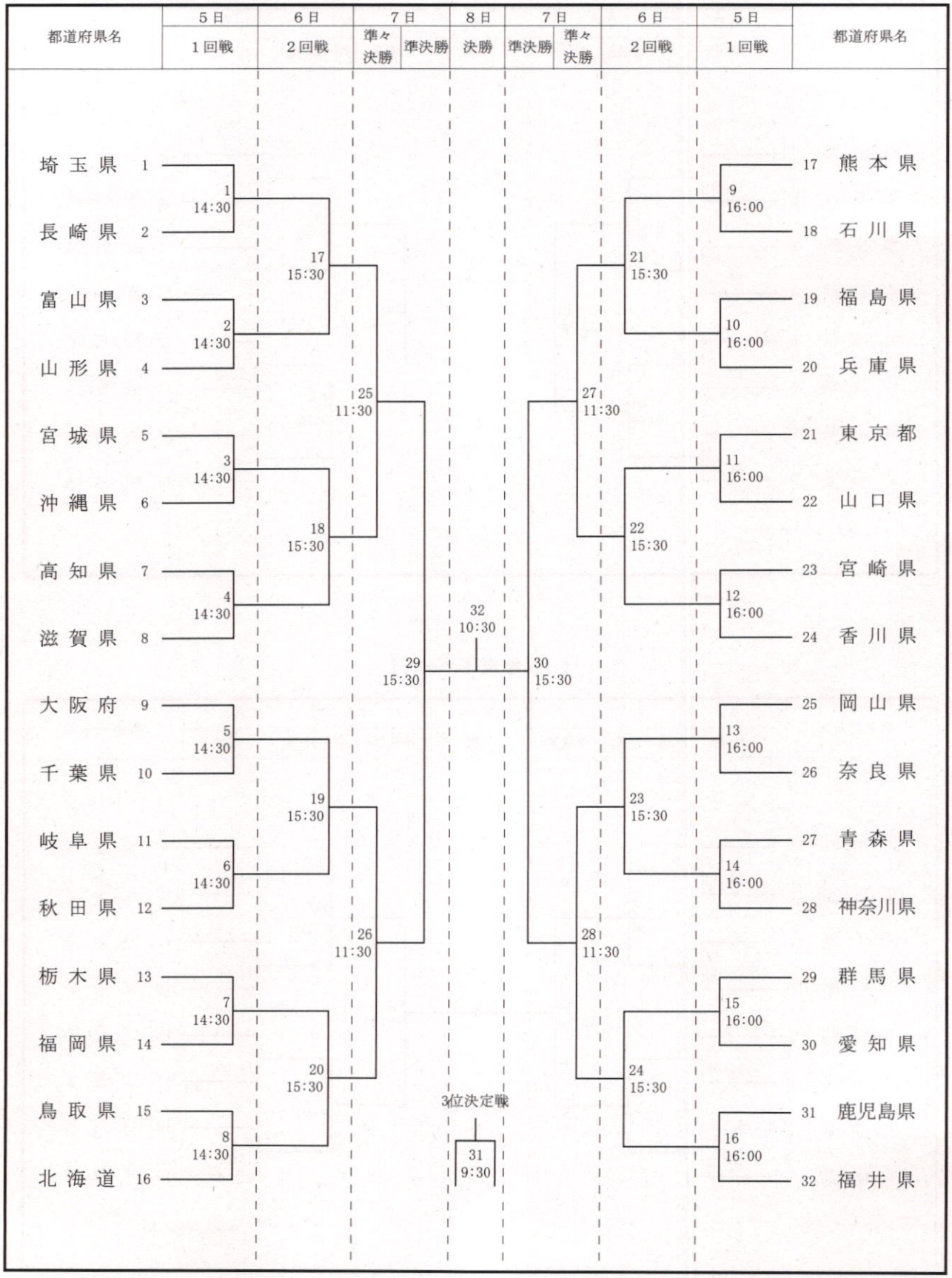
組　合　せ　表

【 成年女子(W) 】


都道府県名
5日
1回戦
6日
2回戦
3回戦
7日
準々決勝
準決勝
8日
決勝
7日
準決勝
準々決勝
6日
3回戦
2回戦
5日
1回戦
都道府県名
埼玉県 1
佐賀県 2
滋賀県 3
三重県 4
富山県 5
北海道 6
高知県 7
栃木県 8
山口県 9
沖縄県 10
秋田県 11
兵庫県 12
静岡県 13
福井県 14
群馬県 15
福島県 16
長崎県 17
岡山県 18
山梨県 19
宮崎県 20
香川県 21
奈良県 22
宮城県 23
岐阜県 24
福岡県 25
鳥取県 26
和歌山県 27
東京都 28
石川県 29
大阪府 30
山形県 31
茨城県 32
鹿児島県 33
徳島県 34
広島県 35
神奈川県 36
新潟県 37
岩手県 38
大分県 39
愛知県 40
愛媛県 41
京都府 42
島根県 43
長野県 44
千葉県 45
青森県 46
熊本県 47
1 11:30
2 11:30
3 11:30
4 11:30
5 11:30
6 11:30
7 11:30
8 13:00
9 13:00
10 13:00
11 13:00
12 13:00
13 13:00
14 13:00
15 13:00
16 9:30
17 9:30
18 9:30
19 9:30
20 9:30
21 9:30
22 9:30
23 9:30
24 11:00
25 11:00
26 11:00
27 11:00
28 11:00
29 11:00
30 11:00
31 11:00
32 17:00
33 17:00
34 17:00
35 17:00
36 17:00
37 17:00
38 17:00
39 17:00
40 11:30
41 11:30
42 11:30
43 11:30
44 15:30
45 15:30
46 9:30
47 10:30
3位決定戦

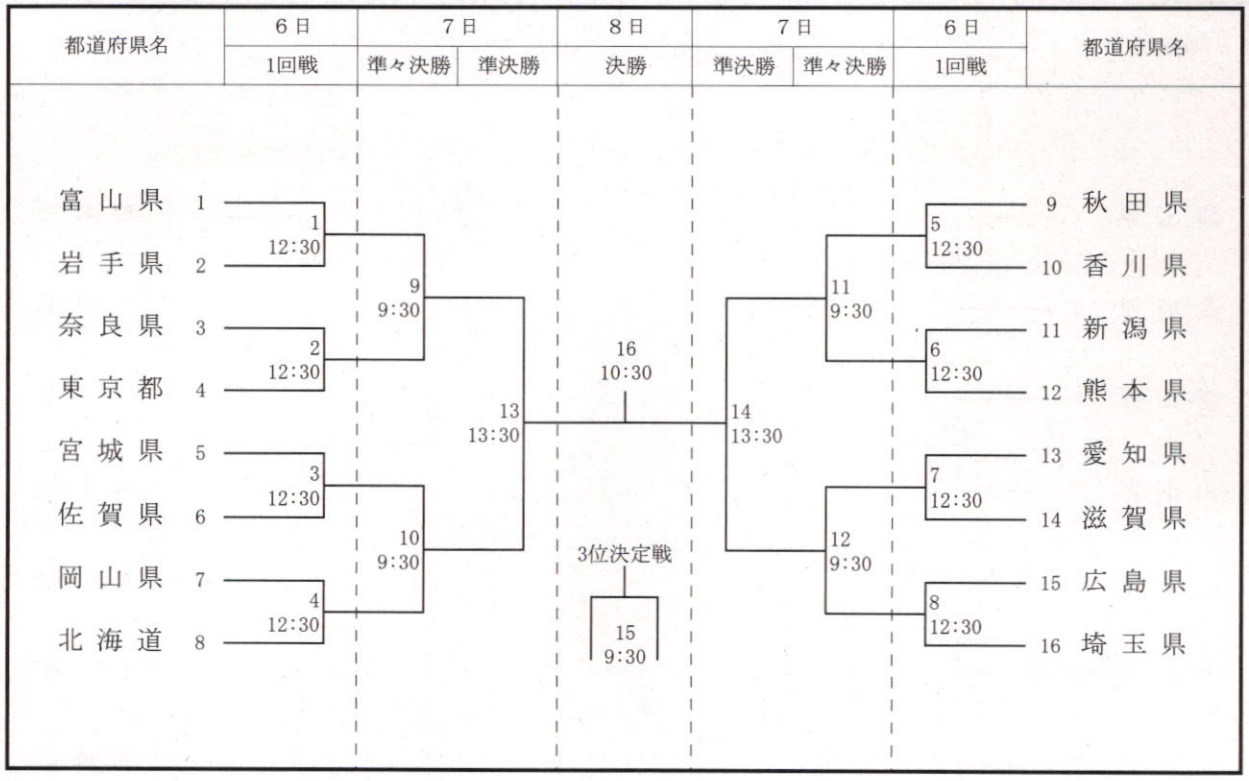
組　合　せ　表

【 少年男子（B） 】

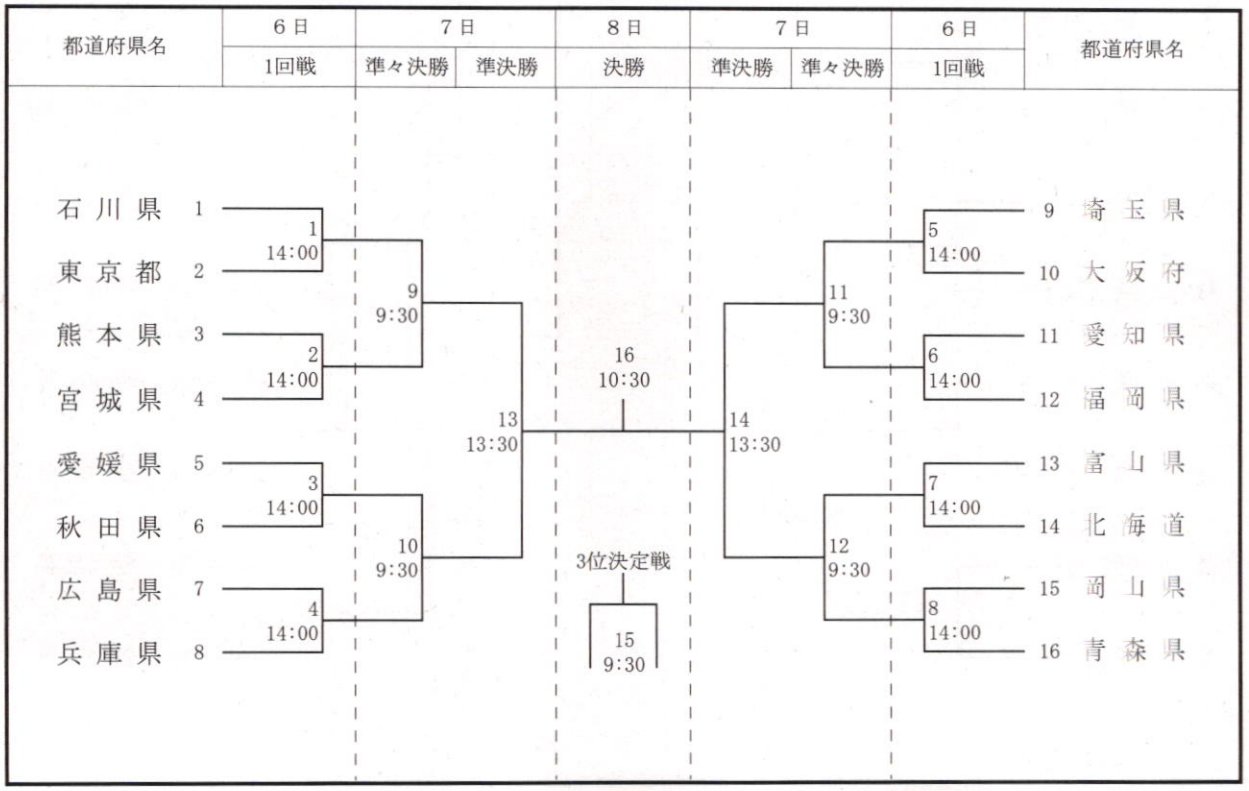

都道府県名
5日
1回戦
6日
2回戦
7日
準々決勝
準決勝
8日
決勝
7日
準決勝
準々決勝
6日
2回戦
5日
1回戦
都道府県名
埼玉県 1
長崎県 2
富山県 3
山形県 4
宮城県 5
沖縄県 6
高知県 7
滋賀県 8
大阪府 9
千葉県 10
岐阜県 11
秋田県 12
栃木県 13
福岡県 14
鳥取県 15
北海道 16
1 14:30
2 14:30
3 14:30
4 14:30
5 14:30
6 14:30
7 14:30
8 14:30
17 15:30
18 15:30
19 15:30
20 15:30
25 11:30
26 11:30
27 11:30
28 11:30
29 15:30
30 15:30
32 10:30
3位決定戦
31 9:30
21 15:30
22 15:30
23 15:30
24 15:30
9 16:00
10 16:00
11 16:00
12 16:00
13 16:00
14 16:00
15 16:00
16 16:00
17 熊本県
18 石川県
19 福島県
20 兵庫県
21 東京都
22 山口県
23 宮崎県
24 香川県
25 岡山県
26 奈良県
27 青森県
28 神奈川県
29 群馬県
30 愛知県
31 鹿児島県
32 福井県

組　合　せ　表

【 成年男子(M) 】



【 少年女子(G) 】





バドミントンを楽しく見るために

― バドミントンQ&A ―

Q　バドミントンのルーツは?

A　バドミントンの誕生のもとになった羽根つき遊びは、古くから世界中で楽しまれていました。近世になって、こうした遊びはバトルドアー・アンド・シャトルコックと呼ばれるようになりました。（バトルドアーとはラケットのことです。）バドミントンの名の由来となったボーフォート公爵の居城バドミントン・ハウスにおいてもバトルドアー・アンド・シャトルコックが盛んに行われていました。

1860 年頃になって、ある玩具業者が、ラケットとシャトル、それにネットを加えてワンセットにし、バドミントン・ハウスの名を借りて、「バドミントン・バトルドアー」と名付けて売り出しました。この遊びの名前が省略されて「バドミントン」と呼ばれるようになったと考えられます。

その後、イギリスの植民地などにさまざまなルールで普及していきました。そこで、ルールを統一しようという動きが生まれて、1893 年にバドミントン協会が設立され、アソシエーション・バドミントンが誕生したのです。

これが今日、私たちがバドミントンと呼ぶところのものです。

（日本教職員バドミントン連盟１００問集より抜粋）

Q　バドミントンとは、どんなスポーツですか?

A①　ネットを挟んでラケットで羽根（シャトル）を打ち合うものです。コートの外に落ちたり、コートの内や外であっても床に落ちる前に身体やラケットにシャトルがタッチすれば失点（フォルト）になります。

②　試合には、相対する１人が行うシングルスと２人が行うダブルスがあります。

③　ダブルスには、男同士、女同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

Q　バドミントンの羽根（シャトル）はどんなものですか?

A　コルクの台に、ガチョウ、またはアヒルの羽根を１６枚取り付けます。重さは5ｇ程しかありません。

Q　ラケットの長さや重さはどれ位ですか?

A　規定ではフレームの全長が６８ｃｍ以内、幅２３ｃｍ以内と決められています。重さは８０～８６ｇが主流となっています。（カーボン、チタン等）

Q　打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか?

A　下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は 300㎞ を超えます。その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。現在の最速記録は、男子が 332㎞、女子が 267㎞ です。

Q　新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか?

A　ラケットから離れる時の速度は速いのですが、ネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。

また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q　どうすれば、得点（ポイント）になりますか?

A　昨年の兵庫国体までは、サービス権をもっているサイドがラリーに勝った時だけ得点になりましたが、秋田国体からはサービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝った時にポイントになるラリーポイント制に変わりました。

Q　試合の得点は何点で勝敗が決まるのですか?

A　全ての種目で、１ゲームは２１点で行います。試合は、３ゲームで行い２ゲームを先取した方が勝ちです。

しかし、スコアが２０点オールになった時は、その後最初に２点リードした方が勝ちとなります。また、スコアが２９点オールになった時は、３０点目を得た方が、そのゲームの勝者となります。

※　詳しくは、「『新しいルール』について」をご覧ください。

≪国体バドミントン競技について≫

Q　種別はどのようなものがありますか?

A　成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q　参加県はどのように決めるのですか?

A　「２００７年秋田わか杉国体」では、成年女子は４７都道府県が、成年男子、少年男子、少年女子は全国を９ブロックに分けて行う各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が参加します。成年男子と少年女子は開催県（秋田県）を含む１６チーム、少年男子は開催県（秋田県）を含む３２チームの参加となります。

１チームは、監督１人・選手３人の４人で編成します。

Q　試合はどのようにして行いますか。

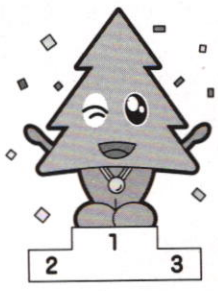
A　８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

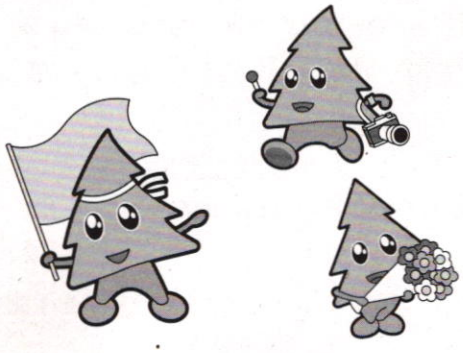
試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q　天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか?

A　得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに１位２４点、２位２１点、３位１８点、４位１５点、５位（４チーム）７．５点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に１０点を与えるものです。但し、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えられません。この競技得点と参加得点の合計が総合得点になります。

天皇杯の対象種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は、成年女子と少年女子です。







「新しいルール」について

平成１８年１０月１日から採択された新しいルールの概要は次のとおりです。

主な内容は次のとおりです。

１ スコアリングシステム

◎ ２１点×３ゲーム（２ゲーム先取）で行う。

◎ ２０点オールになったら、その後最初に２点リードしたサイドの勝ち。

◎ ２９点オールになったら、先に３０点目を得点したサイドの勝ち。

２ インターバル

◎ すべてのゲームで、一方が１１点を取ったときに６０秒を超えないインターバルを認める。

◎ ゲーム間には１２０秒を超えないインターバルを認める。

３ サービス権

◎ ダブルスの場合、各ゲームの最初のサービスの後はラリーに勝ったサイドが得る。
（ダブルスのセカンドサービスはなくなった）

試合形式概要

競技規則に関連したもの

（１） ２１点を先取したサイドが、そのゲームでの勝者となる。(7.2)
ただし、２０点オール、２９点オールの場合を除く。

（２） ラリーに勝ったサイドが、１点ずつ得点する。(7.3)

（３） スコアが２０点オールになった場合には、その後最初に２点リードしたサイドがそのゲームでの勝者となる。(7.4) → そのとき主審は、「２０オール」とコールする。

（４） スコアが２９点オールになった場合には、３０点目を得点したサイドが、そのゲームでの勝者となる。(7.5) → そのとき主審は、「２９ゲーム（マッチ）ポイントオール」とコールする。

（５） エンドの交替 (8.1)

① 第１ゲームを終了したとき。

② 第２ゲームを終了したとき。(第３ゲームを行う場合)：表現の変更

③ 第３ゲームで、どちらかのサイドが最初に１１点に達したとき。

（６） サービス (9.1)

① サービスの「不当な遅延」の規程：サーバーのラケットヘッドの後方への動きが完了した時点が、サービスの始まりを不当に遅らせているかどうかの判断基準となる。
※ この判定は、主審もサービスジャッジもできる。

② ウエストラインの規程：ウエストとは、肋骨の一番下の部位の高さで胴体の回りの仮想の線。

③ サーバーの持つラケットヘッドとラケットを持つ手との位置関係の記述と図が削除された：シャフトの向きのみ。

（7） シングルスのスコアリングとサービング（10.3）

① サーバーがラリーに勝ったとき、そのサーバーは１点を得る。（10.3.1）そして同じサーバーがもう一方のサービスコートから、再びサーブする。

② レシーバーがラリーに勝ったとき、そのレシーバーの方が１点を得る。そしてそのレシーバーが新サーバーとなる。（10.3.2）

（8） ダブルスのスコアリングとサービング（11.3）

① サービスは、それぞれのサイドで１回のみ、ラリーに負けるまで続ける。（ダブルスでは、セカンドサービスがなくなった。）

② サービングサイドがラリーに勝ったとき、そのサイドは１点を得て、同一サーバーがサービスコートを替えてサービスを行う。（11.3.1）

③ レシービングサイドがラリーに勝ったとき、そのサイドにサービス権が移動し、同時にそのサイドは１点を得て、新しいサービングサイドになる。そして、次のサービスを行う。（11.3.2）

そのとき、自得点が偶数なら右の、奇数なら左のサービスコートから、その位置にいるプレーヤーがサービスを行う。（11.1）

④ サービスの連続（順番）（11.4）

ゲームの始まりのサーバー → 最初のレシーバーのパートナー →

→ 最初のサーバーのパートナー → 最初のレシーバーへ

（9） サービスコートの間違い（12.1）：かなり省略された

① サービスやレシーブの順番を間違えたとき。

② 間違ったサービスコートからサーブしたりレシーブしたりしたとき。

③ もしサービスコートの間違いが見つかったときは、間違いは訂正することとし、スコアはそのときのままにする。（12.2）

（10） インターバル（16.2）：コーチ、アドバイス、コートから離れることができる。

① 各ゲーム中に、どちらかのサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えないインターバル。

② 第１ゲームと第２ゲームの間と第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバル。

（11） アドバイスとコートを離れること（16.5）

① シャトルがインプレーでないときのみ、プレーヤーはマッチ（試合）中アドバイスを受けることができる。

② プレーヤーはインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。

（12） 違反に対する処置（16.7）

どちらか一つのサイドが不品行な振舞いをした場合の手続きは現行どおり。ただし、１度「フォルト」を受けた後、２度目の「フォルト」を受けた場合、不品行な振舞いを続けたとして、競技役員長（レフェリー）により、失格させられることがある。

（13） 主審によるオーバールールの適用（17.5）

主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には線審の判定を変更することができる。

都道府県別参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	3		3	3	3	12
	岩手県	2	3	3			8
	宮城県	4	3	3	3	3	16
	秋田県	4	3	3	3	3	16
	山形県	2		3	3		8
	福島県	2		3	3		8
関東	茨城県	1		3			4
	栃木県	2		3	3		8
	群馬県	2		3	3		8
	埼玉県	4	3	3	3	3	16
	千葉県	2		3	3		8
	東京都	4	3	3	3	3	16
	神奈川県	2		3	3		8
	山梨県	1		3			4
北信越	新潟県	2	3	3			8
	長野県	1		3			4
	富山県	4	3	3	3	3	16
	石川県	3		3	3	3	12
	福井県	2		3	3		8
東海	静岡県	1		3			4
	愛知県	4	3	3	3	3	16
	三重県	1		3			4
	岐阜県	2		3	3		8
近畿	滋賀県	3	3	3	3		12
	京都府	1		3			4
	大阪府	3		3	3	3	12
	兵庫県	3		3	3	3	12
	奈良県	3	3	3	3		12
	和歌山県	(1)		3			3
中国	鳥取県	2		3	3		8
	島根県	1		3			4
	岡山県	4	3	3	3	3	16
	広島県	3	3	3		3	12
	山口県	2		3	3		8
四国	香川県	3	3	3	3		12
	徳島県	1		3			4
	愛媛県	2		3		3	8
	高知県	2		3	3		8
九州	福岡県	3		3	3	3	12
	佐賀県	2	3	3			8
	長崎県	2		3	3		8
	熊本県	4	3	3	3	3	16
	大分県	1		3			4
	宮崎県	2		3	3		8
	鹿児島県	2		3	3		8
	沖縄県	2		3	3		8
総計		110	48	141	96	48	443

※　監督欄のカッコ書きは選手兼任監督

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　松村徳市	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　橋村竜彦	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　多田亮太	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　竹村純	北海道旅客鉄道株式会社	
岩手県	監督　石川聡	ＪＲ東日本	
	選手　松浦翔	早稲田大学	
	選手　村上竜也	中央大学	
	選手　佐々木翔太	法政大学	
宮城県	監督　草井篤	株式会社ＮＴＴ東日本-宮城	
	選手　諸多大輔	テルウェル東日本株式会社東北支店	
	選手　天野真一	株式会社ＮＴＴソルコ	
	選手　大島一央	株式会社ＮＴＴソルコ	
秋田県	監督　鈴木理之	株式会社北都銀行	
	選手　佐々木翔	株式会社北都銀行	
	選手　菅野俊助	株式会社北都銀行	
	選手　鈕佳平	株式会社北都銀行	
埼玉県	監督　中條彪	日本ユニシス㈱	
	選手　井上知也	日本ユニシス㈱	
	選手　遠藤大由	日本体育大学	
	選手　山田和司	日本体育大学	
東京都	監督　柳谷辰哉	東日本電信電話株式会社	
	選手　松本徹	東日本電信電話株式会社	
	選手　新開裕介	東日本電信電話株式会社	
	選手　山口公洋	東日本電信電話株式会社	
新潟県	監督　大月実	日本パール容器(株)	
	選手　柴原啓紀	ＮＰＯ法人新潟バドミントン・プロモーション	
	選手　堀川善生	法政大学	
	選手　星野健太朗	日本大学	
富山県	監督　今泉勉	トナミ運輸株式会社	
	選手　平田典靖	トナミ運輸株式会社	
	選手　劉志遠	トナミ運輸株式会社	
	選手　菊田健一	トナミ運輸株式会社	

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
愛知県	監督　馬場直樹	東海興業株式会社	
	選手　稲垣翔悟	名古屋経済大学市邨高校	
	選手　有田裕佑	東海興業株式会社	
	選手　三浦時央	日本体育大学	
滋賀県	監督　酒井良之	滋賀女子短期大学	
	選手　数野健太	日本大学	
	選手　早川賢一	日本大学	
	選手　早崎修平	日本大学	
奈良県	監督　村山友二	ＮＴＴ西日本	
	選手　伊藤雅俊	天理大学	
	選手　浦窪文也	近畿大学	
	選手　井谷和弥	近畿大学	
岡山県	監督　藤原道弘	ＪＦＥスチール（株）	
	選手　佐伯浩一	東日本電信電話（株）	
	選手　永井大吉	ラケットショップナガイ	
	選手　佐伯祐行	日本大学	
広島県	監督　尾崎　清	財団法人広島市産業振興センター	
	選手　花本大地	マツダ株式会社	
	選手　中村陽祐	広島大学	
	選手　大田圭祐	日本体育大学	
香川県	監督　中村　亨	（株）タダノ	
	選手　竹川慶二	（株）タダノ	
	選手　福田真也	四国学院大学	
	選手　山下貴士	関西学院大学	
佐賀県	監督　田中昌樹	多久市立南部小学校	
	選手　山下大介	ＹＢＳ	
	選手　山口博之	ＮＴＴ東日本	
	選手　山下　豪	株式会社ジャトコ	
熊本県	監督　村中陽介	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
	選手　花田政文	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
	選手　橋本博且	日本体育大学	
	選手　武山修三	ＹＫＫＡＰ九州事業所	

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　角谷淳一	株式会社ＮＴＴ東日本－北海道	
	選手　永野陽子	早稲田大学	
	選手　竹内由佳利	北翔大学	
	選手　村山祐美	北翔大学	
青森県	監督　工藤峰靖	藤崎町役場	
	選手　一戸恵	東海女子短期大学	
	選手　穴井友喜	専修大学	
	選手　原麻衣子	法政大学	
岩手県	監督　鈴木広志	富士通岩手工場	
	選手　川村益美	日本興亜損害保険	
	選手　石川恵理	前沢保育所あおぞら園	
	選手　田鎖志穂	日本体育大学	
宮城県	監督　山並正人	ラケットショップ広瀬	
	選手　小川尚子	株式会社七十七銀行	
	選手　服部麻衣	株式会社七十七銀行	
	選手　平山愛	株式会社七十七銀行	
秋田県	監督　鈴木康修	株式会社北都銀行	
	選手　三好奈緒	株式会社北都銀行	
	選手　金上路子	株式会社北都銀行	
	選手　下崎彩	株式会社北都銀行	
山形県	監督　小関勝也	小関織物業	
	選手　鈴木希	明治大学	
	選手　鈴木碧	日本体育大学	
	選手　瀧口瑠美	(株)でん六	
福島県	監督　斉藤清人	浪江高等学校津島分校	
	選手　出口文乃	東芝エレベータ（株）東京支社	
	選手　山下紋可	富岡第一中学校	
	選手　相沢理沙	東海大学	
茨城県	監督　大山宏司	日立化成工業株式会社	
	選手　綿引悠貴	日立化成工業株式会社	
	選手　犬飼菜月	日立化成工業株式会社	
	選手　藤澤香織	日立化成工業株式会社	

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
栃木県	監督　笠井孝之	日産自動車㈱栃木工場	
	選手　笠原　唯	東京女子体育大学	
	選手　相良　歩	日本女子体育大学	
	選手　諸喜田恵利	日産自動車㈱栃木工場	
群馬県	監督　今井勇司	群馬県立伊勢崎清明高校	
	選手　飯島敬美	高崎経済大学附属高校	
	選手　石川育実	明治大学	
	選手　中原唯衣	青山学院大学	
埼玉県	監督　小室恭子	尚美学園大学	
	選手　岩脇　史	ＮＴＴ東日本	
	選手　大熊倫子	ヨネックス㈱	
	選手　広岡まり香	ＮＴＴ東日本	
千葉県	監督　浜野一男	千葉市役所	
	選手　亀谷　望	（株）ヨネックス	
	選手　濱島未来	（株）ヨネックス	
	選手　鈴木美希子	法政大学	
東京都	監督　落合久夫	日本橋女学館高等学校	
	選手　今別府靖代	ヨネックス（株）	
	選手　本田いずみ	東日本電信電話株式会社	
	選手　三浦ちひろ	東日本電信電話株式会社	
神奈川県	監督　鶴見和彦	神奈川県立元石川高等学校	
	選手　坂田雅美	ＮＥＣファブサーブ株式会社	
	選手　伊東可奈	日本体育大学	
	選手　内藤真実	日本体育大学	
山梨県	監督　滝川　修	山梨県立増穂商業高等学校	
	選手　伊藤寿美子	山梨県立甲府昭和高等学校	
	選手　飯島春奈	山梨県立甲府城西高等学校	
	選手　森本さおり	甲府信用金庫	
新潟県	監督　神保幸夫	県立長岡工業高等学校	
	選手　媚山映里	東日本電信電話(株)	
	選手　渡辺夕子	ＮＰＯ法人新潟バドミントン・プロモーション	
	選手　松本真優	ダイドードリンコ（株）	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
長野県	監督　岩垂　潤	朝日小学校	
	選手　荻原直子	富士ゼロックス長野（株）	
	選手　布目沙矢香	住友信託銀行	
	選手　柳澤真理	立命館大学	
富山県	監督　舛田　恵	トナミ運輸株式会社	
	選手　大下詩織	富山トヨタ自動車株式会社	
	選手　江淵愛美	早稲田大学	
	選手　金山友萌	筑波大学	
石川県	監督　和田　修	石川県立金沢向陽高校	
	選手　田井美幸	ＮＴＴ東日本	
	選手　梅津智恵	茨城トヨペット	
	選手　樽野　恵	ＮＴＴ東日本	
福井県	監督　五十嵐一智	セーレン（株）	
	選手　山崎優希子	セーレン（株）	
	選手　西島結花	セーレン（株）	
	選手　三田村侑美	武庫川女子大学	
静岡県	監督　吉氷将史	星陵高校	
	選手　金森裕子	早稲田大学	
	選手　村松瑞穂	筑波大学	
	選手　杉谷淳美	富士宮市立富士根南中学校	
愛知県	監督　小谷　優	トヨタ自動車株式会社	
	選手　本田正恵	豊通エンジニアリング	
	選手　倉満一美	トヨタ自動車株式会社	
	選手　高井亜季代	トヨタ自動車株式会社	
三重県	監督　北山朝子	三重大学教育学部付属小学校	
	選手　飯田有紀	三重県立相可高等学校	
	選手　松井千夏	東京女子体育大学	
	選手　別所美穂	ひかり保育園	
岐阜県	監督　尾藤伸治	東海女子短期大学	
	選手　後藤　愛	ＮＴＴ東日本株式会社	
	選手　脇田　侑	株式会社文溪堂	
	選手　林　裕佳	株式会社文溪堂	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監督　羽野　健郎	(有)イチムラスポーツ	
	選手　三条　麻菜	龍谷大学	
	選手　垣岩　真未	日本体育大学	
	選手　大條　小真姫	早稲田大学	
京都府	監督　平井　悟	京あみ	
	選手　今井　杏莉	立命館大学	
	選手　柴村　美帆	筑波大学	
	選手　北吉　穂香	立命館大学	
大阪府	監督　谷内　貴昭	三洋電機株式会社	
	選手　松尾　静香	三洋電機株式会社	
	選手　今別府　香里	三洋電機株式会社	
	選手　作山　智美	三洋電機株式会社	
兵庫県	監督　鈴木　草麻生	三菱電機株式会社	
	選手　高野　理沙	三菱電機株式会社	
	選手　小椋　しのぶ	三菱電機株式会社	
	選手　中村　綾子	三菱電機株式会社	
奈良県	監督　辻田　泰昌	ＮＴＴ西日本	
	選手　三宅　知佳	天理大学	
	選手　吉田　奈保美	東海女子短期大学	
	選手　谷坂　優花	天理大学	
和歌山県	監督　森　由樹	株式会社クズモト	
	選手　森　由樹	株式会社クズモト	
	選手　岩岡　真由美	京都産業大学	
	選手　北島　尚美	医療法人　角谷整形外科病院	
鳥取県	監督　山本　明良	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　藤原　由衣	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　岡野　由有佳	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　田中　妙美恵	鳥取三洋電機株式会社	
島根県	監督　松浦　進二	株式会社山陰合同銀行	
	選手　高木　さやか	株式会社山陰合同銀行	
	選手　山田　紘実	株式会社山陰合同銀行	
	選手　藤原　綾	株式会社山陰合同銀行	

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岡山県	監督　佐藤忠裕	山陽女子中学・高校	
	選手　井山美里	岡山ガス（株）	
	選手　谷口貴美	岡山ガス（株）	
	選手　浅原さゆり	日本体育大学	
広島県	監督　宮崎克巳	広島ガス株式会社	
	選手　寺本悦子	広島ガス株式会社	
	選手　早川由希子	広島ガス株式会社	
	選手　後藤舞	広島ガス株式会社	
山口県	監督　河野強志	山口県立下関南高等学校	
	選手　末長夏樹	周南市役所	
	選手　末長南	笠戸設計工業株式会社	
	選手　藤井綾香	法政大学	
香川県	監督　岡野佳浩	香川県立香川中央高校	
	選手　安藤朋恵	（株）百十四銀行	
	選手　松村咲希	日本体育大学	
	選手　川西ゆかり	（株）百十四銀行	
徳島県	監督　吉岡努	大塚化学株式会社	
	選手　小川静香	立命館大学	
	選手　仁木純子	愛媛大学	
	選手　大阪あや	関西学院大学	
愛媛県	監督　武智英治	四国ガス株式会社	
	選手　関谷真由	早稲田大学	
	選手　井上春奈	専修大学	
	選手　安藤真里絵	専修大学	
高知県	監督　中原学	高知海洋高等学校	
	選手　濱渦生江	高知学芸高等学校	
	選手　多田佳代	近森リハビリテーション病院	
	選手　泥谷夕希	高知大学	
福岡県	監督　有田仁志	北九州市役所	
	選手　久野納菜	九州国際大学	
	選手　横田麻衣	九州国際大学	
	選手　武田陽子	筑波大学	

都道府県別出場監督･選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
佐賀県	監督　福岡　良浩	カーピット福岡	
	選手　江島　理恵	株式会社ファイテン	
	選手　山田　雅子	株式会社ベスト電器	
	選手　深村　扶美子	佐賀大学	
長崎県	監督　森辺　ひかり	長崎自動車学校	
	選手　宮田　美穂	シャトルクラブ	
	選手　松尾　美穂子	県立　諫早高等学校	
	選手　白山　愛子	ヨネックス	
熊本県	監督　本田　和裕	ＮＥＣ九州	
	選手　幡谷　好美	ＮＥＣ九州	
	選手　今井　幸代	ＮＥＣ九州	
	選手　佐伯　美沙都	ＮＥＣ九州	
大分県	監督　吉田　信之	昭和学園高等学校	
	選手　赤尾　美代	昭和学園高等学校	
	選手　上田　祐華	佐賀女子短期大学	
	選手　田村　千秋	専修大学	
宮崎県	監督　田原　順子		
	選手　小川　成美	日本体育大学	
	選手　菊池　唯	九州国際大学	
	選手　梶田　明里	九州保健福祉大学総合医療専門学校	
鹿児島県	監督　内山　香	㈱セイカスポーツセンター	
	選手　高野　聖子	鹿児島大学	
	選手　川原　裕美子	鹿児島大学	
	選手　米森　友美	同志社大学	
沖縄県	監督　上村　勇人	スポーツショップキクムラ	
	選手　大見謝　朝野	ヨネックス株式会社	
	選手　仲里　弥生	沖縄銀行	
	選手　親田　美奈子	東京女子体育大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　井口一司	札幌第一高等学校	
	選手　鈴木陵麻	札幌第一高等学校	
	選手　田渕雄喜	札幌第一高等学校	
	選手　小野寺勝也	札幌第一高等学校	
青森県	監督　戸祭潤	青森山田高等学校	
	選手　宮野一樹	青森山田高等学校	
	選手　岩見隆広	青森山田高等学校	
	選手　坂本賢宏	青森山田高等学校	
宮城県	監督　若生正弘	仙台商業高校	
	選手　佐藤尚己	仙台商業高校	
	選手　今野裕基	仙台商業高校	
	選手　小関裕也	宮城県工業高校	
秋田県	監督　松田清孝	秋田県立秋田工業高等学校	
	選手　甲谷光	秋田県立秋田工業高等学校	
	選手　工藤和貴	秋田県立秋田工業高等学校	
	選手　信太惣晟	秋田県立秋田工業高等学校	
山形県	監督　神保一寿	米沢養護学校	
	選手　佐藤大樹	長井高校	
	選手　五十嵐健	鶴岡南高校	
	選手　櫻井康太	山本学園高校	
福島県	監督　二瓶良	帝京安積高等学校	
	選手　安部惇士	帝京安積高等学校	
	選手　加藤晃平	帝京安積高等学校	
	選手　内藤浩司	富岡高等学校	
栃木県	監督　村上幸一	作新学院高等学校	
	選手　増渕典明	作新学院高等学校	
	選手　毒島司	作新学院高等学校	
	選手　前原俊宏	宇都宮南高等学校	
群馬県	監督　岩崎盛和	太田市立商業高校	
	選手　松島圭祐	太田市立商業高校	
	選手　丸尾亮太郎	群馬県立伊勢崎清明高校	
	選手　中村太郎	群馬県立伊勢崎清明高校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
埼玉県	監督　大屋貴司	埼玉栄高等学校	
	選手　松丸一輝	埼玉栄高等学校	
	選手　野口勝利	埼玉栄高等学校	
	選手　和田　周	埼玉栄高等学校	
千葉県	監督　飯田武司	中央学院高校	
	選手　金谷聡士	千葉敬愛高校	
	選手　阿蘇拓也	千葉敬愛高校	
	選手　堀内拓人	西武台千葉高校	
東京都	監督　渋谷　実	関東第一高等学校	
	選手　角田圭輔	関東第一高等学校	
	選手　藤原達矢	関東第一高等学校	
	選手　木戸道治	関東第一高等学校	
神奈川県	監督　五十嵐　功	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　平川大貴	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　三橋将希	藤沢翔陵高等学校	
	選手　高橋　惇	藤沢翔陵高等学校	
富山県	監督　中田真琴	高岡第一高校	
	選手　太田　誠	高岡第一高校	
	選手　竹内慶太郎	高岡第一高校	
	選手　山村駿介	高岡第一高校	
石川県	監督　水内　浩	金沢市立工業高校	
	選手　坂井一将	金沢市立工業高校	
	選手　新田晃浩	金沢市立工業高校	
	選手　政谷泰俊	金沢市立工業高校	
福井県	監督　木戸口　元	福井県立勝山高校	
	選手　松浦正輝	福井県立勝山高校	
	選手　千京尚将	福井県立勝山高校	
	選手　坂井哲也	福井県立勝山高校	
愛知県	監督　峰　登志郎	株式会社ジェイテクト	
	選手　駒田直也	名古屋経済大学市邨高校	
	選手　深尾　淳	名古屋経済大学市邨高校	
	選手　内海秀和	名古屋経済大学市邨高校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岐阜県	監督　三浦公雄	ＪＡ岐阜南	
	選手　浅野新也	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　荒川一真	岐阜県立岐阜工業高等学校	
	選手　島岡亮治	岐阜県立岐阜商業高等学校	
滋賀県	監督　藤上良信	比叡山高校	
	選手　土居寛人	比叡山高校	
	選手　村上俊	比叡山高校	
	選手　黒田匠馬	比叡山高校	
大阪府	監督　有田圭一	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　和田力也	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　松田正路	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　東野圭悟	東大阪大学柏原高等学校	
兵庫県	監督　友金幸雄	神戸村野工業高等学校	
	選手　植田真伍	神戸村野工業高等学校	
	選手　河田尚也	神戸村野工業高等学校	
	選手　坂本翼	神戸村野工業高等学校	
奈良県	監督　錦秀知	一条高校	
	選手　上内進介	一条高校	
	選手　辰巳敬亮	一条高校	
	選手　千木良司	奈良大附属高校	
鳥取県	監督　三村俊彦	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	
	選手　仲井佑太	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	
	選手　森本貴則	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	
	選手　斉尾聡宏	鳥取県立工業高等学校	
岡山県	監督　松川大記	水島工業高等学校	
	選手　渡邉一磨	水島工業高等学校	
	選手　末吉佑任	水島工業高等学校	
	選手　逢澤良亮	水島工業高等学校	
山口県	監督　松原康則	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　吉本直樹	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　上原将馬	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　江藤真二	山口県鴻城高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
香川県	監督　吉川大助	英明高等学校	
	選手　三好耕二	英明高等学校	
	選手　藤井亮	英明高等学校	
	選手　木場勇介	英明高等学校	
高知県	監督　岡村力	高知南中高等学校	
	選手　山脇一生	高知南中高等学校	
	選手　小島祐真	高知南中高等学校	
	選手　永野翔太	土佐高等学校	
福岡県	監督　北島義浩	私立福岡大学附属大濠高等学校	
	選手　牧泰史	私立福岡大学附属大濠高等学校	
	選手　末松純	私立福岡大学附属大濠高等学校	
	選手　原田和憲	私立自由ヶ丘高等学校	
長崎県	監督　林貴昭	県立　西陵高等学校	
	選手　中村祐文	県立　西陵高等学校	
	選手　永田晋作	県立　西陵高等学校	
	選手　溝口元気	創成館高等学校	
熊本県	監督　権藤浩二	八代東高校	
	選手　嘉村健士	八代東高校	
	選手　園田啓悟	八代東高校	
	選手　今給黎将之	八代東高校	
宮崎県	監督　山内勉	西都商業高校	
	選手　岡山晃大	宮崎工業高校	
	選手　渡邊達哉	日章学園高校	
	選手　定宗隆一郎	日章学園高校	
鹿児島県	監督　草道拓郎	鹿児島商業高等学校	
	選手　奥智洋	鹿児島商業高等学校	
	選手　脇野陽	鹿児島高等学校	
	選手　寺師駿	鹿児島商業高等学校	
沖縄県	監督　赤嶺靖	沖縄水産高等学校	
	選手　野原大輔	沖縄水産高等学校	
	選手　奥本克真	沖縄水産高等学校	
	選手　首里良太	沖縄水産高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　谷浦　隆	札幌静修高等学校	
	選手　小久保　陽香	札幌静修高等学校	
	選手　小野地　友希	札幌静修高等学校	
	選手　佐藤　しおり	旭川実業高等学校	
青森県	監督　藤田　真人	青森山田高等学校	
	選手　垣岩　令佳	青森山田高等学校	
	選手　内井　快枝	青森山田高等学校	
	選手　橋本　由衣	青森山田高等学校	
宮城県	監督　田所　光男	聖ウルスラ学院英智高校	
	選手　高橋　礼華	聖ウルスラ学院英智高校	
	選手　玉木　絵里子	聖ウルスラ学院英智高校	
	選手　佐藤　冴香	常磐木学園高校	
秋田県	監督　藤田　理	秋田和洋女子高等学校	
	選手　天野　成美	秋田和洋女子高等学校	
	選手　鈴木　優華	秋田和洋女子高等学校	
	選手　伊藤　朝美	秋田和洋女子高等学校	
埼玉県	監督　田部井　秀郎	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　大森　舞	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　三木　佑里子	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　平山　佑香	埼玉栄高等学校	
東京都	監督　渋谷　仁徳	関東第一高等学校	
	選手　土田　茉美	関東第一高等学校	
	選手　鈴木　温子	関東第一高等学校	
	選手　神田　織恵	関東第一高等学校	
富山県	監督　麦谷　正二	高岡西高校	
	選手　奥井　智菜美	高岡西高校	
	選手　片山　佳菜	高岡西高校	
	選手　市山　瑤子	高岡西高校	
石川県	監督　車　浩明	石川県立金沢向陽高校	
	選手　桜井　みどり	石川県立金沢向陽高校	
	選手　村上　彩	石川県立金沢向陽高校	
	選手　三谷　美菜津	石川県立金沢向陽高校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
愛知県	監督　田中　隆一	名古屋経済大学市邨高校	
	選手　打田　しづか	岡崎城西高校	
	選手　樋渡　仁見	名古屋経済大学市邨高校	
	選手　新玉　美郷	名古屋経済大学市邨高校	
大阪府	監督　西上　正一	南田辺小学校	
	選手　小口　晃佳	四天王寺高等学校	
	選手　津村　優衣	四天王寺高等学校	
	選手　福万　尚子	樟蔭東高等学校	
兵庫県	監督　北村　祐介	夙川学院高等学校	
	選手　稲葉　菜保美	夙川学院高等学校	
	選手　上所　愛	夙川学院高等学校	
	選手　山本　しずか	県立加古川東高等学校	
岡山県	監督　尾﨑　勝久	倉敷中央高等学校	
	選手　実光　鮎佳	倉敷中央高等学校	
	選手　岡本　麻菜美	倉敷中央高等学校	
	選手　佐田　智子	倉敷中央高等学校	
広島県	監督　高井　英行	清水ヶ丘高等学校	
	選手　戸田　みよ子	鈴峯女子高等学校	
	選手　豊田　希美	清水ヶ丘高等学校	
	選手　吉廣　咲姫	清水ヶ丘高等学校	
愛媛県	監督　出井　康隆	新田高等学校	
	選手　久枝　ゆい	新田高等学校	
	選手　野口　幸代	新田高等学校	
	選手　樫栄　祥子	新田高等学校	
福岡県	監督　明神　憲一	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　栗原　文音	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　植田　悠	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　古賀　さやみ	私立福岡常葉高等学校	
熊本県	監督　井村　勝英	八代白百合学園高校	
	選手　住田　有希恵	八代白百合学園高校	
	選手　小林　史佳	八代白百合学園高校	
	選手　青柳　佐紀	八代白百合学園高校	

競 技 成 績 採 点 方 法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点、の競技得点を与える。

2　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に 10 点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績(天皇杯・皇后杯)一覧表

	都道府県名	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男子総合成績(天皇杯)				女子総合成績(皇后杯)				備考
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位	
1	北海道																	
2	青森																	
3	岩手																	
4	宮城																	
5	秋田																	
6	山形																	
7	福島																	
8	茨城																	
9	栃木																	
10	群馬																	
11	埼玉																	
12	千葉																	
13	東京																	
14	神奈川																	
15	山梨																	
16	新潟																	
17	長野																	
18	富山																	
19	石川																	
20	福井																	
21	静岡																	
22	愛知																	
23	三重																	
24	岐阜																	
25	滋賀																	
26	京都																	
27	大阪																	
28	兵庫																	
29	奈良																	
30	和歌山																	
31	鳥取																	
32	島根																	
33	岡山																	
34	広島																	
35	山口																	
36	香川																	
37	徳島																	
38	愛媛																	
39	高知																	
40	福岡																	
41	佐賀																	
42	長崎																	
43	熊本																	
44	大分																	
45	宮崎																	
46	鹿児島																	
47	沖縄																	

過去の成績一覧表

第４回　昭和２４年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀 藤井光男	神奈川　岡淳一 相馬万吉	北海道　佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子	神奈川　小林歌子 中村多喜	愛知　吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和２５年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川　岡淳一 相馬万吉 大谷直次 松本武道	北海道　佐藤保郎 村上三英 葛西俊守 若林
一般女子	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知　水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道　伊藤絹代 安藤栄子 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道　石田裕二 神山周健 大塚貞夫 島中	愛知　石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川　岡道明 村松弘一 江井喬実 藤井昂

第６回　昭和２６年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜　玉越忠治 大竹健司 下野和彦	愛知　藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知　堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川　登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道　伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知　服部興治 野口勇 立松健市	石川　東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜　後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　　昭和２７年　　宮城県　　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田　敏秀 岡　道明 藤井　昂一 吉原　秀雄	北海道	石田　裕二 神山　周 葛西　英俊 野坂　豊三郎	東京	江井　実 小宮　章敬 山崎　茂 佐藤　芳朗
一般女子	石川	貝原　まさえ 登　悦子 高田　八重子 岩倉　衣絵	東京	田中　知江子 中谷　成子 佐之瀬　教子 小野寺　京子	愛知	堀江　綾子 保田　久子 伊与田　照子 水野　美根子
高校男子	東京	望月　文雄 倉田　一彦 力石　潔 鈴木　隆治	神奈川	新倉　利男 関根　秀司 内藤　広明 伏島　光則	石川	諸江　秀一 井上　晴夫 山本　圭三 上田　稔
高校女子	兵庫	広瀬　延子 西尾　貞子 小笠原　美津子 関　一子	山形	佐藤　照子 五十嵐　弘子 斎藤　久美子 佐藤　明	神奈川	大川　良子 竜野　美代子 藤田　光子 中島　緑

第８回　　昭和２８年　　香川県　　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田　敏秀 佐治　豊 川崎　順久 杉田　博	東京	藤井　光男 諸江　秀一 相川　十一郎 萩原　誠	岐阜	大竹　健司 松岡　龍三 丹波　哲昭 林　金太郎
一般女子	神奈川	遠藤　文子 小林　歌子 荒川　とみ子 小野　智子	北海道	岡元　弘子 梅津　貴久江 阿部　悦子 荒井　重子	石川	貝原　まさえ 登　悦子 島谷　須磨子 町駒　ヤス子
高校男子	北海道	片石　兼敏 加藤　正則 長谷川　龍男 井桁　啓充	石川	江尻　桂三 辻　貞三 半田外　喜男 岡崎　健一	神奈川	越川　啓 花岡　牧夫 折井　利彦 内藤　弘明
高校女子	宮城	西堀　富美子 谷津　京子 佐藤　範子 松本　幸子	香川	大西　誉子 秋山　武子 真鍋　寿子	神奈川	大川　良子 藤田　光子 竜野　美代子 波多野　澄子

第９回　　昭和２９年　　北海道　　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越　忠治 大竹　健司 松岡　龍三	愛知	野口　勇 服部　興治 稲熊　貞夫	富山	清水　正 釣谷　友一 荒木　亥久男
一般女子	宮城	西堀　富美子 佐藤　範子 谷津　京子	石川	登　悦子 貝原　まさえ 澁谷　信	愛知	保田　久子 伊与田　照子 堀江　綾子
高校男子	愛知	豊場　建 御友　昡正 伊藤　雅昭	石川	西村　嘉彦 江尻　桂三 島谷　昇	神奈川	宮沢　健一 伊豆内　宏 渡辺　潔
高校女子	福島	武田　信子 伊藤　桂子 尾形　亨子	岡山	大森　嘉美 友野　文子 三宅　基子	愛知	大沢　節子 大室　久美子 大竹　泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀	岐阜	大竹健司	富山	釣谷友一
		杉田博		松岡龍三		荒木亥久男
		岡道明		酒井弘		高木満
一般女子	福島	武田信子	神奈川	荒川とみ子	北海道	梅津貴久江
				小林歌子		阿部悦子
		伊藤桂子		大川良子		下山重子
高校男子	東京	永井栄一	石川	北方匡	山形	生田仁紀
		北島克英		関功		板垣隆房
		小野岡順一		米谷外喜彦		羽角至
高校女子	岡山	友野文子	宮城	佐々木功子	香川	永田豊子
		権田節子		三津節		藤田純代
		三宅基子		菅井静子		藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博	大阪	上田益弘	岡山	毛利清志
		佐藤芳朗		増木節男		前田俊一
		佐藤昌久		武村俊平		石原利道
一般女子	宮城	西堀富美子	岡山	友野文子	兵庫	西尾貞子
		小野寺静江		権田節子		加藤洋子
		佐藤範子		光本政子		金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄	北海道	四ツ柳邦夫	山形	板垣隆房
		中村智		小田桐正徳		山岸重孝
		齊藤裕之		岩本竜一		鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ	岡山	小林桂子	宮城	三浦節
		井上桂子		戸田寿子		沼倉英子
		山下衣子		根岸純		三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗	東京	望月文雄	北海道	島中貞夫
		杉田博		力石潔		星野嘉雄
		新倉和男		鈴木峻三		神山周二
一般女子	香川	横井キヌエ	岡山	権田節子	神奈川	大川良子
		井上桂子		光本政子		小林歌子
		山下衣子		小林桂子		石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄	石川	酒井明夫	島根	平野隆
		中村智		村田和男		森脇英裕
		鈴木敏勝		堀知章		富田豊
高校女子	香川	田島外茂子	静岡	掛橋良子	石川	有田順子
		山下久子		西村弘子		長田悠喜子
		宮川ツヤ子		佐野禎子		松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道	龍瀬康彦 竹中将晃 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川	佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形	板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子	香川	宮川ツヤ子 福本和子 横井文子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟	大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道	中村富光 松浦潔 松本直治	山梨	平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形	佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡	高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田	伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川	遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知	北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川	福本和子 横井文子 森久子	富山	橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟	本田務 荒川治男 阿野善紀	東京	西野一征 須田孝夫 関一誠	青森	奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山	橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田	大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山	高塚淳子 重政百代 七村泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京	井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根	星野忠男 富田豊 山崎春茂
一般女子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川	田島外茂子 横井文子 森久子	富山	栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪	大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟	星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京	関一誠 中村安 古屋和正	北海道	福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木	前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟	後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道	高森幸子 高田裕子 村田泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 松下力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟礼顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中嶋弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年一 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良秋	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美和子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高崎弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹中礼子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間享 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高崎弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤壮 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味藤ともこ 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤佶 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知	本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京	湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	香川	森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜	天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀	藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川	原栄一 長谷川進 和田修	山形	永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山	西村正美 梶川博之 上治雄	福島	寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良	池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪	高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形	堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知	松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京	石崎茂子 今田眞知子 柴山きよ子	香川	田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道	田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川	原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城	佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形	米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良	塚本良一 小倉久和 村田信博	福井	長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟	関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川	牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	大阪	植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山	河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城	渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川	川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山	石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良	吉岡伸浩 冨田章夫 田島裕司	石川	宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城	橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪	植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重	谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川	前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 河村博之 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田眞知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斎藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 織本富之	神奈川	小島一平 高橋清 菅敏明	北海道	遠藤好男 木村敏男 久原正敏
成年男子	教員	石川	長谷川進 和田修 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	滋賀	藤原健二 藤上良信 脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	大阪	東海林文子 葛西明子 原口恵子	香川	平井佐代子 山田高子 前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二 村上英介 井上哲章	香川	岡野佳浩 小西太 竹田佳史	栃木	馬場良浩 小野口正 大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子 植田日出子 冨田美千代	新潟	藤井直子 遠藤えり子 富岡栄子	熊本	川添安代 高峯和子 陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 二上敏博	石川	長谷川進 舛田吉光 堂谷内均	神奈川	小島一平 池田隆治 菅敏明
成年女子	東京	端洋護 渡辺多喜子 高岸陽子	滋賀	谷美津代 若村弥生 阪口典子	愛知	小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子
少年男子	滋賀	山本裕幸 竹端英夫 松浦進二	栃木	大島正志 大堀円 戸村正樹	熊本	井上哲章 伊東幸男 福田和幸
少年女子	熊本	高峯和子 陣内貴美子 森山弘美	大阪	松田全代 新木千織 尾崎升美	新潟	野上満子 山内美子 山田登美子

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 林加永	青森	佐藤光伸 須藤茂 村元英美	群馬	今井勇司 秋庭克行 鏑木智博
成年女子	東京	湯木博恵 高岸陽子 月岡広美	滋賀	谷美津代 西村美千代 磯野恵理子	大阪	河村茂美 平久美子 葛西明子
少年男子	滋賀	松浦進二 片岡泰 辻田泰昌	山梨	松野修二 宮健次 宮康二	石川	羽田義仁 村松博 宮本照啓
少年女子	熊本	陣内貴美子 高峯尚子 森山弘美	香川	山内佳子 佃貴子 永井明美	新潟	山内美子 石崎咲知子 本田佳代子

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司	富山	今泉勉	北海道	遠藤好男
		鏑木智博		米沢和男		米山孝二
		秋庭克行		米正隆		千葉昌弘
成年女子	岡山	河本小織	大阪	河村茂美	静岡	山本美津子
		高田幹子		平久美子		川島直子
		小寺裕美		国奥美智子		原田純子
少年男子	滋賀	西川勉	石川	山尾克則	埼玉	長内征美
		辻田泰昌		岡島浩一		新井利幸
		杉本吉男		羽田憲治		大割誠一郎
少年女子	大阪	松田太嘉子	熊本	森山弘美	栃木	三沢真奈美
		石井香澄		高峯尚子		岡崎仁子
		鴻原春美		青木きよみ		小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司	新潟	鈴木裕	静岡	後藤和之
		栗原恒夫		山下圭一		飯野佳孝
		鏑木智博		飯塚芳英		井出裕雄
成年女子	岡山	河本小織	静岡	川島直子	東京	枝美代子
		高田幹子		白松千加子		月岡広美
		中原裕美		原田純子		高峯尚子
少年男子	熊本	川本英明	兵庫	佐藤浩	奈良	見市昌弘
		林謙一		松本泰典		小野満哲
		三次英昭		村山喜洋		村山友二
少年女子	大阪	鴻原春美	熊本	上村美香	新潟	原田真理恵
		新木貴子		平井真由美		本田みどり
		宮崎正美		青木きよみ		川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司	群馬	今井勇司	奈良	辻敏弘
		江藤正治		栗原恒夫		中井基夫
		権藤浩二		鏑木智博		吉岡伸浩
成年女子	大阪	葛西明子	石川	伊東ひとみ	東京	枝美代子
		星和枝		小野順子		森山弘美
		平山美恵子		小路和代		三田知佳子
少年男子	滋賀	江藤裕樹	富山	平井保光	埼玉	松元功一
		中川健		中嶋正男		生井沢勝美
		中川康		室田繁行		石橋隆
少年女子	大阪	新木貴子	新潟	若井郁子	青森	徳光由美子
		今村薫		小池由扶子		谷地春子
		山田陽子		青戸香織		西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一	群馬	今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知	坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	大阪	高峯和子 星　和枝 平山美恵子	山形	東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉	生井沢勝美 菊地　修 石橋　隆	石川	気谷篤人 山本明彦 中川　守	熊本	浜北和彦 中村徳祐 小本義久
少年女子	熊本	田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟	小池由扶子 青戸香織 棒　匡子	青森	横手智江美 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	山梨	山本裕幸 松野修二 宮　健次	大阪	森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	富山	今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨	高田幹子 野口英代 清藤　和
少年男子	熊本	久住　猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨	内田高史 輿石　努 岩佐延寿	富山	吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡	田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本	松尾知美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉	秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	岐阜	蘭　和真 木内広史 横尾宣幸	群馬	栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	富山	今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知	宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川	彼島佳子 小路和代 水本幸代
少年男子	滋賀	鈴木草麻生 平井　肇 小河原　崇	熊本	本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉	関根英勝 石井　隆 鈴木秀二
少年女子	熊本	中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪	南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟	棒　匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	神奈川	長谷川　博　幸	京都	村尾　勉	群馬	鏑木　智　博
		石場　隆　雄		山本　裕　幸		竹内　康　夫
		細谷　昇		杉本　吉　男		片桐　哲　也
成年女子	富山	今川　真理子	大阪	今村　薫	愛知	大屋　幸　恵
		大谷　鶴美		田代　美智世		丑田　明　子
		伏喜　由美子		磯崎　照　枝		佐々　恵　理
少年男子	埼玉	大谷　知　昌	北海道	工藤　忠　和	滋賀	平井　肇
		内村　剛		藤本　謙　治		小河原　崇
		須賀　隆　弘		村井　秀　樹		中橋　一　晃
少年女子	大阪	岩田　良　子	熊本	中原　敬　子	宮城	立花　久　枝
		水井　妃佐子		甲斐　美　和		矢野　直　子
		新木　美志子		宮村　愛　子		伏見　亜　古

第４４回　平成元年　はなます国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	神奈川	長谷川　博　幸	北海道	伊藤　雅　弘	京都	村尾　勉
		石場　隆　雄		山尾　克　則		山本　裕　幸
		細谷　昇		角谷　淳　一		杉本　吉　男
成年女子	群馬	野口　英　代	大阪	今村　薫	東京	都木　弘　美
		中島　真　美		奥山　保　子		毛利　千　秋
		藤岡　美智子		秋元　美佐緒		星野　実智代
少年男子	北海道	佐藤　嘉　伸	埼玉	片山　卓　哉	熊本	田上　厚　志
		郷路　一　郎		久保田　雄　三		本田　和　裕
		古川　英　樹		関根　靖　則		霜上　和　宏
少年女子	熊本	宮村　愛　子	大阪	水井　妃佐子	佐賀	庄島　由美子
		松田　治　子		利川　三　貴		寺尾　美　紀
		阪本　雅　子		坂田　美　佐		篠原　久　子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	三重	福田　実	大阪	辻田　泰　昌	福岡	荒木　秀　文
		中川　健		奥野　勉		中村　正　巳
		常山　兼　二		早戸　敬　雄		石井　正　行
成年女子	福岡	清水　尚　美	静岡	金丸　陽　子	大阪	今村　薫
		田村　富士美		横手　智江美		奥山　保　子
		田頭　美奈子		山田　美　紀		三ツ川　貴　子
少年男子	大阪	岸田　明　宏	熊本	本田　和　裕	埼玉	関根　靖　則
		上瀧　賢　二		岡部　英　朗		高橋　真
		片岡　詔市郎		前田　尚　文		増田　直　樹
少年女子	埼玉	井田　貴　子	大阪	松田　洋　子	佐賀	寺尾　美　紀
		青木　由美子		杉田　暢　子		篠原　久　子
		浜崎　忍		大田　貴　子		鬼塚　知　美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	三重	中川　健 常山兼二 山内一志	大阪	辻田泰昌 奥野　勉 早戸敬雄	石川	毛利達彦 羽田義仁 崎田健一
成年女子	東京	田児よし子 都木弘美 立花久枝	神奈川	青戸香織 森　真由美 加賀ゆかり	石川	小泉陽子 上浜陽子 中尾仁美
少年男子	千葉	太田慎二 石橋秀法 佐藤裕二	埼玉	増田直樹 高橋　真 加賀谷　洋	石川	青木　康 竹鼻拓也 石本明男
少年女子	宮城	橋本淳子 山田裕美 貴田　泉	群馬	高野八重 丹野恭子 田部井美奈	石川	津田藍子 安田香奈 丸山実支子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 鈴木草麻生	山形	西山博司 渡辺清一 寺島剛志	北海道	角谷淳一 工藤忠和 古川英樹
成年女子	富山	大堀麻紀 佐々木　忍 野々村美春	熊本	林　美希 田畑美香 上田純子	東京	田児よし子 岡山登紀子 立花久枝
少年男子	群馬	高橋幸治 横山秀之 坂入秀貴	茨城	成島瑞穂 樋渡順也 矢部正博	熊本	片岡直茂 花田政文 野田亮介
少年女子	大阪	大田貴子 水井泰子 川口桐香	埼玉	小室恭子 伊藤さおり 浅井康代	熊本	宮村亜貴子 村上直美 伊藤真由美

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	高橋英治 峯岸康史 須賀隆弘	大阪	谷田尚嗣 植村昭彦 常山兼二	三重	中川　健 磯部昌弘 吉田義利
成年女子	大阪	西田美由紀 村上直美 大田貴子	熊本	林　美希 田畑美香 上田純子	香川	中尾仁美 川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	茨城	樋渡順也 矢部正博 大橋雅道	千葉	田中肇一 池田哲徳 小倉伸彦	北海道	井野嘉久 一宮孝一 馬木智一
少年女子	大阪	水井泰子 川口桐香 鬼池めぐみ	北海道	増茂孝枝 中山智香子 田村裕美	富山	山田潤子 進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山	気谷篤人 岩渕公一 本山秀昭
成年女子	東京	松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山	佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟	竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀	酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道	一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川	津田光一郎 奥森正志 舛田圭太
少年女子	大阪	福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡	長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬	中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	福島	柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山	気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪	常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島	棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪	中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山	佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀	松本徹 向裕樹 川口馨士	福島	渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川	徳坂渉 栄代正男 舛田圭太
少年女子	石川	中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山	山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡	吉富明子 大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本	霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道	村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山	河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟	竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島	福井奈美 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	石川	舛田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉	小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本	大東忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉	井川里美 岩脇史 李荔	熊本	杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪	吉岡知香 鄭有琁 安城美華

第５２回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 久保田　雄三	大阪 松井　峰生 常山　兼二 植村　昭彦 岸田　明宏	福岡 森　裁美 清水　文武 棟居　秀行 五十嵐　一智
成年女子	大阪 宮崎　克巳子 井田　貴子 中山　智香子 増茂　孝枝	奈良 谷口　章 水井　妃佐子 水井　泰子 渡辺　未奈子	富山 河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 市橋　美紀
少年男子	大阪 和田　泰寛 仲尾　修一也 永谷　和也 福川　和也	熊本 権藤　浩二 大東　真也 中村　寿史	石川 彼島　重範 車　浩明 酒井　忠相 茶谷　徳靖
少年女子	福岡 樽野　智子 森　かおり 中内　景子 三好　奈緒	石川 和田　修 田井　美幸 舛田　恵 田村　恵理	大阪 西上　正一 福永　麻美 安城　美華 速水　永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 鈴木　草麻生 今井　紀夫 大山　宏司	東京 兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 渡辺　清一	大阪 松井　峰生 岸田　明宏 松井　充 川口　馨士
成年女子	奈良 谷口　章 水井　泰子 松田　治子 市橋　理恵	茨城 磯部　和弘 米倉　加奈子 大坂　千尋 岩松　絵理子	富山 河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 明石　由美
少年男子	熊本 権藤　浩二 大東　真也 中村　寿史 茂見　祥平	埼玉 関根　務 橋村　竜彦 平山　政史 川崎　和宗	石川 彼島　重範 酒井　忠相 茶谷　徳靖 山下　淳
少年女子	福岡 樽野　智子 中内　景子 藤本　乃恵 松尾　美穂子	大分 吉田　信之 末綱　聡子代 赤尾　美 赤尾　亜希	埼玉 加藤　勝 大熊　倫子 山口　絵美 謝　婷婷

第５４回　平成１１年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 石黒　之武久 霜上　和宏 花田　政文 大東　忠司	富山 今泉　勉 今井　紀夫 大山　宏司 吉川　大助	神奈川 石場　隆雄 舛田　圭太 清水　隆志 古川　裕輔
成年女子	大阪 宮崎　克巳 鬼池　めぐみ 森　かおり 関本　祥子	茨城 大塚　三佳 米倉　加奈子 中島　暁子 大坂　千尋	富山 河合　昭博 本田　静香 田　潤子 田　青子
少年男子	東京 渋谷　実 安村　康介 佐藤　翔治 佐々木　翔	熊本 権藤　浩二 茂見　祥平 池田　礼緒奈 土田　真義	香川 岡野　佳浩 二前　和敬 木場　博喬
少年女子	福岡 明神　憲一 松尾　美穂子 藤本　乃恵 脇坂　郁	熊本 伊東　幸雄 田上　千晴 松本　舞子 野口　理加	埼玉 中島　正敏 陳　暁娜 大下　詩織 広岡　まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 谷内貴昭 大山宏司	熊本 村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城 下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪 喜多努 関本祥子 田上晴予 西宏予	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京 渋谷実 佐藤翔治 佐々木翔 池田雄一	富山 山形英明 川口佳介 米隆夫 劉志遠	北海道 井口一司平 早坂幸圭大 石田圭純 竹村
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊藹琳	富山 麦谷正二 田村美幸 今井幸代 劉晶	長崎 春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 吉川大助太 舛田圭太 大束忠司	熊本 村中陽介 古井博高文 花田政良治 田上	埼玉 中條彪 中村憲尚士 福井剛士 加賀谷洋
成年女子	千葉 中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城 小島一夫 松浦裕子澄 正木真恵 梅津知	富山 河合昭博 山田潤子幸 田村美佳 佐伯知佳
少年男子	東京 渋谷実 山浦尚仁一 池田雄士 新開慎士	埼玉 大屋貴司伸 斉藤元史也 堤上敦 井	青森 戸祭潤 岩脇峰生 長原克博 鈕佳平
少年女子	青森 髙屋仁 楊藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山 中田庄二 佐伯美沙都 劉晶 今井幸代	大分 吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大束忠司	北海道 古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪 渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉 中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸	東京 落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京 渋谷実 池田雄一士 新開慎士 高木洋平	埼玉 大屋貴司也 井上知祐 秋山駿巳 新井克	滋賀 藤上良信洋 山口公太 数野健 早川賢一
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜 尾藤伸治侑 脇田舞 後藤佳 林裕	宮城 常田貴裕 田嶋朝美 平山優 松村咲希

第５８回　平成１５年　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇三 久保田雄太 片山卓哉 清水　裕	岡山	藤原道弘 松川大記 尾崎勝久 佐伯浩一	宮城	原田利雄 草井　篤 山下洋平 鈴木知道
成年女子	千葉	中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	熊本	今井彰宏 末綱聡子 中内景子 今井幸代
少年男子	滋賀	藤上良信 数野健太 早川賢一平 早崎修平	東京	小林重徳 高木洋平 堀川善生 林　森	埼玉	大屋貴司 大中尾祐介 黒田形俊明 宗形俊克
少年女子	宮城	常田貴裕 平山　優 松村咲希 麻植まさよ	青森	髙屋　仁 小柳知子 藤澤美佑紀 今別府香里	熊本	工藤勇参 吉村征美 前田美順 岡　ひとみ

第５９回　平成１６年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 中山田英孝 福井剛士 中西洋介	北海道	小倉隆司 松本　章 竹村純博 長原正博
成年女子	熊本	今井彰宏 末綱聡子 幡谷好美 前田美順	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 平山　優	東京	岩田良子 田井美幸里 媚山映靖 今別府代
少年男子	東京	渋谷実生 藤田真生也 堀川善知 高階　也	埼玉	帰山好和 遠藤大由 山田和司 小松谷輝	滋賀	藤上良信 早川賢一平 早崎修士 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 今別府香里 本間ちさと 藤井瑞希	埼玉	名倉康弘 高橋沙織 井上春奈 李　舒静	宮城	常田貴裕 松村咲希 麻植まさよ 大阪あや

第６０回　平成１７年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木　純 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 中山田英孝 福井剛士 中西洋介	東京	町田文彦 松本徹士 川口馨 清水　裕
成年女子	岐阜	尾藤伸治 後藤田愛侑 脇吉村征美	熊本	今井彰宏 末綱聡子代 今井幸順 前田美順	大阪	谷内貴昭 脇坂郁恵 多谷郁香 今別府里
少年男子	埼玉	大屋貴司 林　純智希 三橋拓馬 上田	岡山	西崎文貴 佐伯祐行 三米達也 元優樹	滋賀	藤上良信 早崎修平 田中昭太 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 本間ちさと 藤井瑞希 垣岩令佳	埼玉	田部井秀郎 井上春奈 井富永翔子 作山智美	石川	車　浩明 浜中麻亜子 樽野　恵 南出なつき

第６１回　平成１８年　のじぎく兵庫国体　兵庫県　宝塚市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉太 舛田圭司 大東忠志 劉遠	埼玉 中條彪一 仲尾修也 井上知司 山田和彰	秋田 鈴木理之 佐々木翔 西浦和広 鈕佳平
成年女子	埼玉 小室恭子 岩脇史香 大熊倫 広岡まり	熊本 今井彰宏 幡谷好美 今井幸代 岡ひとみ	岐阜 尾藤伸治 後藤愛侑 脇田村征美 吉
少年男子	埼玉 大屋貴司 上田拓馬 佐々木賢一 啓	福井 戸口元 木川直弘 松笹木勝司 川村平	熊本 権藤浩二 武山修三 嘉村健士 園田啓悟
少年女子	石川 車浩 樽野明恵 木村唯菜 南出さき	青森 藤田真人 藤井瑞希 佐々木理恵 垣岩令佳	埼玉 田部井秀郎 大森舞 三木佑里子 中森理紗

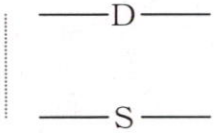
第６２回　平成１９年　秋田わか杉国体　秋田県　美郷総合体育館（総合優勝　　）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競 技 記 録

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



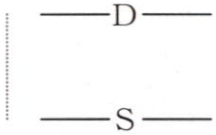
（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



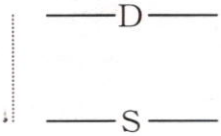
（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

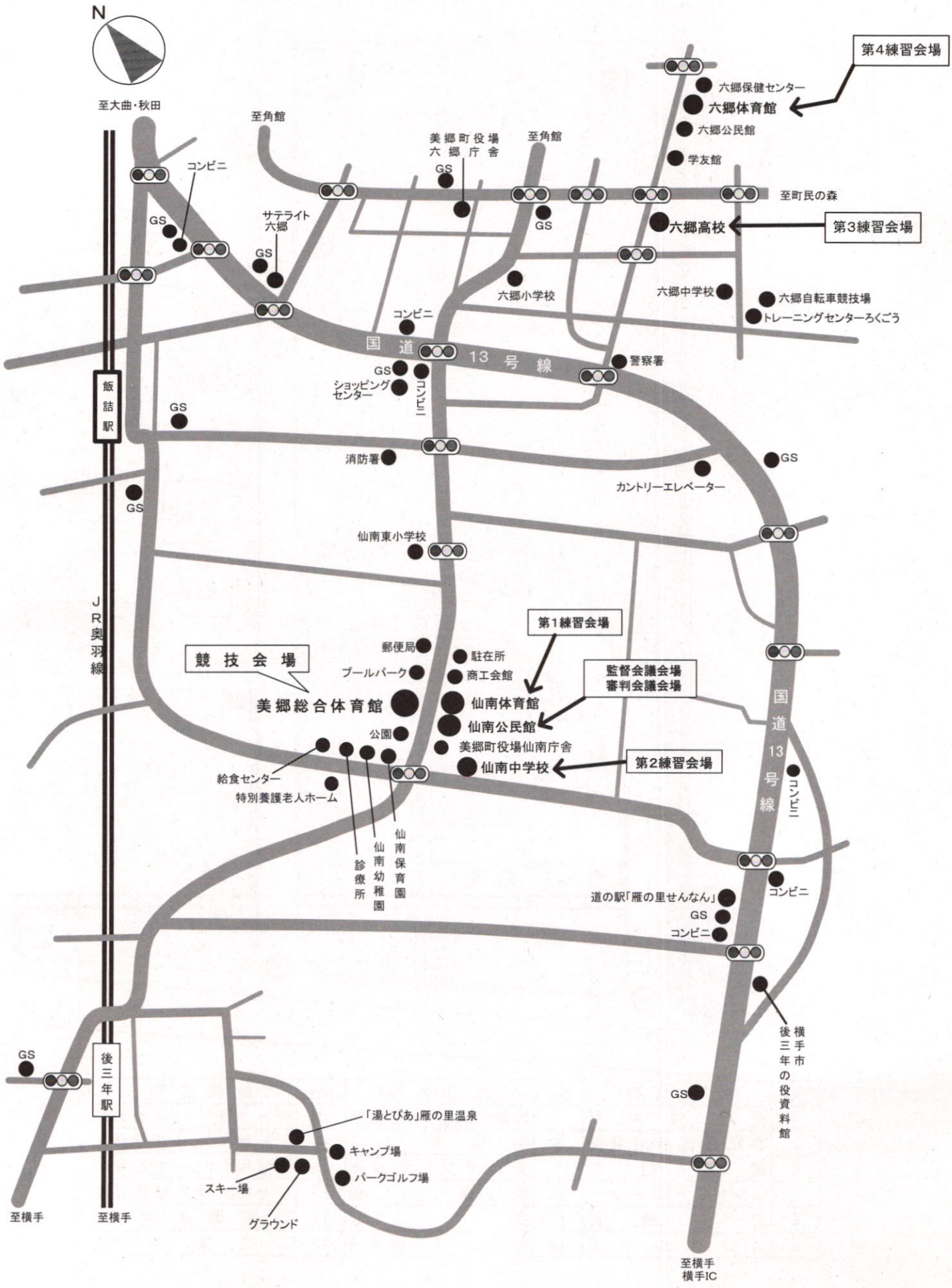


（　　）

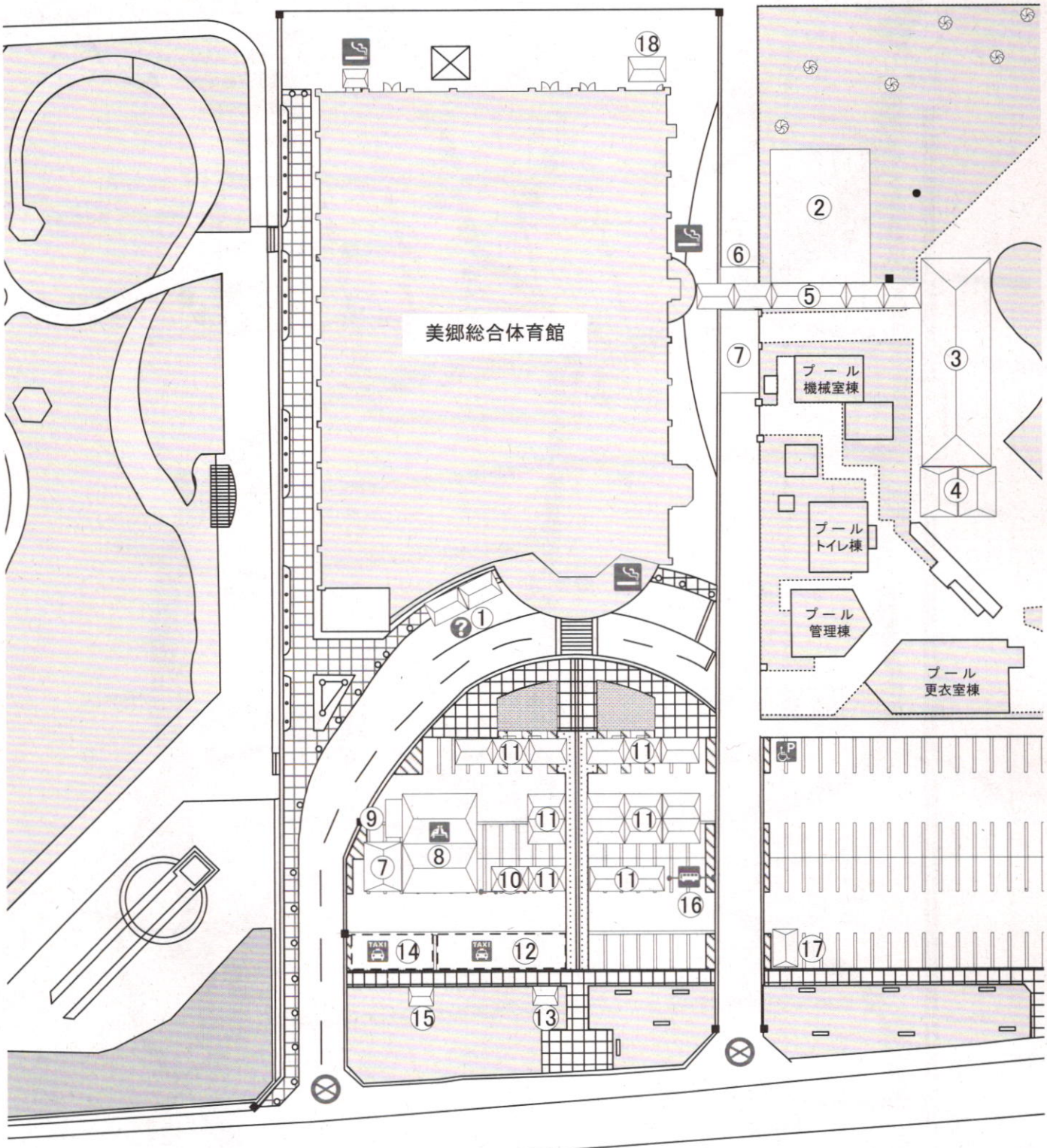
＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

競技会場・練習会場案内図

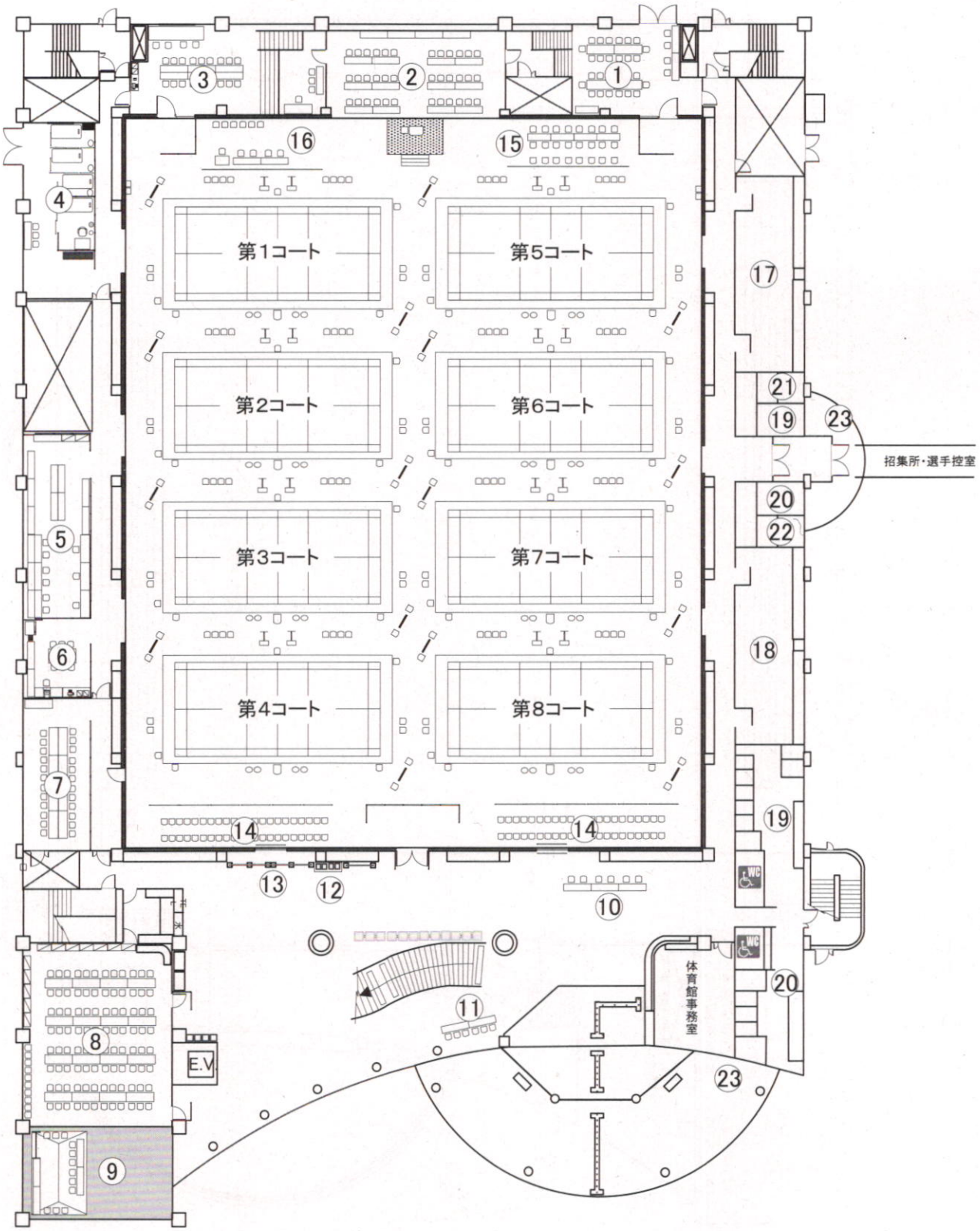


競技会場屋外配置図



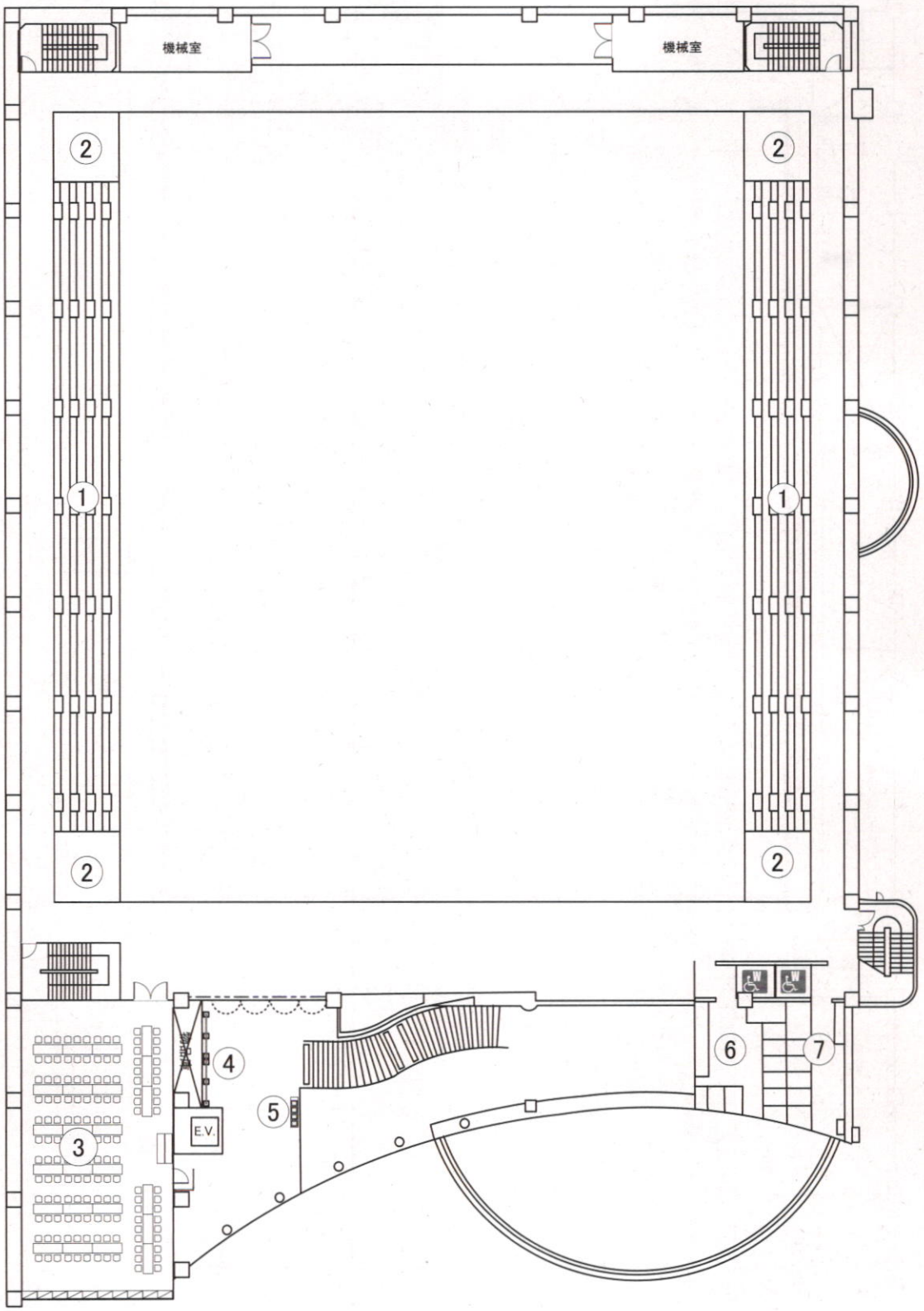
No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	受付案内所	7	係員・ボランティア控所	13	国体タクシー待合所
2	次試合選手招集所	8	交流テント	14	一般用タクシー乗降所
3	選手控所	9	交流テント準備所	15	一般用タクシー待合所
4	ランドリーコーナー	10	輸送本部	16	シャトルバス乗降所
5	連絡通路	11	売店	17	駐車場係控所
6	プレスルーム	12	国体タクシー乗降所	18	ゴミ集積所

競技会場屋内配置図　１階（美郷総合体育館）



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	プログラム販売所	21	女子シャワー室
2	競技会役員・競技役員席	12	記録速報箱	22	男子シャワー室
3	記録本部	13	トーナメント表	23	喫煙所
4	救護所	14	競技会関係者席		
5	筆耕所	15	オーダー交換所		
6	実施本部	16	放送係員席		
7	来賓控室・会議室	17	女子更衣室		
8	掲示・得点委員室	18	男子更衣室		
9	弁当引換所	19	女子トイレ		
10	監督・選手受付(10/5)	20	男子トイレ		

競技会場屋内配置図　２階（美郷総合体育館）



No.	施設名称
1	一般観覧席
2	車イス席
3	競技役員控室
4	トーナメント表
5	記録速報箱
6	女子トイレ
7	男子トイレ

練習会場の使用について

1　練習会場

会場番号	練習会場名	コート数
第１練習会場	美郷町仙南体育館	8
第２練習会場	美郷町立仙南中学校体育館	8
第３練習会場	秋田県立六郷高等学校体育館	8
第４練習会場	美郷町六郷体育館	8

2　練習会場の使用方法

①　各練習会場には受付を設けております。受付で使用申込をしてから、係員の指示に従ってください。なお、練習会場使用の予約はできません。必ず、練習会場に行き受付をしてください。

②　各都道府県代表チームであることが判別できる服装でご来場ください。

③　貴重品ほか個人及びチームの所有物は、各自及びチームで保管してください。また、下足も各自で保管するようにお願いします。

④　ゴミは各自でお持ち帰りください。

3　練習会場開設期間における各日の使用について

①　割り当て練習を除き、練習時間は原則として１区分１時間とし、１チーム１コートとします。ただし、空きコート待ちのチームがない場合は、引き続き使用できます。

②　練習会場の開設日時、割当練習、ブロック指定等の詳細は、「練習会場使用日程表」でご確認ください。

③　ブロック指定の練習では、各ブロック内で調整しながら練習してください。

4　その他

(1)　第１練習会場（美郷町仙南体育館）の使用について

第１練習会場には駐車スペースがありません。車両で移動する場合は、美郷総合体育館駐車場（練習会場向かい）に駐車してください。

(2)　第２練習会場（美郷町立仙南中学校）の使用について

①　学校敷地内全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは第２練習会場概要図でご確認ください。また、第２練習会場はマイクロバスや大型バス等大型車両の進入が禁止されています。マイクロバス・バスでの移動となる場合は、美郷町役場仙南庁舎駐車場（徒歩約３分）に駐車してください。

③　進入禁止区域には、絶対に進入しないでください。

④　平日、学校では授業を行っています。授業の妨げにならないようにご協力ください。

(3)　第３練習会場（秋田県立六郷高等学校）の使用について

①　学校敷地内全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは第３練習会場概要図でご確認ください。また、第３練習会場には、マイクロバスやバス等大型車両の進入ができません。マイクロバス・バスでの移動となる場合は、第４練習会場の美郷町六郷体育館駐車場（徒歩約５分）に駐車してください。

③　進入禁止区域には、絶対に進入しないでください。

④　男子更衣室は、練習会場ステージです。

⑤　第１体育館は、空きコート待ちチームの待機所としてご利用ください。

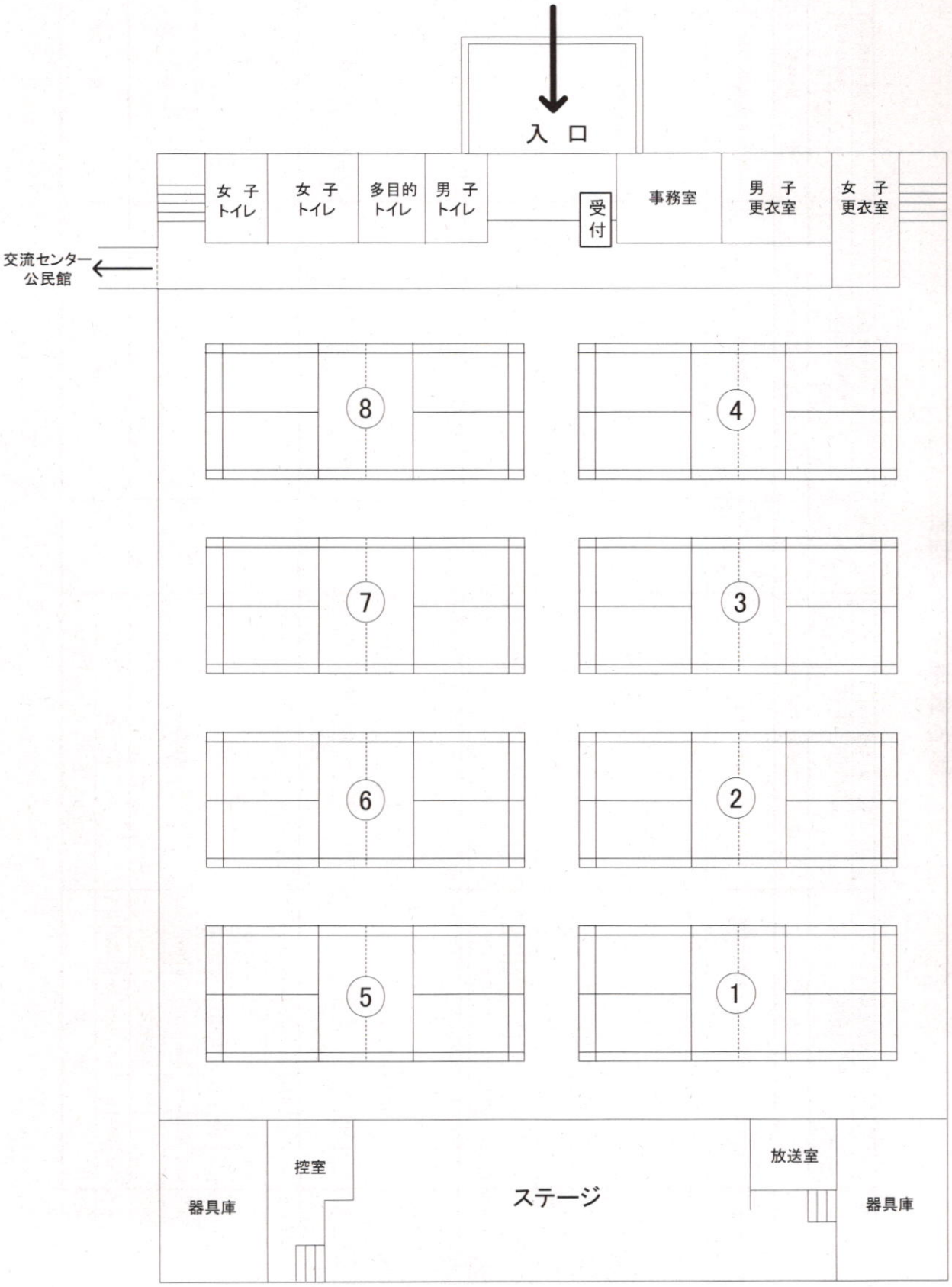
(4)　第４練習会場（美郷町六郷体育館）の使用について

トイレは、隣接する六郷公民館のトイレをご使用ください。なお、六郷体育館と六郷公民館は、渡り廊下で接続されています。

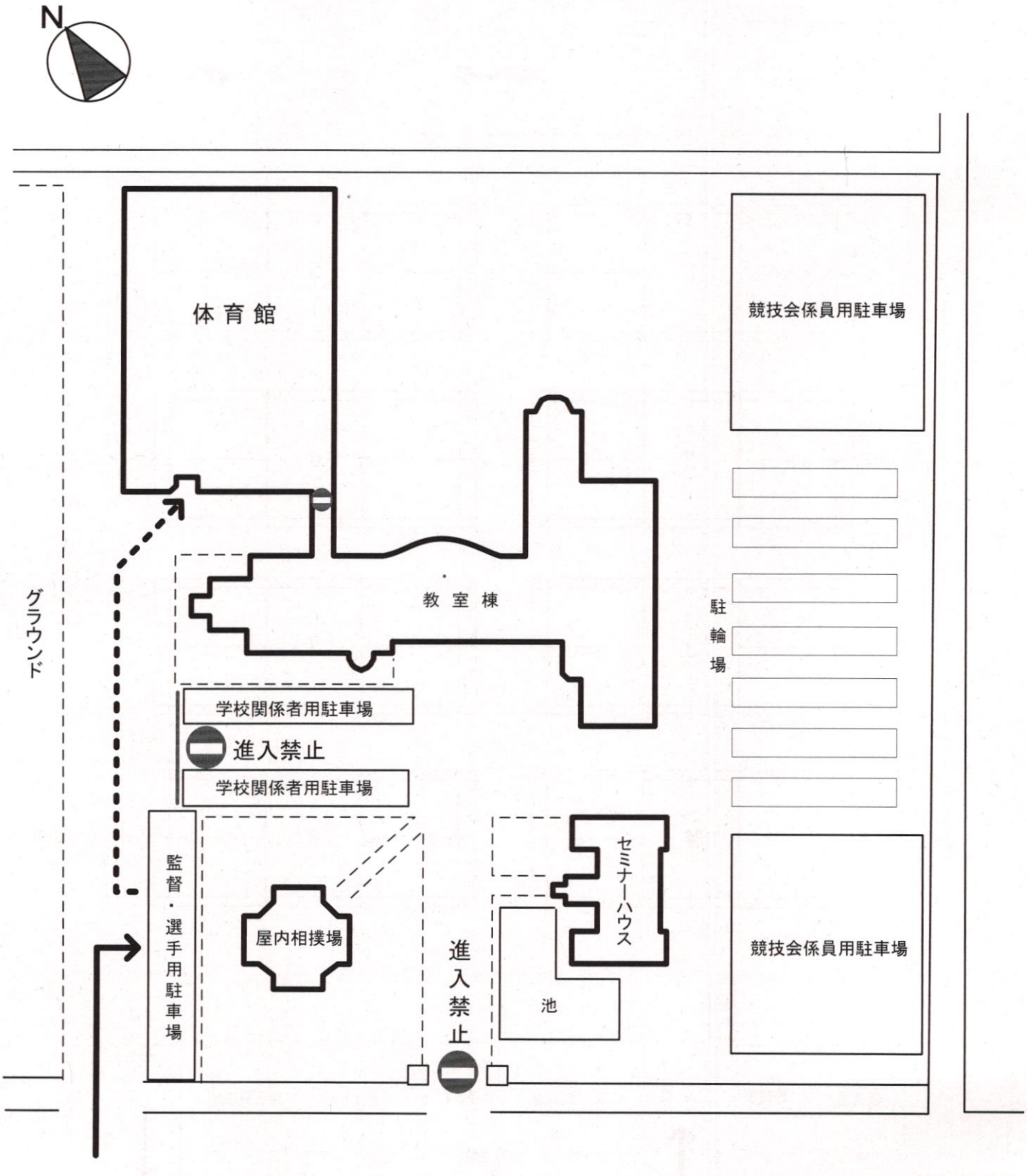
練習会場使用日程表

月日	会場 / 時間	第1練習会場 仙南体育館								第2練習会場 仙南中学校体育館								会場 / 時間	第3練習会場 六郷高等学校体育館								第4練習会場 六郷体育館							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
10月2日(火)	13:00～16:00	自由練習								閉　館(練習会場開設準備)									閉　館(練習会場開設準備)								閉　館(練習会場開設準備)							
10月3日(水)	9:00～17:00	北海道・東北(秋田・山形・福島)・関東								近畿・中国								9:00～17:00	四国・九州								東北(青森・岩手・宮城)・北信越・東海							
10月4日(木)	9:00～17:00																	9:00～17:00																
10月5日(金)	9:20～10:30	W1	W1	W2	W2	W3	W3	W4	W4	W5	W5	W6	W6	W7	W7			9:30～17:00	近畿・中国・四国・九州								北海道・東北・関東・北信越・東海							
	10:30～12:00	W8	W8	W9	W9	W10	W10	W11	W11	W12	W12	W13	W13	W14	W14	W15	W15																
	12:00～13:30	B1	B1	B2	B2	B3	B3	B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7	B8	B8																
	13:30～15:00	B9	B9	B10	B10	B11	B11	B12	B12	B13	B13	B14	B14	B15	B15	B16	B16																
	15:00～17:00	自由練習								自由練習																							
10月6日(土)	7:00～ 8:30	W16	W16	W17	W17	W18	W18	W19	W19	W20	W20	W21	W21	W22	W22	W23	W23	7:00～17:00	自由練習								自由練習							
	8:30～ 10:00	W24	W24	W25	W25	W26	W26	W27	W27	W28	W28	W29	W29	W30	W30	W31	W31																
	10:00～11:30	M1	M1	M2	M2	M3	M3	M4	M4	M5	M5	M6	M6	M7	M7	M8	M8																
	11:30～13:00	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4	G5	G5	G6	G6	G7	G7	G8	G8																
	13:00～14:30	B17	B17	B18	B18	B19	B19	B20	B20	B21	B21	B22	B22	B23	B23	B24	B24																
	14:30～16:00	W32	W32	W33	W33	W34	W34	W35	W35	W36	W36	W37	W37	W38	W38	W39	W39																
	16:00～17:00	自由練習								自由練習																							
10月7日(日)	7:00～ 8:30	M9	M9	M10	M10	M11	M11	M12	M12	G9	G9	G10	G10	G11	G11	G12	G12	7:00～12:00	閉　鎖								自由練習							
	8:30～10:00	W40	W40	W41	W41	W42	W42	W43	W43	B25	B25	B26	B26	B27	B27	B28	B28																
	10:00～12:00	M13	M13	M14	M14	G13	G13	G14	G14	自由練習																							
	12:00～14:00	W44	W44	W45	W45	B29	B29	B30	B30																		閉　鎖							
	14:00～16:00	自由練習																															
10月8日(月)	7:00～ 8:30	W46	W46	B31	B31	M15	M15	G15	G15	閉　鎖									閉　鎖								閉　鎖							
	8:00～ 9:30	閉　鎖								W47	W47	B32	B32	M16	M16	G16	G16																

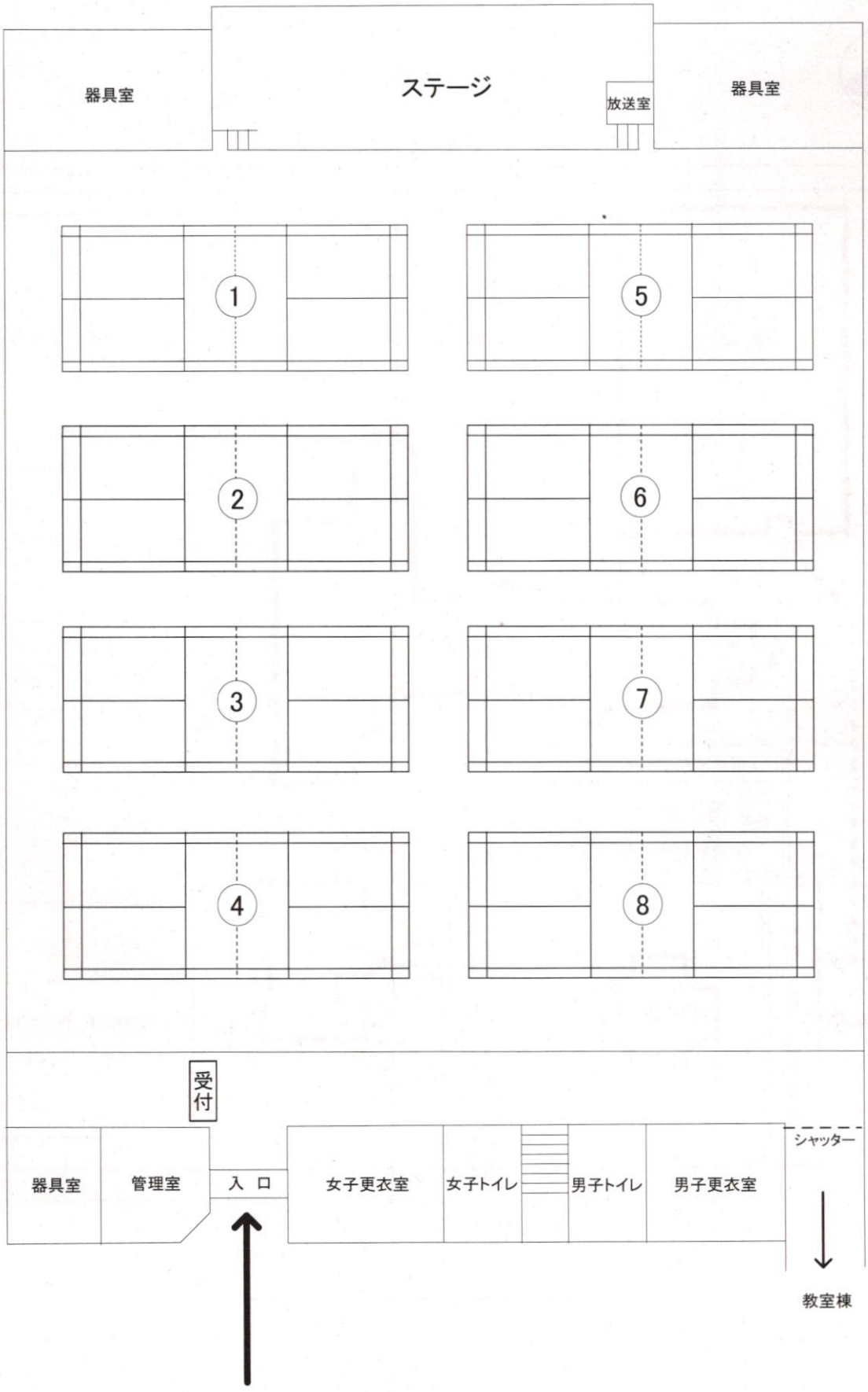
第1練習会場配置図（美郷町仙南体育館）



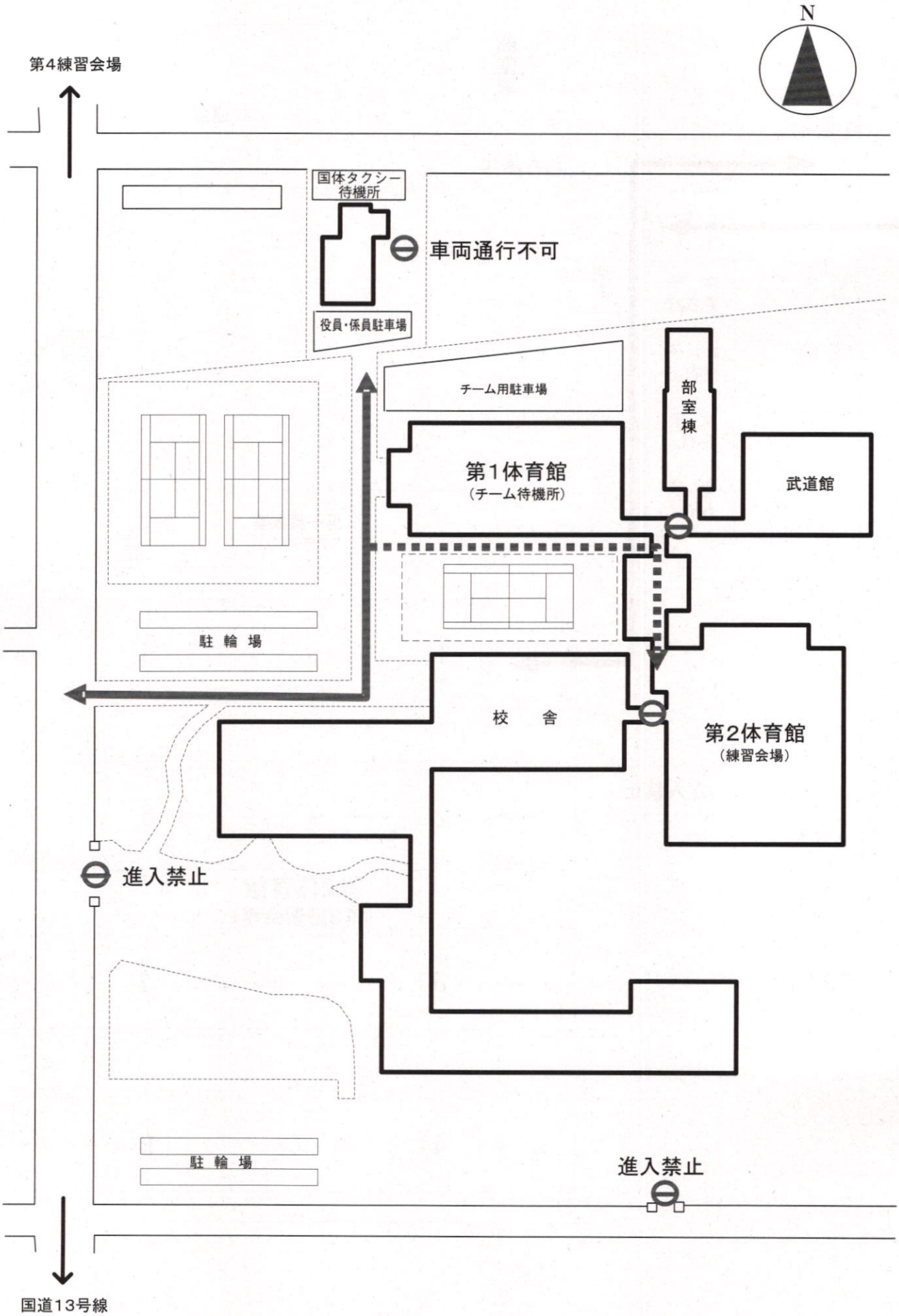
第2練習会場（美郷町立仙南中学校）概要図



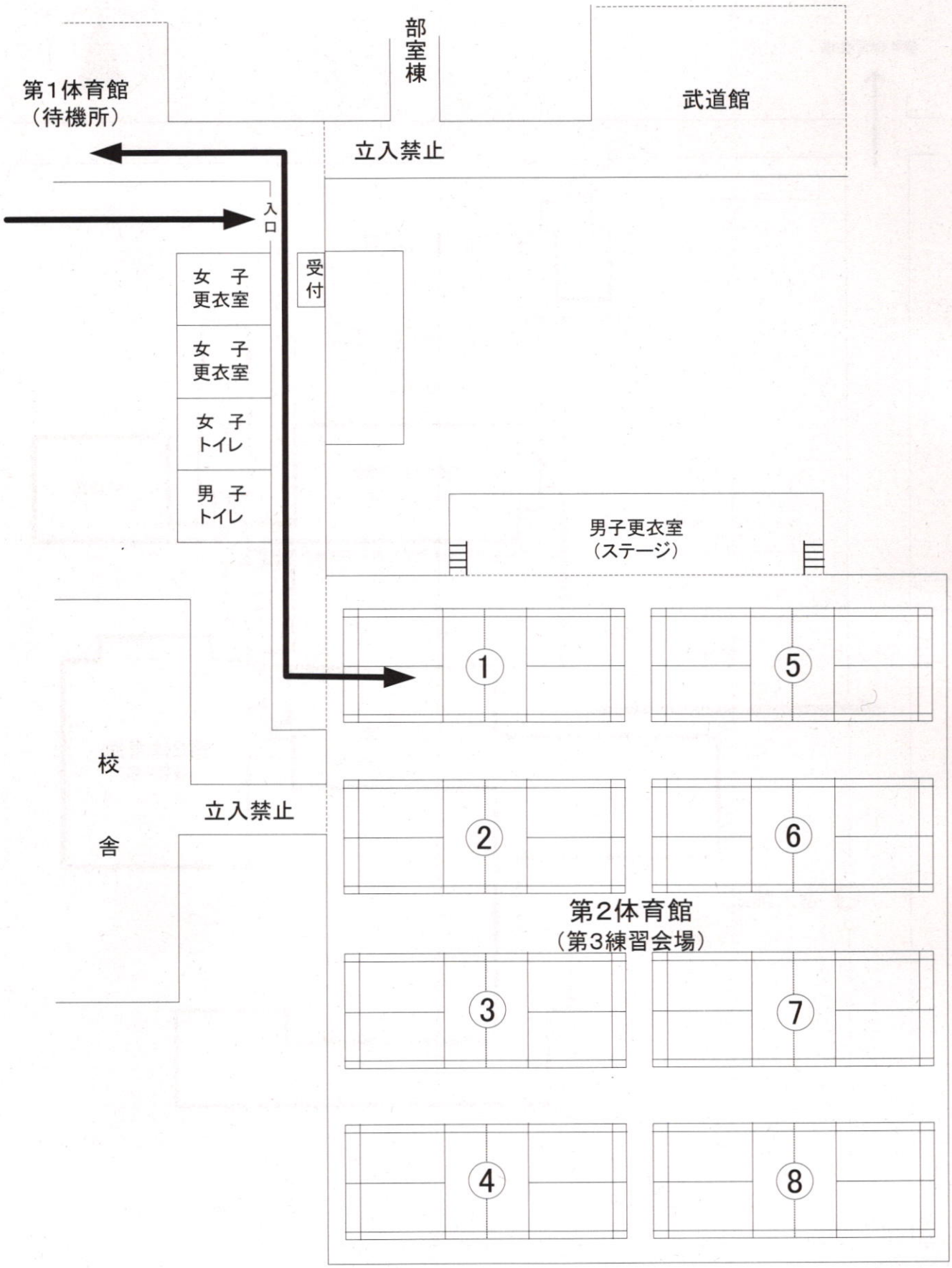
第2練習会場配置図（美郷町立仙南中学校）



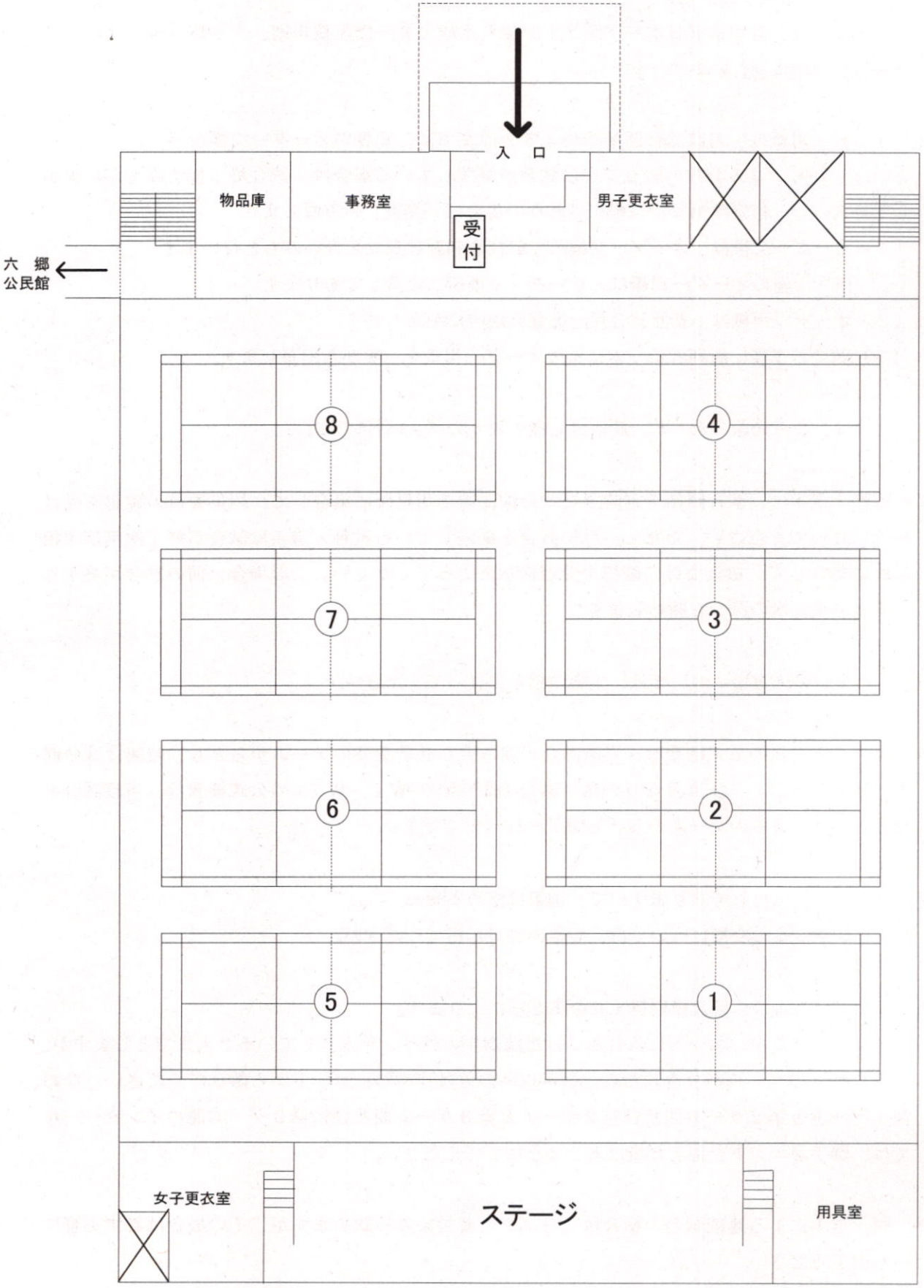
第3練習会場（秋田県立六郷高等学校）概要図



第3練習会場配置図（秋田県立六郷高等学校）



第4練習会場配置図（美郷町六郷体育館）



競　技　上　の注　意

1　本競技会は、財団法人日本バドミントン協会平成１９年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程により行います。

2　オーダー用紙は、当該試合開始時刻４５分前までに、監督がオーダー交換所へ提出してください。しかし、４５分前の時点で現に試合が継続している場合は、試合終了後すみやかに提出してください。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなします。

（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長立ち合いのもと行います。

※　予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（２）オーダー用紙は、初回試合用を監督会議時に配布します。

（３）試合終了後、勝利者チームに次のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２点先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は行いません。

4　監督・選手は、試合開始予定時刻２０分前に選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。ただし、現に試合を継続している監督・選手は試合が終了次第選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の試合が終了して１５分後に次の試合を開始します。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームからとし、時間は３分間とします。ただし、１０月５日の第一試合（成年女子･Ｗ１～Ｗ７）の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームから５分間ずつ行ってください。

7　シャトルは試打してありますので、選択は認めません。

※　シャトルの交換については、主審の許可を得てください。

8　インターバルは、競技規則第１６条第２項によります。

インターバル中、コートに入れるのは当該選手の外ベンチ入りしている２人までとしますが、「２０秒」のコールがなされたら、選手以外の方は速やかにコートから離れてください。なお、第１ゲームと第２ゲーム間及び第２ゲームと第３ゲーム間並びに第３ゲーム間のインターバルでは、選手がエンドを替えた後に入るようにしてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみ認めますが、その場合は必ず主審に申し出てください。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
※　第1シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して10分後に開始します。

11　試合進行の都合により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、通常、医師の他、必要と認められる競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央に必ず都道府県名のみを明示（文字は、上衣の色と明確に区別できる文字色の漢字）してください。
また、試合前の練習を含め、ベンチに控えている際にも都道府県名の分かるジャージまたは、ウエアを着用してください。

14　水分の補給について、主審の指示に従ってください。
（1）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（2）給水ボトルは各ベンチに用意した脱衣カゴの中に入れてください。

15　各試合（ダブルスまたは、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心がけてください。

16　競技場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

17　その他、競技実施要項を遵守してください。

審　判　上　の注　意

1　審判員は、財団法人日本バドミントン協会平成１９年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第１３条（フォルト）、第１６条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えないインターバルを認める。また、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバルを認める。［第１６条第２項］

4　プレーヤーは、どんな事があっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。〔第１６条第４項〕
　ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、主審の許可を得て指示に従わなければならない。

5　選手がマッチ（試合）中にアドバイスを受けることができるのは、シャトルがインプレーでない場合に限る。〔第１６条第５項（１）〕
　監督・選手などが、インプレー中に選手（プレーヤー）に対して、助言・指導することは認められない。

6　プレーヤーは、第１６条第２項のインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。〔第１６条第５項（２）〕
　マッチ（試合）中、プレーヤーが汗拭きやそれに伴う水分補給などのため、プレーが中断しない範囲内でコートを離れる場合でも、主審の許可を得なければならない。

7　競技の品位を保つため、色付着衣を使用する場合は、財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。〔大会運営規程第２１条〕

8　プレーヤーが競技規則第１６条第４・５・６項に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに警告し、一度警告を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドにフォルトを宣言する。一つのサイドによる二度目のフォルトは執拗な違反と見なす。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反、第１６条第２項の違反には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長に報告する。

9　主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更することができる。［第１７条第５項］

10 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することができる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。
　［大会運営規程第３３条］

昼食弁当の斡旋について

1　斡旋期間

平成１９年１０月５日（金）～１０月８日（月）まで

※　１０月５日分の弁当は、別途斡旋済み。

2　弁当料金

１個　９４５円（消費税込み、お茶付き）

3　申込み方法

●競技２日目以降（１０月６日～８日分）の弁当申込み方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、代金を添え、弁当必要日前日の午前１１時～午後３時３０分までに競技会場弁当引換所のトップツアー㈱弁当受付へ申込みください。なお、競技初日（１０月５日分）の弁当は別途斡旋済みです。

※　申込み後の変更・取消はできません。また、宿舎でのお弁当の申込みは取り扱っておりませんのでご注意ください。

4　弁当引換方法

競技会場の弁当引換所にて、弁当引換券と引き換えに弁当を受け取ってください。なお、申込みされた引換日・引換所以外での引き換えはできません。

弁当引換時間は、午前１１時～午後１時までです。

5　その他

（１）食中毒防止のため、弁当はお早めにお召し上がりください。

（２）食べ終わった後の弁当容器は割り箸、お茶容器と分別し、午後３時まで弁当引換所にお持ちください。

（３）弁当引換券及び弁当代金領収書の再発行はいたしません。

6　弁当に関するお問い合せ先

トップツアー㈱秋田支店

〒010-0951　秋田県秋田市山王２丁目１－４０　田口ビル１階

TEL 018-866-0109　　FAX 018-866-0177

※　電話でのお問い合せは、月～金曜日 9:30～17:30 にお願いします。

医 療 救 護 について

1 傷病者が発生したとき

(1) 競技会場で傷病者が発生したとき

ア 競技会場には、救護所を設置しています。救護所に待機している医療救護係員に申し出てください。医師による診察・処置を行うか、救急車で医療機関へ移送します。

イ 救護所は、「看板」等により、所在を示してあります。

(2) 練習会場で傷病者が発生したとき

練習会場に、応急処置程度の救護薬品は備えております。万が一傷病者が発生した場合には、練習会場係員に申し出てください。傷病の状態によっては、競技会場内救護所で医師による診察・処置を行うか、救急車で医療機関へ移送することになります。

(3) 民泊受入家庭・食事会場・集落の会館で傷病者が発生したとき

各食事会場にいる民泊係か国体協力会の方に申し出て、医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急車の手配を依頼してください。

※ いずれの場合においても、医療機関へ移送する場合はチーム関係者が必ず同行するようにお願いします。

2 治療の受け方

(1) 救護所では、応急処置及び軽易な手当を行います。傷病者を医療機関に移送する必要がある場合、救急車等で移送します。移送の場合は、チーム関係者が必ず同行してください。

(2) 救護所から移送により医療機関で治療される場合は、救護所で交付する「処置記録兼診療依頼書」及び「健康保険証」を医療機関に提示してください。

(3) 宿舎において傷病者が発生し、医療機関で治療を受ける場合は、チーム関係者が同行のうえ「健康保険証」を提示してください。

3 医療費の負担

(1) 救護所で行う応急処置及び軽易な手当並びに救急車の利用に要する費用はかかりません。ただし、配置される医師によっては、点滴等を持参している場合があります。この場合の費用は、受診者の負担になりますので、ご了承ください。

(2) 医療機関で治療を受けた費用は受診者の負担となりますので、「健康保険証」を必ず持参してください。「健康保険証」を提示しなかった場合は、医療費の全額が受給者の負担となりますので、ご注意願います。

※ 個人情報の取り扱いについて

「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）は人の生命、身体の保護のために必要な場合に使用します。なお、国体終了後「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）をもとに傷病者の統計を行い実績報告書に掲載します。ただし、個人を特定できるものではありません。

輸 送 に つ い て

大会期間中の選手・監督、役員等の輸送計画については、シャトルバス・国体タクシー・徒歩による方法となっています。なお、宿舎・食事会場・競技会場・練習会場間の移動については、タクシー輸送のため、各チームに「タクシー乗車券」を配布します。

【輸送方法】

○シャトルバス　　１０月２日（火）～８日（月）に、ＪＲ飯詰駅～競技会場を運行します。乗車は無料です。運行時間等については、シャトルバス乗降所等に掲示している時刻表をご覧ください。

○国体タクシー　　１０月２日（火）～８日（月）に、次の区間で利用できます。乗車には「タクシー乗車券」が必要です。「タクシー乗車券」は、各チームに対して配布します。乗車にあたり、乗務員に「タクシー乗車券」を渡し、行き先を告げてください。



【国体タクシーの配車・予約】

〈国体タクシーの待機場所〉

○競技会場　　１０月２日（火）～１０月８日（月）に国体タクシー乗降所に待機しています。

○練習会場　　各練習会場の開設期間、第３・第４練習会場の国体タクシー待機所に待機しています。第１・第２練習会場は、競技会場の国体タクシー乗降所をご利用ください。

※　競技会場・練習会場に待機タクシーがない場合は、「国体タクシー予約センター」に、直接ご連絡ください。

〈国体タクシーの予約方法〉

○予約方法　　国体タクシーを予約する時は、受付時間内に国体タクシー予約センターに直接連絡してください。

国体タクシー予約センター
開設期間　１０月２日（火）～１０月８日（月）
電話番号　０５０－３３２８－４５３５
受付時間　６：３０～２２：００

【輸送交通に関するお問い合せ】

○大会期間中のお問い合せ　　競技会場輸送本部の係員にお問い合せください。

競技会関係電話番号一覧表

【競技会場・現地実施本部・競技本部】

名　　称	所在地	電話番号	
競技会場実施本部 （美郷町現地本部）	美郷町飯詰字糠渕１８－１ 美郷総合体育館　内	TEL･FAX	０１８７－８３－３２０１
競技・記録本部 （競技団体現地本部）	美郷町飯詰字糠渕１８－１ 美郷総合体育館　内	ＴＥＬ	０１８７－８３－３２０２
		ＦＡＸ	０１８７－８３－３２０３
美郷総合体育館事務室	美郷町飯詰字糠渕１８－１ 美郷総合体育館	ＴＥＬ	０１８７－８６－８３００
		ＦＡＸ	０１８７－８６－８０３３

【監督会議・審判会議会場】

名　　称	所在地	電話番号	
仙南公民館事務室	美郷町飯詰字北中島３７－１	ＴＥＬ	０１８７－８３－２２８０
		ＦＡＸ	０１８７－８３－２４５１

【練習会場】

名　　称	所在地	電話番号	
第１練習会場 美郷町仙南体育館	美郷町飯詰字北中島４１	係員 携帯	０９０－６２５１－１６２９
第２練習会場 美郷町立仙南中学校体育館	美郷町飯詰字轌町２６－１	係員 携帯	０９０－６２５１－１５９０
第３練習会場 秋田県立六郷高等学校体育館	美郷町六郷字馬場５２	係員 携帯	０９０－６２５１－１６３９
第４練習会場 美郷町六郷体育館	美郷町六郷字安楽寺２８７	係員 携帯	０９０－６２５１－１６８１

【美郷町国体室】

名　　称	所在地	電話番号	
美郷町国体室 （美郷町実行委員会事務局）	美郷町飯詰字北中島３５－１	ＴＥＬ	０１８７－８４－４９１６
		ＦＡＸ	０１８７－８３－３１０６

【民泊拠点食事会場】

名　　称	所在地	電話番号	
仙南交流センター（宿泊本部）	美郷町飯詰字北中島３７－１	ＴＥＬ	０１８７－８３－２３０８
		ＦＡＸ	０１８７－８３－２３０９
仙南保健センター	美郷町飯詰字北中島３５－１	ＴＥＬ	０１８７－８３－３７１８
		ＦＡＸ	０１８７－８３－３７１９
仙南中学校セミナーハウス	美郷町飯詰字轌町２６－１	ＴＥＬ	０１８７－８３－２３８５
		ＦＡＸ	０１８７－８３－２３８６
後三年コミュニティセンター	美郷町飯詰字東山本１０７－１	ＴＥＬ	０１８７－８３－２４４１
		ＦＡＸ	０１８７－８３－２４４２
金沢西根コミュニティセンター	美郷町金沢西根字西今泉１４１	ＴＥＬ	０１８７－８３－２１９６
		ＦＡＸ	０１８７－８３－２１９７
飯詰コミュニティセンター	美郷町上深井字松葉野２４６	ＴＥＬ	０１８７－８２－１２７２
		ＦＡＸ	０１８７－８２－１２７３
金沢コミュニティセンター	美郷町金沢字味噌森１０	ＴＥＬ	０１８２－３７－２９３１
		ＦＡＸ	０１８２－３７－２９３２

【救急・夜間協力病院】

医療機関名	所在地	電話番号	
仙北組合総合病院	大仙市大曲通町１－３０	ＴＥＬ	０１８７－６３－２１１１
大曲中通病院	大仙市大曲上栄町４－３	ＴＥＬ	０１８７－６３－２１３１
平鹿総合病院	横手市前郷字八ツ口３－１	ＴＥＬ	０１８２－３２－５１２１
市立横手病院	横手市根岸町５－３１	ＴＥＬ	０１８２－３２－５００１

【国体タクシー予約センター】

会　社　名	所在地	電話番号	
国体タクシー予約センター （参加選手・監督専用）	美郷町上深井字中谷地５６－３	ＴＥＬ	０５０－３３２８－４５３５

(財)日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧

(財)日本体育協会・文部科学省宿舎

団体名	宿舎名	所在地	電話番号
(財)日本体育協会	秋田ビューホテル	秋田市中通2－6－1	018-832-1111
文部科学省	秋田ビューホテル	秋田市中通2－6－1	018-832-1111

都道府県本部宿舎

No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話番号
1	北海道	秋田ビューホテル	秋田市中通2－6－1	018-832-1111
2	青森県	秋田ビューホテル	秋田市中通2－6－1	018-832-1111
3	岩手県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
4	宮城県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
5	秋田県	秋田ビューホテル	秋田市中通2－6－1	018-832-1111
6	山形県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
7	福島県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
8	茨城県	ホテルアルファーワン秋田	秋田市中通4－16－2	018-836-5800
9	栃木県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
10	群馬県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
11	埼玉県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
12	千葉県	ホテルはくと	秋田市千秋矢留町1－1	018-835-3311
13	東京都	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
14	神奈川県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
15	山梨県	アキタシティホテル	秋田市大町2－6－25	018-863-2525
16	新潟県	ホテルアルファーワン秋田	秋田市中通4－16－2	018-836-5800
17	長野県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
18	富山県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
19	石川県	アキタシティホテル	秋田市大町2－6－25	018-863-2525
20	福井県	アキタシティホテル	秋田市大町2－6－25	018-863-2525
21	静岡県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
22	愛知県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
23	三重県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
24	岐阜県	アキタシティホテル	秋田市大町2－6－25	018-863-2525
25	滋賀県	アキタスカイホテル	秋田市大町2－2－3	018-862-0501
26	京都府	アキタスカイホテル	秋田市大町2－2－3	018-862-0501
27	大阪府	アキタスカイホテル	秋田市大町2－2－3	018-862-0501
28	兵庫県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
29	奈良県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
30	和歌山県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
31	鳥取県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
32	島根県	ホテルはくと	秋田市千秋矢留町1－1	018-835-3311
33	岡山県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
34	広島県	ホテルルートイングランティア秋田	秋田市中通5－2－1	018-825-5411
35	山口県	ホテルアルファーワン秋田	秋田市中通4－16－2	018-836-5800
36	香川県	イーホテル秋田	秋田市大町2－2－12	018-865-7111
37	徳島県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
38	愛媛県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
39	高知県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
40	福岡県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
41	佐賀県	ダイワロイネットホテル秋田	秋田市大町2－2－41	018-883-0500
42	長崎県	アルバートホテル秋田	秋田市大町4－3－22	018-888-3333
43	熊本県	アルバートホテル秋田	秋田市大町4－3－22	018-888-3333
44	大分県	アキタスカイホテル	秋田市大町2－2－3	018-862-0501
45	宮崎県	アルバートホテル秋田	秋田市大町4－3－22	018-888-3333
46	鹿児島県	アルバートホテル秋田	秋田市大町4－3－22	018-888-3333
47	沖縄県	アルバートホテル秋田	秋田市大町4－3－22	018-888-3333

祝　第62回国体バドミントン競技　ガンバレ秋田県選手団

秋田県バドミントン協会

会長	齋藤隆夫
副会長	脇坂安隆
副会長	熊地春悦
副会長	樋渡満子
理事長	谷村武義

鹿角市バドミントン協会	北秋田市バドミントン協会	大館市バドミントン協会
会長　阿部公洋	会長　成田昭夫	会長　金谷永治
能代市バドミントン協会	八峰町バドミントン協会	男鹿市バドミントン協会
会長　松谷福三	会長　佐藤裕	会長　佐藤巳治郎
潟上市バドミントン協会	八郎潟町バドミントン協会	大潟村バドミントン協会
会長　石川一	会長　加藤泉	会長　樋熊学
秋田市バドミントン協会	大曲バドミントン協会	由利本荘市バドミントン協会
会長　今洵	会長　黒田文夫	会長　斎藤揚一
にかほバドミントン協会	美郷町バドミントン協会	岩城バドミントン協会
会長　須田一治	会長　佐藤正一	会長　佐々木一典
角館バドミントン協会	湯沢市バドミントン協会	神岡バドミントンサークル
会長　安達政治	会長　京野学	会長　斉藤耕助
西仙北バドミントン協会	太田町バドミントン協会	合川町バドミントン協会
協和町バドミントンクラブ		

選手の皆さん。日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、素晴らしいプレーを！！

秋田市バドミントン協会

必勝

会長	今洵
副会長	熊地春悦
副会長	樋渡満子
理事長	四戸昭治
事務局長	豊島一大

秋田県シニアバドミントン連盟

一本集中

会長	和田紀夫
副会長	熊地春悦
副会長	樋渡満子
副会長	今洵
理事長	石塚忠伍

祝 第62回国民体育大会

選手皆様のご健闘を
お祈り致します。



秋田県社会人バドミントン連盟

会長	瀬田川栄一	支部長	
副会長	甲谷 甚一	県北	金沢 聡志
副会長	黒田 文夫	男鹿・南秋	菅生 哲也
理事長	須田 一治	中央	高野 務
総務委員長	菅原 秋雄	県南	佐藤 浩治
事務局長	佐藤 等	由利本荘・にかほ	佐藤 浩
副事務局長	堀田 浩之		

祝　第62回国体バドミントン競技　ガンバレ秋田県選手団

「君のハートよ位置につけ」
選手の皆さん。素晴らしいプレーを期待します！

秋田県レディースバドミントン連盟

会　長	樋渡満子	
副会長	米村愛子	菊地　美智代
	伊藤京子	江戸塚なつ子
	山崎裕子	
理事長	野水登紀	

秋田レディース	代　表　鈴木篤子
勝平MBC	代　表　今川利恵
シャトルけやき	代　表　木村静子
土崎シャトルクラブ	代　表　奈良良子
南部シャトルズ	代　表　中嶋真知子
秋田クラブM	代　表　樋渡満子
D．シャトルズ	代　表　佐藤良子
楽シャトル	代　表　工藤朋子
大潟ポイントワン	代　表　木津谷智恵子
大曲シャトルメッツ	代　表　山崎裕子
仙北フリーシャトルズ	代　表　中野谷智加子
能代さつきクラブ	代　表　渡辺幹子
湯沢バドミントン同好会	代　表　高橋久美子
八郎潟バドミントン協会	代　表　斉藤ユミ子

御野場シャトルズ	代　表　小宅典子
シャトルエース	代　表　石澤久美子
中央バドミントン	代　表　倉嶋志津子
手形バドミントンクラブ	代　表　井川睦子
ビッグシャトラー	代　表　石田浩美
あいりす	代　表　伊藤京子
ウインドウ'S	代　表　石川久美子
岩城バドミントン協会	代　表　伊藤千秋
大館リトルレデースバドミントン	代　表　佐藤美恵
象潟ウエンズデイークラブ	代　表　佐々木もと子
天王シャトルクラブ	代　表　野水登紀
本荘マリーナ	代　表　斎藤久子
本荘フレンズ	代　表　佐藤由美子
D，S　MIRAI	代　表　斎藤幸恵

祝　第６２回国民体育大会バドミントン競技会

■■■　秋田わか杉国体　■■■

バドミントンをやってて
よかったね！
よき友との出会いに感謝！

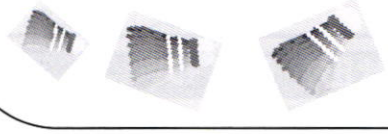
選手の皆さんのご健闘を祈ります

秋田高等学校
バドミントン部ＯＢ会
有志一同

敬愛高校（現 国学館高校）
バドミントン部ＯＧ会

全力を尽くし、
青春を謳歌せよ！

樋渡　満子（S35卒）　斉藤ユミ子（S39卒）
千葉　浜子（S43卒）　伊藤ツギ子（S44卒）
米村　愛子（S44卒）　舟山　良子（S45卒）
泉　ひめ子（S51卒）　石井るり子（S51卒）
有志一同



秋田市立高等学校
（現秋田中央高等学校）
バドミントン部OB・OG会

能登良一・吹谷五十三・加賀谷幸雄・成田昭夫
宇佐美覚・加賀谷彰・佐藤晃・加藤信樹
三浦誠・能登谷武男・土谷亮一・武田彰
池田正樹・南都典忠・熊谷由美子・大村智子
遠藤善衛・加藤泉・安宅仁子・鎌田真由美

選手の皆さんのご健闘を祈ります

頑張れ秋田県選手団!!

頑張れ 和洋アスリート!!

秋田和洋女子高等学校バドミントン部

一本集中!
天野　成美さん
鈴木　優華さん
伊藤　朝美さん



秋田和洋女子高等学校
バドミントン部ＯＧ会

秋田工業高等学校
バドミントン部ＯＢ会

会　長　小野幸太郎（32M）
幹　事　熊地春悦（37M）　石塚忠伍（37C）
荒木英勝（44M）　高橋　厚（50M）
石井貞義（51M）　佐藤政勝（51H）
堀岡正紀（52H）　石井義光（53M）
小林俊明（56H）

ファイト！
「秋 工 健 児」

羽後高等学校
バドミントン部ＯＧ会

郷土の名誉と栄光に向かい
素晴らしいプレーを期待します！

会　長　今野　洋子　（S41卒）
副会長　高橋（小坂）なみ子　（S41卒）

幹　事　大日向（藤原）晶子　（S44卒）
斎藤（佐藤）宗子　（S51卒）
池田（横井）京子　（S51卒）
大友（横井）千加子　（S52卒）

祝　第62回国体バドミントン競技　ガンバレ秋田県選手団

秋田県小学生バドミントン連盟

ジュニアに夢を与えるプレーを期待してます！

会　長　脇坂安隆
副会長　井上　裕
理事長　樋渡満子

- 八郎潟レイクジュニアバドミントンクラブ　代表　齋藤嘉生
- にしせんジュニアシャトルズ　代表　福田正良
- 美郷町バドミントンスポーツ少年団　代表　藤原誠一
- 東由利バドミントンスポーツ少年団　代表　畠山誠
- 能代バドミントンスポーツ少年団　代表　安宅誠
- 湯沢市ジュニアバドミントンクラブ　代表　井上裕
- 岩城ジュニアシャトル　代表　佐々木一正
- ACTジュニア　代表　加藤郁子
- 大曲バドミントンスピリッツ　代表　黒田文夫
- SHONANシャトルジュニアクラブ　代表　原田ゆり子
- ジュニアウイングス　代表　庄司昭彦
- プレーシングトルシーダ大館　代表　本間典子

秋田県中学校体育連盟バドミントン部会

秋田県選手団のご健闘をお祈りします!!

部会長　青谷晃吉
副部会長　大友久志
専門委員長　三浦誠

秋田県高等学校体育連盟バドミントン部会

郷土の名誉のために素晴らしいプレーを!

部会長　福田世喜
副部会長　江畑清治
副部会長　石田孝雄
専門委員長　本間秀史



今日も電気です。
地球の明るい未来のために。

これからの未来へ　地域社会と共に…

羽後電設工業株式会社
電気工事、電気通信工事、消防施設工事、機械器具設置工事
大仙市若竹町31番地４号
TEL 0187-62-2675　FAX 0187-62-2670

ナイスプレー



ナイスファイト

歓迎、ようこそ美郷町へ

ーおもてなしの心でお出迎えー

美郷町商工会

会長　近藤道哲

〒019-1541　秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170-2
TEL 0187-85-2501　FAX 0187-85-2502

清水と森の里・松並木とラベンダーの里・古代ロマンと稲源郷

美郷町観光協会

美郷町観光情報センター「清水の館」

秋田県仙北郡美郷町六郷字本道町22-4
TEL(0187)84ー0110　FAX(0187)84ー3553

ファッションはうす

しょしけ
匠詩恵

小西合名会社

美郷町六郷字馬町41番地
電話 84-1400　FAX 84-2222

皿盛・お寿司・御弁当等
ご予約承っております!

ミサトフーズ
MISATO FOODS

〒019-1400　仙北郡美郷町六郷字安楽寺298番1
☎0187ー86ー7770
アックスの生鮮品は毎日がお買い得!!



くろまるのすべてのお菓子、酒、稲庭うどんは、美郷の名水を使用しております。

お菓子の くろまる

■六　郷　本　店	秋田県仙北郡美郷町上町15	TEL.0187(84)1472 FAX.0187(84)0382
■秋田の郷アイユくろまる	秋田県仙北郡美郷町六郷字島田6ー1	TEL.0187(84)3850
■パーラーくろまる	秋田県仙北郡美郷町米町67	TEL.0187(84)1396
■大曲ジョイフルシティ店	秋田県大仙市大曲通町8ー31	TEL.0187(63)0797
■中　仙　店	秋田県大仙市中仙町紫嶋	TEL.0187(56)3900
■名水市場ゆうちゃんの郷	秋田県仙北郡美郷町六郷字馬町	TEL.0187(84)3855
■ふるさと村かまくら店	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62ー46	TEL.0182(33)8816

古代ロマンの里へようこそ

小原久次郎商店

小原則夫

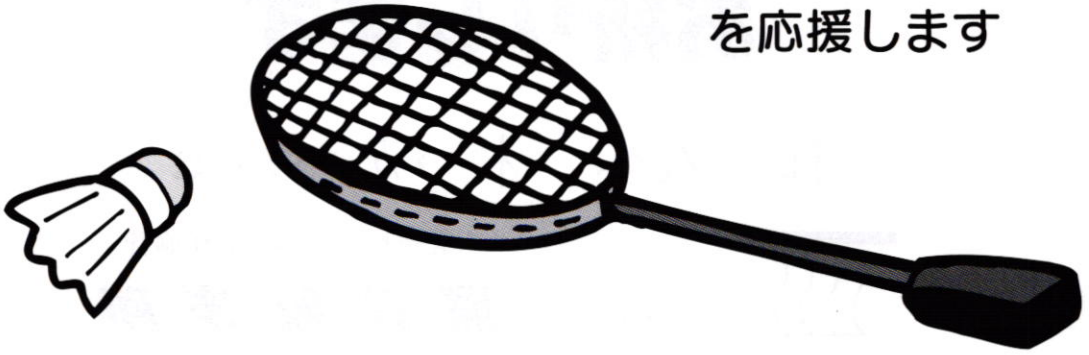
秋田県仙北郡美郷町金沢西根字上四ッ谷197-8
☎0187ー83ー2010

祝

第62回国民体育大会　秋田わか杉国体

『バドミントン競技』

を応援します



〒014-0053　秋田県大仙市大曲花園町2番3号

有限会社　**ルーキースポーツ**

TEL 0187-63-5546　FAX 0187-62-0397

祝

秋田わか杉国体

第62回国民体育大会バドミントン競技

秋田県選手団の活躍を期待します

大仙・仙北バドミントン協会

美郷町バドミントン協会
田沢湖町バドミントン協会
西木村バドミントン協会
中仙バドミントンクラブ
協和町バドミントンクラブ
西仙北バドミントンサークル
太田町バドミントン協会
角館町バドミントン協会
神岡バドミントンサークル
大曲バドミントン協会

祝

第62回国民大会　秋田わか杉国体

各県選手の皆様方のご健闘をお祈りします

住む人へ、木づかいの心

木製建具・什器・製作施行

有限会社 **照井製作所**

〒019-1235
秋田県仙北郡美郷町金沢西根字西今泉172
TEL 0187-83-2540　FAX 0187-83-2523
E-mail:terui-ss@h4.dion.ne.jp

グランドパレス川端グループ　http://www.yamanote-hotel.com/

感動を創造、発信する企業

GROUP-SYMBOL
微笑み・やすらぎ・感動

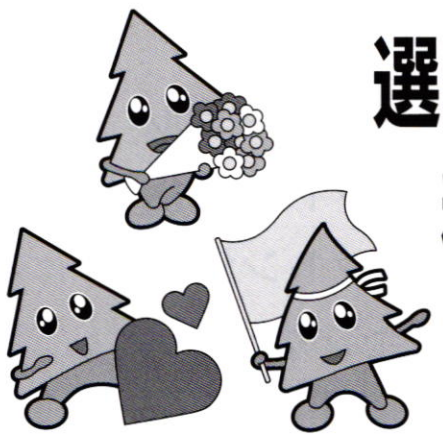
心に残る真心のサービス
グランドパレス川端
秋田県大仙市大曲浜町7-39　〒014-0051
TEL.0187-62-0354㈹　FAX.0187-63-0354

未体験のゆとりとやすらぎ
山の手ホテル
秋田県大仙市大曲西根字仁応治67-3　〒014-0072
TEL.0187-68-2001㈹　FAX.0187-68-2002

心のふれあいで四季を彩る
フォーシーズン
秋田県大仙市佐野町2-4　〒014-0017
TEL.0187-62-6000㈹　FAX.0187-62-6005

自然と融合した、芸術性が高く、感動を創造できる空間
ブライダルハウス
クリスタルサーカス **『フォレスト』**
秋田県大仙市大曲西根字仁応治67-26　〒014-0072
●土・日、祝日は内覧できます。（AM10:00～PM4:00）
連絡先：山の手ホテル　TEL.0187-68-2001

自然の息吹に包まれた西山の杜でしめやかに
葬儀専用施設 **『顕彰庵』**
秋田県大仙市内小友字中沢176-23　〒014-0073
●24時間体制でご要望にお応え致します。
連絡先：グランドパレス川端　TEL.0187-68-2215
（やすらぎ友の会直通0187-63-1000）



選手の皆さん　ガンバレ!!

私たちが、まごころこめて応援します

美郷町内国体協力会

祝 秋田わか杉国体 第62回国民体育大会バドミントン競技
選手の皆様の健闘をお祈りいたします。

人と環境のありかたを考える。
それも戸田建設の品質のひとつです。

私たちを取り巻く地域環境や地球環境。戸田建設はかねてから、これらへの取り組みとして、省エネルギー技術の開発を推進し、環境への影響の少ない工業化技術の導入や建設廃棄物の削減を進めてきました。人と環境のよりよい関係を考えながら、お客さまに高い品質をお届けすること。新世紀に向けて私たちは、さらに全力を傾ける決意です。



for the Best quality for the Earth environment
ISO 9001・14001認証取得

最良の品質をみなさんに
戸田建設

東北支店／〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-7-23
☎(022)222-1251

感動ハウスグループ
検査 JIO 日本住宅保証検査機構

～あなたのために造ります～
お客様への安心・つながりを提供する
地域密着企業

株式会社 小田島工務店

1級建築士事務所

代表取締役 小田島 誠
秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島46番地5
TEL.0187-82-1314(代) FAX.82-1660
E-mail odasima@jeans.ocn.ne.jp URL http://www.odasima.co.jp

総合建設 光と風のある空間・・・

シブヤ建設工業株式会社

秋田県仙北郡美郷町金沢西根字北本田243
TEL.0187－83－2625 FAX.83－3223
E-mail sibuyakk@axel.ocn.ne.jp
URL http://www.sibuyakensetu.com

ブレなし、やわらかしなり。

四軸シャフトだからできた「柔らかいしなり」と「面安定性」の融合。



TETRA CROSS 300

7TB-80245 イエロー （フレームのみソフトケース付）

¥22,050（本体 ¥21,000） **新発売**

記載価格は、消費税込みのメーカー希望小売価格です。
（ ）内は消費税抜き本体価格です。

• www.mizuno.co.jp • 0120-320-799

明日は、きっと、できる。

MIZUNO

あのKumpoo商品が、皆様の身近で
ご覧いただけます。実際に見て触って、
Kumpooブランドの良さを実感してください。

Kumpoo®

ナノラケットのパイオニア！大人気パワーショットナノシリーズ。
ゲームをしながら楽々筋力UP！大好評トレラケシリーズ。
ガチョウの両羽根、天然コルクを採用した大人気シャトル！マッチポイントプルマシリーズ。
動体視力UP！黒ガチョウの羽根を使用した業界初ブラックシャトル！マッチポイントプルマ77B。
話題のハイパーソール搭載バドミントンシューズ！ダイナミックスキッパー、ワンダースキッパー。

その他、ウエア・ラケットバッグ・・・。Kumpooブランド商品が勢ぞろい！

Kumpoo商品　全国主要取扱店

是非一度お近くの店舗にご来店ください。

We have a fine dream
ヒマラヤ
SPORTS
http://www.himaraya.co.jp/

THE SUPER SPORTS XEBIO

ヒマラヤスポーツ
お問い合わせ：058-271-6622
http://www.himaraya.co.jp/

スーパースポーツゼビオ
お問い合わせ：0120-345-299
http://www.supersports.co.jp/

上記のお店で10,000円以上お買上げのお客様にもれなく「Kumpoo特製マルチ袋」をプレゼント！

※一部お取り扱いのない店舗もございますので、お問い合わせ、ご確認の上ご来店ください。お取扱店の詳細は、弊社ホームページ上でもご紹介しております。

Kumpoo KUMPOO

株式会社　薫　風　バドミントン情報満載のホームページ www.kumpoo.jp
〒272-0142　千葉県市川市欠真間2-1-25　TEL.047-300-2984　FAX.047-300-2985

MMOA NANO SERIES

革新的ナノテク素材が生み出す高次元ラケットシリーズ



MBR-8500G（ゴールド）　MBR-8500P（プラチナ）　MBR-50　MBR-20　MBR-30

ナノパワー8500G
ナノパワー8500P

品番	MBR-8500G　MBR-8500P
価格	￥24,150（本体￥23,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	86g（±2g）
シャフト剛性	柔 ― 硬
グリップ	UL-2
素材	ハイモジュラスグラファイト+カーボンナノチューブ
カラー	ゴールド（MBR-8500G） プラチナ（MBR-8500P）
適性張力	18～25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

日本バドミントン協会検定合格品

ナノパワー50

品番	MBR-50
価格	￥23,100（本体￥22,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	84g（±2g）
シャフト剛性	柔 ― 硬
グリップ	UL-2
素材	ハイモジュラスグラファイト+カーボンナノチューブ
カラー	ブルー
適性張力	18～25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

日本バドミントン協会検定合格品

スーパーライトナノ20

品番	MBR-20
価格	￥22,050（本体￥21,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	82g（±2g）
シャフト剛性	柔 ― 硬
グリップ	UL-2
素材	ハイモジュラスグラファイト+カーボンナノチューブ
カラー	ブラック
適性張力	18～25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

日本バドミントン協会検定合格品

スーパーライトナノ30

品番	MBR-30
価格	￥21,000（本体￥20,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	82g（±2g）
シャフト剛性	柔 ― 硬
グリップ	UL-2
素材	ハイモジュラスグラファイト+カーボンナノチューブ
カラー	レッド
適性張力	18～25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

日本バドミントン協会検定合格品

MMOA JAPAN CO.,LTD.

加盟店募集中です。
どんな事でもお気軽にご相談下さい。
お問い合わせ先は、045-730-0495
e-mail:info@badminton.co.jp

モア・ジャパン株式会社
TEL. 045-730-0495　FAX. 045-743-0392
www.badminton.co.jp

BRIDGESTONE



ハイテンション対応競技者モデル　26ポンドまで対応

BX-1000

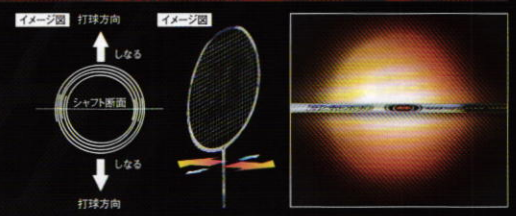
XRABX1（専用ソフトケース付）　価格 /¥18,900（本体￥18,000）　中厚フレーム　ビーエックス-1000

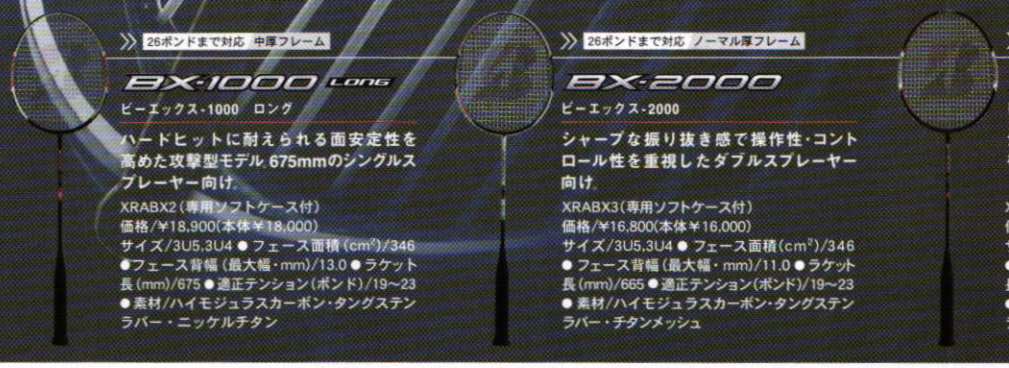
ハードヒットに耐えられる面安定性を高めた攻撃型モデル。665mmのダブルスプレーヤー向け。

サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm²）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/13.0 ● ラケット長（mm）/665 適正テンション（ポンド）/19〜23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・ニッケルチタン

ONE WAY FLEX SHAFT
ワンウェイフレックスシャフト

独自のシャフト製法技術で、シャフトのしなる方向とトルクをコントロール。打球方向にはしなり、打球に直角方向へのしなり・トルクは抑制することで、スウィングパワーの伝達とコントロール性を両立します。





» 26ポンドまで対応　中厚フレーム

BX-1000 LONG
ビーエックス-1000　ロング

ハードヒットに耐えられる面安定性を高めた攻撃型モデル。675mmのシングルスプレーヤー向け。

XRABX2（専用ソフトケース付）
価格/¥18,900（本体￥18,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm²）/346 ●フェース背幅（最大幅・mm）/13.0 ● ラケット長（mm）/675 ● 適正テンション（ポンド）/19〜23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・ニッケルチタン

» 26ポンドまで対応　ノーマル厚フレーム

BX-2000
ビーエックス-2000

シャープな振り抜き感で操作性・コントロール性を重視したダブルスプレーヤー向け。

XRABX3（専用ソフトケース付）
価格/¥16,800（本体￥16,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm²）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/11.0 ● ラケット長（mm）/665 ● 適正テンション（ポンド）/19〜23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・チタンメッシュ

» 26ポンドまで対応　ノーマル厚フレーム

BX-2000 LONG
ビーエックス-2000　ロング

シャープな振り抜き感でコントロール性を重視したシングルスプレーヤー向け。

XRABX4（専用ソフトケース付）
価格/¥16,800（本体￥16,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm²）/346 ●フェース背幅（最大幅・mm）/11.0 ● ラケット長（mm）/675 ● 適正テンション（ポンド）/19〜23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・チタンメッシュ

PASSION for EXCELLENCE

お問い合わせはお客様相談室 0120-116613　ホームページのアドレスはhttp://www.bs-tennis.com

ブリヂストンスポーツ株式会社

good! gosen

R4X110 連攻。

新発売!
新開発!
新ルール対応!

4連結4性能

高反発 / 高コントロール / 高耐久 / 高快音

「4連結」特殊フィラメントの
編み上げ構造が抜群の食いつ
きと弾き、爽快な打球音を実現。



NEW
BS110 マルチレイド アール・フォー・エックス110 ¥1,050
■ゲージ:0.68mm ■長さ:10.0m(33.0FT.) ■本体価格¥1,000

NIKKE Group

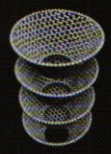
張人 HARIBITO
あなたのプレイは「張り」で変わる。
あなたの街の張人に何でもご相談ください。
詳しくはホームページへ>>> http://www.gosen.jp/

GOSEN®
株式会社ゴーセン 大阪本社
〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-1-17
TEL.06-6942-5871 FAX.06-6942-0773

一撃。

ARCSABER 7 CS C

CS CARBON NANOTUBE



「アークセイバー」から放たれた、その一撃は
空気を切り裂き、コートに突き刺さる

新素材「カップスタック型カーボンナノチューブ」をフレームサイドに搭載することで
打球時のたわみを増幅し、弓のようにパワーをため、剣のように一点を突く、新感覚の打球感を実現
その精度は高く、標的を射るように、狙った獲物は確実に逃がさない
その瞬間、コートの上で、プレーヤーはハンターへと変わる

NEW



ARCSABER

アークセイバー 7／ARC7／¥23,100（本体価格 ¥22,000）／日本製

www.yonex.co.jp

YONEX®


がんばれ!
アスリート!
“秋田の元気”を北都から
北都銀行
秋田市中通三丁目1番41号

環境にやさしい大会運営にご協力ください。

本大会実行委員会では、環境にやさしい大会運営をめざしています。環境にやさしい取り組みは、ちょっとした配慮から始まります。全ての大会関係者が一体となり、「環境にやさしい大会運営」を進めていきましょう。ご協力をお願いします。



○ゴミのポイ捨て禁止

ゴミは持ち帰るか、会場内に設置されたゴミ箱に捨てるようにしましょう。

○ゴミの分別

会場内のゴミ箱は全て６分別となっています。ゴミは分別してゴミ箱に捨てるようにしましょう。

～分別方法～

燃えるゴミ・燃えないゴミ・ペットボトル・ビン・スチール缶・アルミ缶

○自家用車の乗り合い

自家用車で来場される場合は、できるだけ乗り合いで来場されるようお願いします。

○アイドリング・ストップ

二酸化炭素の排出量削減と騒音防止のためアイドリング・ストップにご協力ください。

○指定場所での喫煙を

競技会場（敷地含む）内は、指定された喫煙所以外は全面禁煙となります。喫煙される方は、喫煙所での喫煙をお願いします。



2003　FUJINOMIYA



2004　KUKI

来年は

チャレンジ！おおいた国体
大分県日田市でお会いしましょう



2007　MISATO



2008　HITA



2006　TAKARAZUKA



2005　OKAYAMA

《競技記録速報》平成19年9月28日㈮～10月31日㈬
全競技・全試合の結果を速報します。
（インターネット）http://www.kirokukensaku.com/kokutai2007/
（携 帯 サ イ ト）http://www.keitai.kyogikekka.com/kokutai2007/
携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると携帯サイトに簡単にアクセスできます。
（未対応の機種があります。）

R100　PRINTED WITH SOY INK　このプログラムは、古紙100%再生紙及び大豆インクを使用しています。